

**2023(令和5)年度
市民活動団体の活動状況調査
報告書**

目次

1.	はじめに.....	4
1-1.	社会背景.....	4
1-2.	視点.....	4
1-3.	先行調査.....	4
1-4.	本調査の目的.....	4
2.	調査概要.....	5
2-1.	調査方法と実施時期.....	5
2-2.	調査対象.....	6
2-3.	調査票の設計.....	6
2-4.	回答団体の分析.....	6
2-5.	活動実態の分析.....	6
3.	回答団体の概要.....	8
3-1.	回収率.....	8
3-2.	回答団体の属性分布.....	9
3-2-1.	法人格の有無.....	9
3-2-2.	団体運営するスタッフ人数.....	10
3-2-3.	団体の支援対象者数.....	11
3-2-4.	支援施設への登録.....	12
3-2-5.	主な活動分野.....	13
4.	活動実態調査.....	14
4-1.	活動状況の概要.....	14
4-1-1.	問 1.団体設立のきっかけ.....	14
4-1-2.	問 2.継続的に行っている活動.....	16
4-1-3.	問 3.活動の頻度.....	18
4-2.	団体スタッフ・会員.....	19
4-2-1.	問 4.スタッフの平均年齢.....	19
4-2-2.	問 5.会員・ボランティアの募集方法.....	21
4-2-3.	問 6.会員やスタッフ間の情報共有の方法.....	23
4-2-4.	問 7.ボランティアの人数.....	25
4-3.	問 8.年間収益.....	27
4-4.	問 9.団体運営の課題.....	28
4-5.	活動場所.....	30
4-5-1.	問 10-1.事務所や専用スペースの有無.....	30
4-5-2.	問 10-2.事務所や専用スペースで困っていること.....	31
4-5-3.	問 10-3.事務所や専用スペースがない理由.....	32
4-5-4.	問 11-1.活動や打ち合わせに1番多く使用する場所.....	34

4-5-5.	問 11-2.その場所を活動や打ち合わせで使う理由.....	36
4-6.	助成金等の申請.....	38
4-6-1.	問 12-1.助成金等の応募経験.....	38
4-6-2.	問 12-2.助成金等の応募先.....	39
4-6-3.	問 12-3.助成金等の申請でアドバイスを受けた経験.....	40
4-6-4.	問 12-3.助成金等の申請でアドバイスを求めた先.....	41
4-6-5.	問 12-4.助成金等を受けた経験.....	42
4-6-6.	問 12-5.助成金等の費用提供元.....	43
4-6-7.	問 12-6.助成金等を申請しない理由.....	44
4-6-8.	問 13.助成金の応募内容の相談やアドバイスの必要性.....	45
4-7.	情報の発受信.....	46
4-7-1.	問 14-1.団体に関する情報発信の内容.....	46
4-7-2.	問 14-2.団体に関する情報発信の手段.....	48
4-7-3.	問 15.活動に必要とする情報.....	50
4-7-4.	問 16.活動に必要な情報の入手方法.....	52
4-8.	団体運営.....	54
4-8-1.	問 17.必要としている人材.....	54
4-8-2.	問 18.活動や運営上必要とする専門的知識・技術.....	56
4-8-3.	問 19.連携の必要性.....	58
4-8-4.	問 20.連携先.....	60
4-9.	支援施設の利用状況.....	62
4-9-1.	問 21-1.利用頻度.....	62
4-9-2.	問 21-2.施設の利用目的.....	64
4-9-3.	問 21-3.施設を利用しない・利用しなくなった理由.....	66
5.	市民活動支援施設の機能・施設に関する質問.....	68
5-1.	問 22.～問 24.主に利用している設備・機材と 拡充を希望する設備・機材.....	68
5-2.	問 25.現状から強化を希望する支援内容.....	70
5-3.	問 26.その他、ご意見・ご提案など.....	72
6.	結果の総括.....	74

1. はじめに

1—1. 社会背景

本調査は、「藤沢市市民活動支援施設の登録団体」及び「藤沢市内に事務所を持つ NPO 法人」を対象として実施しました。活動状況の実態調査は 2 年ごとに実施しており、概ね従前の設問を設定している他、社会状況等に沿った設問を数問追加しています。前回の 2021 年度調査では、新型コロナウイルス感染症の影響等に関する設問を追加していました。2023 年度調査では、施設の設備・機材や支援内容に関する具体的な内容に関する設問を追加しました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の 5 類移行に伴い、2023 年 5 月以降、藤沢市内における市民活動団体の動きも、徐々に活発化しています。一方で、長く続いたコロナ禍により未だ休止中の団体や解散を決めた団体もあります。2023 年は世界に目を向けると災害や戦争などの大きな動きもあり、国内でも企業だけにとどまらず非営利団体でもコンプライアンスが問われる事件が複数ありました。特定非営利活動促進法が 25 周年を迎えた年でもあり、改めて非営利組織のあり方が問われた年となりました。

今回の回答率は過去最低の 35.9%となりました。前述した解散については、直接のご連絡やご相談もいただいておりますが、ご登録のない市内 NPO 法人については活動状況を把握しきれないこともあり、実質休眠状態にある法人も複数あることが想定できます。

1—2. 視点

定点調査として回答の変化を見ることにより、市民活動団体の活動や課題の移り変わりを調べ、必要とされる支援策を探ります。

1—3. 先行調査

「市民活動の活動状況調査」は 2004 年より計 8 回実施してきました。その間、必要な設問の追加や、2017 年は区分していた登録団体調査と市内 NPO 法人調査との統合をいたしました。可能な限り共通の設問を継続するように努めています。選択肢としては、活動、スタッフ・会員、収益、情報の受発信等を設定しています。本調査においても、主要な設問をほぼ引き継いでいます。

また、調査末尾に社会や制度の状況に応じた設問を追加しており、今回は市民活動施設の機能に関する設問」を 4 問追加しています。

1—4. 本調査の目的

支援施設の登録団体や藤沢市内の NPO 法人の活動状況を調査することで、今後の市民活動団体の支援の円滑化・効率化・支援の質の向上につなげることを目的とします。

2. 調査概要

2—1. 調査方法と実施時期

調査は、郵送調査とインターネットによる回答の2種類を併用して実施しました。

当施設では、当施設の登録団体と藤沢市内に主な事務所を置くNPO法人を対象とした郵送によるアンケート調査を年1回程度の頻度で実施しており、今回も同じ方法で実施しました。また、回答者が手軽に回答できるよう、郵送調査で送付した調査票と同じ内容の設問をインターネットで回答できるサイトを作成しました。インターネット回答については、送付したアンケート票および挨拶状に、二次元バーコードと支援施設HPのご案内を掲示しました。

アンケート票は、当支援施設の情報誌の配送のタイミングに合わせて、2023年10月8日に配送しました。締切日は当初同年11月10日に設定しましたが、期間を延長し、11月30日までに回収できた回答を有効回答として集計しました。インターネットでの回答も同時期に実施しました。

図表 1 アンケート票(紙媒体)とインターネット回答に関わるweb ページ URL

支援施設HPでの広報ページ	https://fujisawa-npo.jp/9852
Web回答のURL	https://forms.gle/SUfytfZRxTHuZg5o9

アンケート票(紙媒体)

市民活動団体の活動状況調査(2023年度実施) 調査票

※PC・スマートフォンでの調査は下記URL又は右のQRコードをご利用ください
<https://forms.gle/SUfytfZRxTHuZg5o9>

【実施団体及びご回答者の情報】

団体名	
法人格の有無 (1つに1つ)	<input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人 <input type="checkbox"/> 一般社団法人 <input type="checkbox"/> 一般財団法人 <input type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> その他の法人() <input type="checkbox"/> なし
ご回答いただいた ご担当者名	
Eメールアドレス	@
団体を運営する 理事・スタッフの人数	<input type="checkbox"/> 5名以下 <input type="checkbox"/> 6～10名 <input type="checkbox"/> 11～30名 <input type="checkbox"/> 31名以上
参加費・利用者など 支援対象者の数	<input type="checkbox"/> 10名以下 <input type="checkbox"/> 11～100名 <input type="checkbox"/> 101～1000名 <input type="checkbox"/> 1001名以上
藤沢市市民活動 支援施設登録番号 (1つに1つ)	<input type="checkbox"/> 登録済 団体番号 → 2 <input type="checkbox"/> 未登録 <small>下の「活動分野」もご回答ください</small>
【未登録の方対象】 活動分野 (主なものを1つに1つ)	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉の推進 <input type="checkbox"/> 社会教育の推進 <input type="checkbox"/> まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 観光の振興 <input type="checkbox"/> 福山漁村又は中山間地域の振興 <input type="checkbox"/> 学術・文化・芸術・スポーツの振興 <input type="checkbox"/> 環境の保全 <input type="checkbox"/> 災害救済活動 <input type="checkbox"/> 地域安全活動 <input type="checkbox"/> 人権の擁護・平和の推進 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 職業能力の開発・雇用機会の拡充 <input type="checkbox"/> 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 上記の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

活動実施調査(全9問)

問1. 貴団体を設立したきっかけは何ですか。(該当するものを1つに1つ)

1. 身近な問題が必要に迫られたため	5. 募集する人と出会ったため
2. その活動が必要だと強く感じたため	6. 地域に困っている人が居たため
3. その活動が好き/得意なことだったため	7. 行政に呼びかけられたため
4. 同じ思いをもつ人たちに出会ったため	8. 別の団体から分かれたため
9. その他、具体的に記入ください。	

問2. 貴団体が継続的に行っている活動は何ですか。(複数回答可)

1. 物品等の製造・製作および提供	6. 贈答・交流の場・催事の提供
2. イベントやシンポジウム等の企画・開催	7. 人や労力を動員(派遣して)のサービス (例: 清掃・美化・リサイクル・介護等)
3. 活動に必要な機材・資材・食料などの提供・支援	8. 調査・研究活動
4. 学際系・学際系等の場の提供	
9. 資料や情報の収集・提供	(次ページへ続く)

インターネット回答

市民活動団体の活動状況調査 (2023年度実施)

藤沢市では2005年9月に「藤沢市市民活動推進計画」を策定、2019年に改正され、市民活動が活発に行われる環境の整備に努め、市民活動推進センターにおいても、計画に沿った支援実施してまいりました。

2020年より新型コロナウイルス感染症の世界的な流行がはじまり、市民活動や団体運営にも大きな影響を及ぼしています。今後の支援内容の検討にあたり、藤沢市における市民活動の状況を捉えるため、藤沢市内に事務所を有する特定非営利活動法人を対象に活動状況調査を実施いたします。

お忙しいことと存じますが、当アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 調査対象: 藤沢市市民活動支援施設に登録する団体、及び、藤沢市に主たる事務所、もしくは従たる事務所を置く特定非営利活動法人
- 調査方法: ウェブフォームおよび調査票による実施
- 調査期間: 2023年10月9日(月)～2023年11月10日(金)
- 集計方法: お答えいただいた内容は統計的に処理を行い、本調査の目的以外に使用したり、外部に集計作業を依頼したりすることはありません。なお、集計にあたっては、既に市民活動推進センターが保有している団体情報と照合をさせていただきますが、団体

2—2. 調査対象

対象は、2023年10月1日時点での「支援施設の登録団体」と「藤沢市内に主な事務所を置くNPO法人」団体のうち、重複を除く496団体を対象としました。

2—3. 調査票の設計

2年毎に調査している設問（問1～問21）は同じ設問で実施し、今回のみの設問を4問（問22～問25）設置しました。なお、問9の「現在抱えている課題、または今後課題となりうるであろうこと」は、これまで自由記述形式での回答でしたが、これまでの調査を踏まえて選択肢を作成し、選択型（その他意見で自由記述でも回答可能）へ変更いたしました。

2—4. 回答団体の分析

アンケート回答団体の属性について3章2節で分析しました。法人格の有無、スタッフ人数規模、支援対象者人数規模、藤沢市市民活動支援施設の登録状況、主な活動分野の5つについて単純集計を行い、主な活動分野以外については経年変化を見ました。

2—5. 活動実態の分析

活動実態は4章で分析しました。分析は単純集計のほか、経年変化と法人格の有無によるクロス集計、スタッフ人数規模によるクロス集計を行いました。

経年変化については、社会的に大きな出来事であった「新型コロナウイルス感染症(2019年)」や「東日本大震災(2011年)」からの移り変わりが分かるように、2010年、2017年、2019年、2021年と比較しました。

法人格の有無によるクロス集計は、団体の活動形態などの違いを見るために設定しました。法人格ありの団体は社会的信頼を得やすく責任を伴う契約ができるため活動の幅が広がりますが、団体の運営では各法人格で定められているルールに従う必要があります。「法人格を持つがため抱える課題」や「法人格がないため抱える課題」を明らかにします。

スタッフ人数規模によるクロス集計は、団体の活動規模による違いを見るために設定しました。団体の活動規模を示す数字として収益規模も挙げられますが、昨年度※の調査結果では「法人格の有無と予算規模とでクロス集計結果が同じような傾向でしたが、相関係数も0.462と高い数値でした」と、両者は相関関係が強いことが分かっています。そのため本調査では「法人格の有無」と「予算規模」の二つとは別の軸として、活動規模を表す代表値として「スタッフ人数」を使ってクロス集計をしました。

※藤沢市市民活動支援施設(2022)「市民活動団体におけるSDGs認知度・活動調査」 p.54

図表 2 アンケート票の設問構成

活動	問 1 団体設立のきっかけ 問 2 継続的に行っている活動 問 3 活動の頻度
スタッフ・ 会員	問 4 スタッフの平均年齢 問 5 会員の募集方法 問 6 会員やスタッフ間の情報共有の方法 問 7 ボランティアの人数
収益	問 8 年間収益
内包する課題	問 9 現在抱えている課題、または今後課題となりうるであろうこと
活動場所	問 10 事務所や専用スペースの有無 問 10-2 事務所や専用スペースの困りごと 問 10-3 事務所や専用スペースがない理由 問 11 活動や打ち合わせに1番多く使用する場所 問 11-2 その場所を使用している理由
助成金、 補助金、 委託事業、 協働事業等	問 12 助成金・補助金・委託事業・協働事業等の応募経験 問 12-2 応募先 問 12-3 応募経験がない理由 問 12-4 応募に当たって内容のアドバイスを求めた経験と相談先 問 12-5 助成金・補助金・委託事業を受けた経験の有無 問 12-6 助成金・補助金・委託事業に関する費用の提供元 問 13 助成金の応募内容の相談やアドバイスの必要性
情報の 受発信	問 14 団体に関する情報発信の内容 問 14-2 情報発信の手段 問 15 活動に必要なとする情報 問 16 活動に必要な情報の入手先
運営	問 17 必要としている人材 問 18 活動や運営上、必要とする専門的知識・技術 問 19 連携の必要性 問 20 連携先
市民活動支援施設 の利用	問 21 利用頻度 問 21-2 利用の目的 問 21-3 利用しない・しなくなった理由
施設の機能	問 22 主に利用している設備・機材 問 23 現状から拡充を希望する機材・設備 問 24 具体的な希望 問 25 現状から強化を希望するサービス内容
その他	問 26 その他、ご意見・ご提案など

3. 回答団体の概要

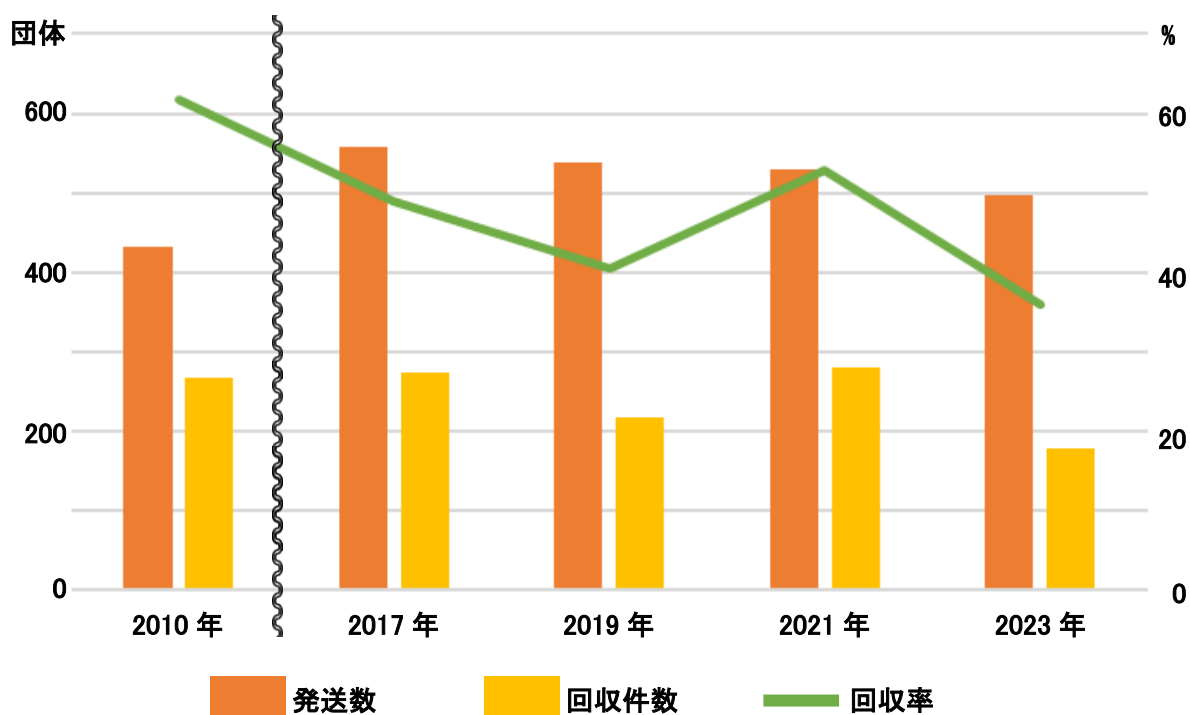
3—1. 回収率

アンケート票を発送した合計 496 団体のうち、質問票での回答が 139 件、web での回答が 39 件、合計 178 件の回答がありました。回収率は 35.9%でした。

発送数は 2015 年度をピークに年々微減しており、今回は 500 団体以下となりました。回収率は、近年ではコロナ禍に実施した 2021 年が突出して高いですが、全体的にみると減少傾向で、今回はじめて 40%を下回りました。

図表 3 アンケート票の発送・回収状況

		2010 年	2017 年	2019 年	2021 年	2023 年 (今回)
発送	支援施設登録団体	432	470	427	397	382
	登録団体以外の市内 NPO 法人	-	88	111	132	114
	発送数(合計)	432	558	538	529	496
	不達	-	-	-	1	0
回収	質問票(紙)回収件数	267	274	218	188	139
	web 回収件数	-	-	-	92	39
	回収件数(合計)	267	274	218	280	178
	回収率	61.8%	49.0%	40.5%	52.9%	35.9%

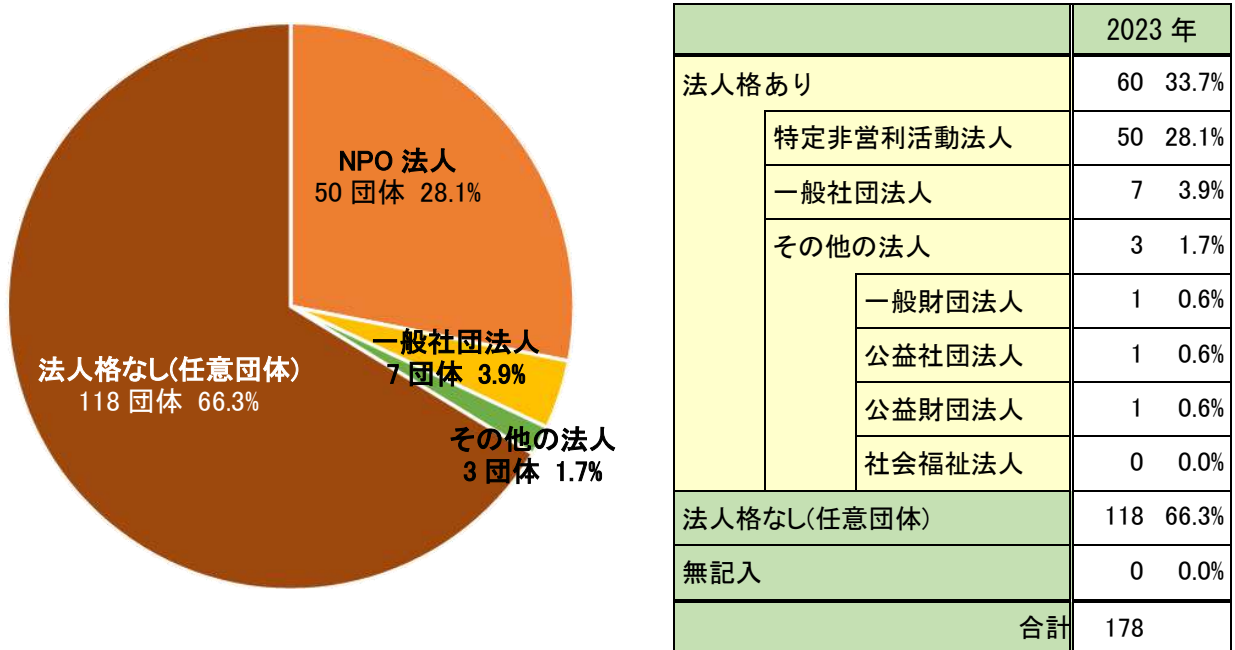


3—2. 回答団体の属性分布

3—2—1. 法人格の有無

法人格の有無について伺ったところ、60件 33.7%の団体が法人格を有しており、そのうち50件全体の28.1%が特定非営利活動法人、10件が一般社団法人等の法人でした。一方、法人格なしの任意団体は118件 66.3%でした。2010年の頃と比較すると法人格ありの団体は増加していますが、近年では1/3程度で横ばいとなっています。

図表 4 法人格の有無とその種類



図表 5 法人格の有無の経年変化

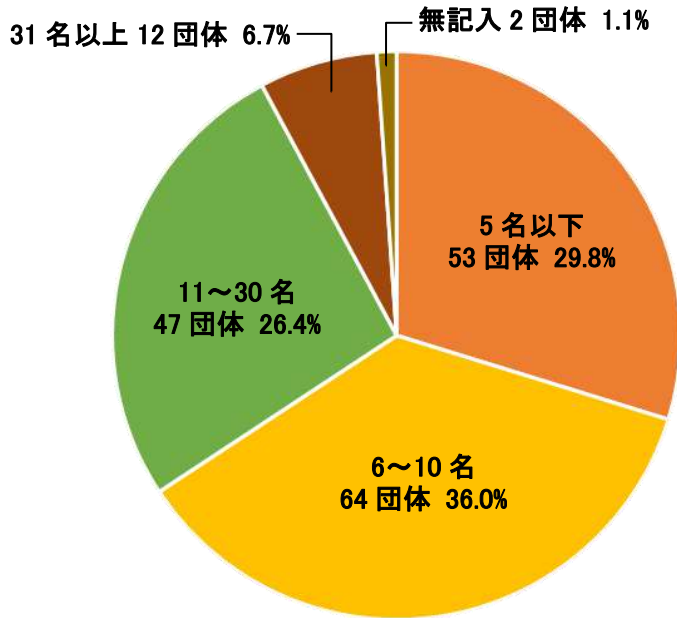
	2010年	2017年	2019年	2021年	2023年 (今回)
法人格あり	58 21.7%	58 21.2%	74 33.9%	99 35.4%	60 33.7%
特定非営利活動法人			64 29.4%	85 30.4%	50 28.1%
一般社団法人			7 3.2%	10 3.6%	7 3.9%
その他の法人			3 1.4%	4 1.4%	3 1.7%
一般財団法人			0 0.0%	2 0.7%	1 0.6%
公益社団法人			2 0.9%	1 0.4%	1 0.6%
公益財団法人			0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%
社会福祉法人			1 0.5%	1 0.4%	0 0.0%
法人格なし(任意団体)	208 77.9%	216 78.8%	144 66.1%	181 64.6%	118 66.3%
無記入	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	267	274	218	280	178

3—2—2.

団体運営するスタッフ人数

団体運営を行っているスタッフ人数は、5名以下が53件29.8%、6～10名が64件36.0%、11～30名が47件26.4%で、30名までの団体が全体の9割以上となりました。31名以上の団体は12件6.7%でした。

図表 6 団体運営するスタッフの人数



スタッフ人数	件数	割合
5名以下	53	29.8%
6～10名	64	36.0%
11～30名	47	26.4%
31名以上	12	6.7%
無記入	2	1.1%
合計	178	

2021年と比較すると、「5名以下」が8.0ポイント減少し、「6～10名」が4.6ポイント、「11～29名」が1.4ポイント、「30名以上」が1.3ポイント上昇しました。回答した団体の平均は増えているといえますが、「少人数で活動していた団体がスタッフを増やした」、もしくは、全体的に変化はないものの「スタッフが少ない団体からのアンケート回答率が下がったため、相対的に『5名以下』の割合が減った」と予想されます。

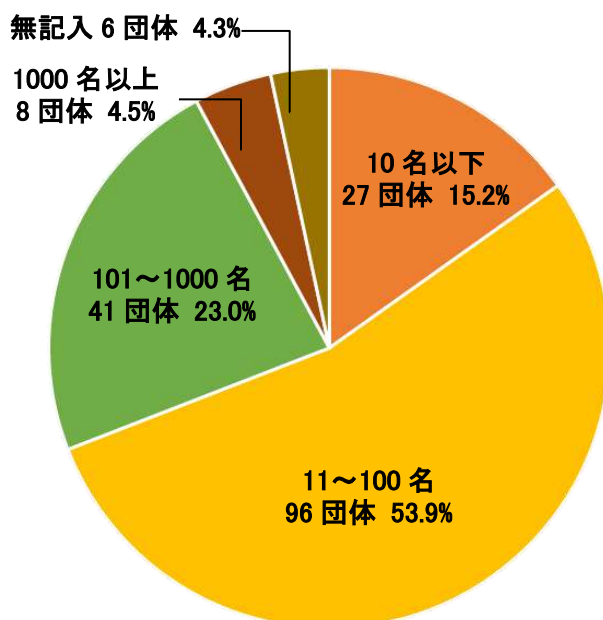
図表 7 団体運営するスタッフの人数の経年変化

	2010年	2017年	2019年	2021年	2023年 (今回)
5名以下				106 37.8%	53 29.8%
6～10名				88 31.4%	64 36.0%
11～30名				70 25.0%	47 26.4%
31名以上				15 5.4%	12 6.7%
無記入				1 0.4%	2 1.1%
合計				280	178

3—2—3. 団体の支援対象者数

支援対象者数の年平均は、10名以下が27件15.2%、11～100名が96件53.9%、101～1000名が41件23.0%、1001名以上が8件4.5%でした。

図表 8 支援対象者の数



支援対象者数	件数	割合
10名以下	27	15.2%
11～100名	96	53.9%
101～1000名	41	23.0%
1001名以上	8	4.5%
無記入	6	3.4%
合計	178	

2021年と比較すると、スタッフ人数の平均は増加していましたが、支援対象者の数は概ね大きな変化はありません。

図表 9 支援対象者の数の経年変化

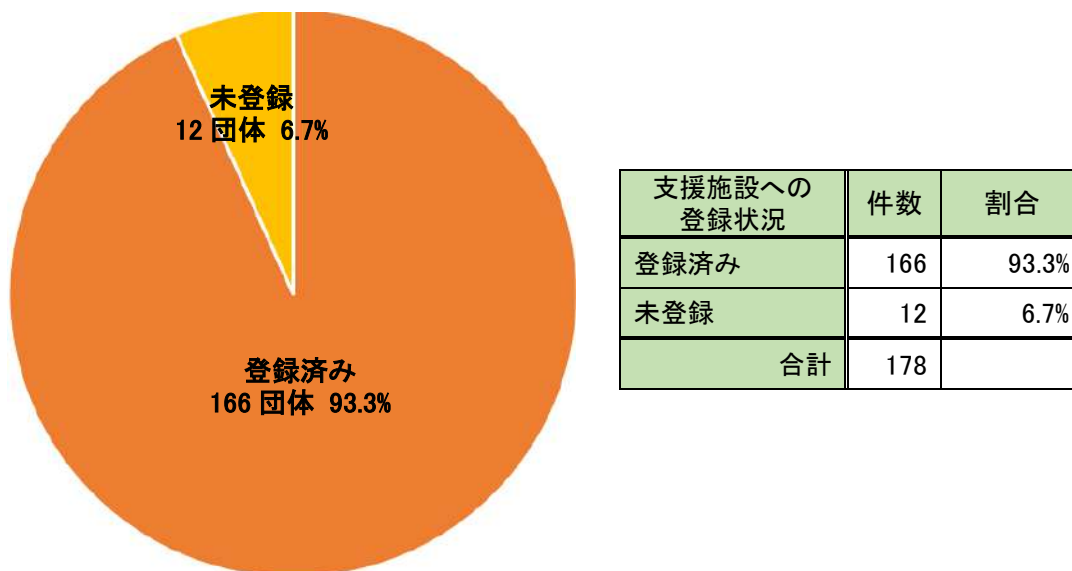
	2010年	2017年	2019年	2021年	2023年 (今回)
10名以下				30 10.7%	27 15.2%
11～100名				147 52.5%	96 53.9%
101～1000名				67 23.9%	41 23.0%
1001名以上				12 4.3%	8 4.5%
無記入				24 8.6%	6 3.4%
合計				280	178

3—2—4.

支援施設への登録

支援施設への登録経験は、登録済みが166団体93.3%、未登録が12団体6.7%でした。

図表 10 支援施設への登録状況



2021年と比較すると、若干ですが、支援施設登録団体の割合が増加しました。

図表 11 支援対象者の数の経年変化

	2010年	2017年	2019年	2021年	2023年 (今回)
登録済み				250 89.3%	166 93.3%
未登録		未調査		30 10.7%	12 6.7%
合計				280	178

3—2—5.

主な活動分野

主な活動分野は、「学術・文化・芸術・スポーツの振興」が最多で 41 件 24.7%、次に「保健・医療・福祉の増進」が多く 41 件 23.0%で、この 2 つの活動分野が多い結果となりました。第 3 位が「子どもの健全育成」27 件 15.2%、第 4 位が「環境の保全」15 件 8.4%、第 5 位が「まちづくりの推進」14 件 7.9%、第 6 位が「国際協力」10 件 5.6%、第 7 位が「社会教育の推進」8 件 4.5%、となりました。

2010 年と比較すると、「学術・文化・芸術・スポーツの振興」の割合が増加傾向ですが、その他は概ね横ばいとなりました。

図表 12 主な活動分野とその経年変化

	2010 年	2017 (NPO 法人のみ)	2019 年	2021 年	2023 年 (今回)
保健・医療・福祉の増進	67 25.2%	19 32.8%		65 23.2%	41 23.0%
社会教育の推進	14 5.3%	1 1.7%		14 5.0%	8 4.5%
まちづくりの推進	21 7.9%	4 6.9%		20 7.1%	14 7.9%
観光の振興	0 0.0%	0 0.0%		2 0.7%	1 0.6%
農山漁村又は中山間地域の振興	0 0.0%	2 3.4%		0 0.0%	0 0.0%
学術・文化・芸術・スポーツの振興	49 18.4%	6 10.3%		70 25.0%	44 24.7%
環境の保全	27 10.2%	5 8.6%		16 5.7%	15 8.4%
災害救援活動	1 0.4%	1 1.7%		2 0.7%	2 1.1%
地域安全活動	3 1.1%	3 5.2%		3 1.1%	2 1.1%
人権の擁護・平和の推進	13 4.9%	1 1.7%		13 4.6%	4 2.2%
国際協力	16 6.0%	0 0.0%		15 5.4%	10 5.6%
男女共同参画社会の形成の促進	4 1.5%	1 1.7%		2 0.7%	2 1.1%
子どもの健全育成	35 13.2%	6 10.3%		42 15.0%	27 15.2%
情報化社会の発展	6 2.3%	3 5.2%		7 2.5%	4 2.2%
科学技術の振興	1 0.4%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%
経済活動の活性化	2 0.8%	0 0.0%		2 0.7%	1 0.6%
職業能力の開発・雇用機会の拡充	3 1.1%	1 1.7%		1 0.4%	0 0.0%
消費者の保護	3 1.1%	1 1.7%		0 0.0%	0 0.0%
団体の連絡、助言、援助等の活動	1 0.4%	1 1.7%		3 1.1%	3 1.7%
無記入	0 0.0%	3 5.2%		3 1.1%	0 0.0%
合計	266	58		280	178

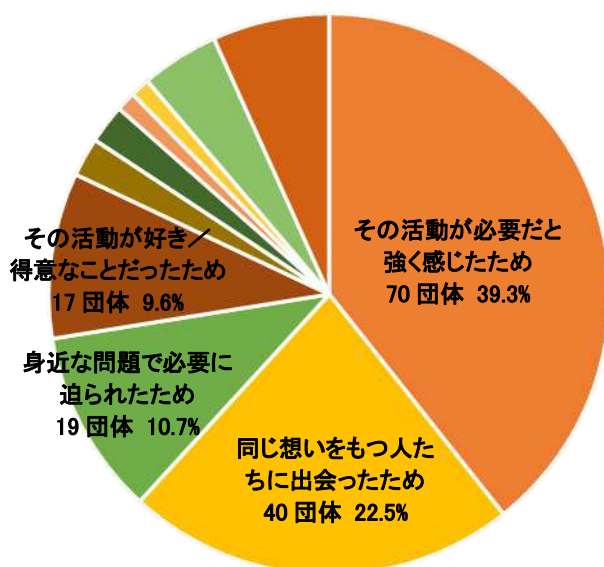
4. 活動実態調査

4—1. 活動状況の概要

4—1—1. 問1. 団体設立のきっかけ

団体設立のきっかけについて択一式で伺いました。「その活動が必要だと強く感じたため」が最も多く、70件 39.3%の回答がありました。次いで「同じ想いをもつ人たちに出会ったため」が40件 22.5%、「身近な問題で必要に迫られたため」が19件 10.7%、「その活動が好き／得意なことだったため」が17件 9.6%となりました。

図表 13 団体設立のきっかけ



団体設立のきっかけ	件数	割合
その活動が必要だと強く感じたため	70	39.3%
同じ想いをもつ人たちに出会ったため	40	22.5%
身近な問題で必要に迫られたため	19	10.7%
その活動が好き／得意なことだったため	17	9.6%
地域に困っている人が居たため	4	2.2%
行政に呼びかけられたため	4	2.2%
尊敬する人と出会ったため	2	1.1%
別の団体から分かれたため	2	1.1%
その他	8	4.5%
無回答	12	6.7%
合計	178	

◆「その他」の回答(原文ママ)

- 二宮尊徳の考えを世に広めるため
- 写真サークルの合併
- 地域の活性化
- トーストマスターズインターナショナルの下部組織
- 医療生協かながわ生活協同組合の地域支部として
- 俳句文芸の振興
- 子ども達が豊かな環境の中で楽しい園生活が送れるように保育者と話し合い考え協力し合って必要な活動を行うと共に、お互いの親睦を図ることを目的として作られた。
- 昭和21年4月発会、文化教養の向上、育児家庭教育の推進、婦人の情操、生活の合理化等を図るための講習会等

経年変化を見ると、「その活動が必要だと強く感じたため」が7ポイントほど下がっている他は、どの選択肢も大きな変化はありません。

法人格の有無で比較すると、全体で1番多く選ばれた「その活動が必要だと強く感じたため」と2番目の「同じ思いをもつ人たちに出会ったため」は法人格の有無にかかわらず多い結果となりました。しかし、3番目の「身近な問題で必要に迫られたため」は「法人格有り」の団体が多く、一方、4番目の「その活動が好き／得意なことだったため」は「法人格なし」の団体が多くなっています。

スタッフ人数規模別にみると、「その活動が必要だと強く感じたため」以外ほどの選択肢もポイント数や傾向に違いはありません。「その活動が必要だと強く感じたため」はスタッフ人数規模が大きいほどポイント数が大きくなる傾向があります。

図表 14 「団体設立のきっかけ」の経年変化とクロス集計

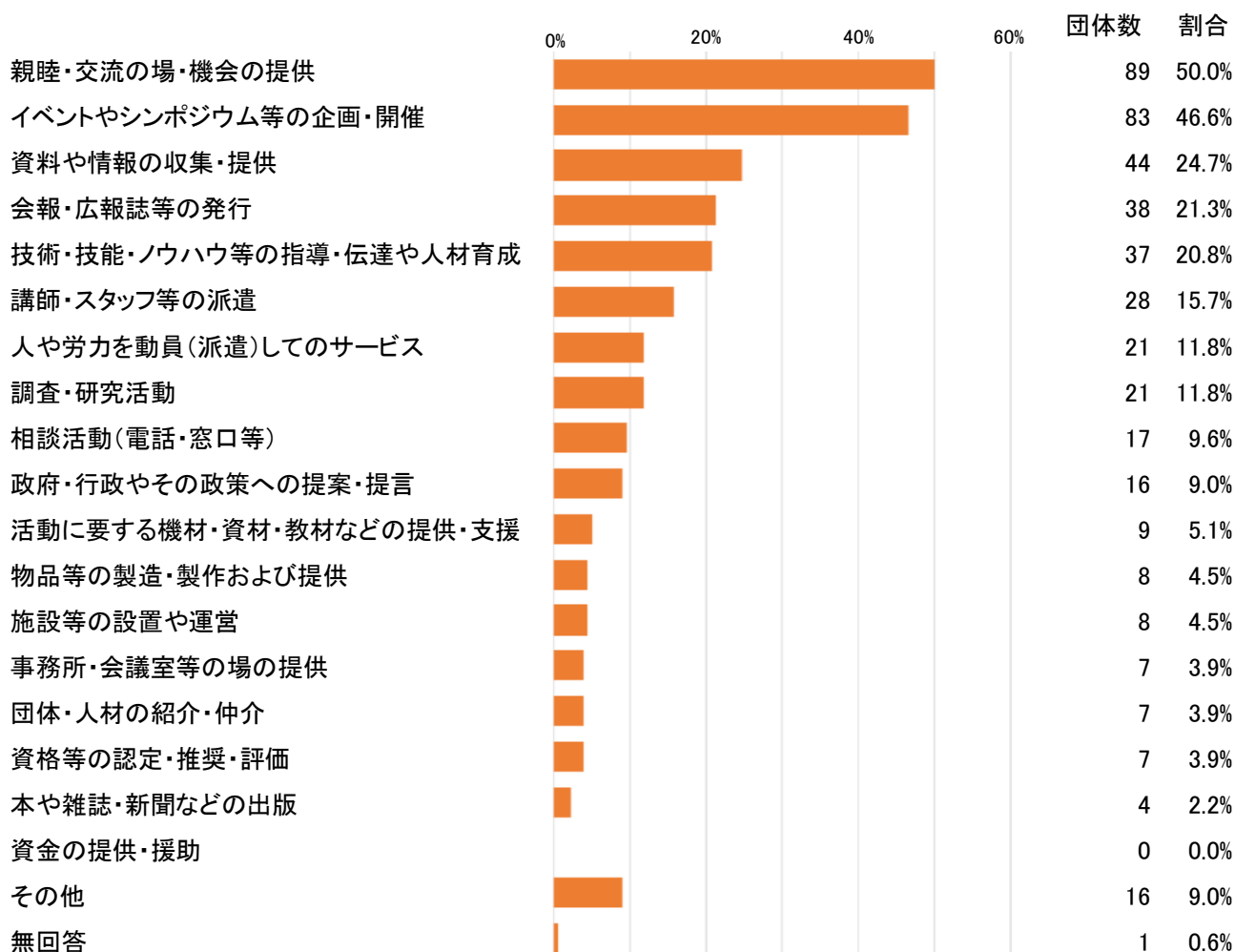
	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
その活動が必要だと強く感じたため	46.3%	41.3%	40.0%	40.0%	39.3%	48.3%	34.7%	30.2%	40.6%	46.8%	50.0%
同じ思いをもつ人たちに出会ったため	22.4%	22.3%	20.4%	20.4%	22.5%	20.0%	23.7%	28.3%	23.4%	21.3%	0.0%
身近な問題で必要に迫られたため	8.0%	8.7%	10.4%	10.4%	10.7%	16.7%	7.6%	13.2%	9.4%	8.5%	8.3%
その活動が好き／得意なことだったため	10.0%	8.7%	10.0%	10.0%	9.6%	1.7%	13.6%	11.3%	7.8%	10.6%	8.3%
地域に困っている人が居たため	2.5%	2.9%	3.2%	3.2%	2.2%	1.7%	2.5%	3.8%	1.6%	0.0%	0.0%
行政に呼びかけられたため	4.0%	4.4%	2.9%	2.9%	2.2%	5.0%	0.8%	0.0%	3.1%	2.1%	8.3%
尊敬する人と出会ったため	0.5%	0.5%	1.1%	1.1%	1.1%	1.7%	0.8%	0.0%	0.0%	2.1%	8.3%
別の団体から分かれたため	1.0%	0.5%	0.7%	0.7%	1.1%	0.0%	1.7%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%
その他	5.0%	8.3%	7.5%	7.5%	4.5%	3.3%	5.1%	5.7%	4.7%	2.1%	8.3%
無回答	5.0%	2.4%	3.9%	3.9%	6.7%	1.7%	9.3%	7.5%	6.3%	6.4%	8.3%
総数	201	206	280	280	178	60	118	53	64	47	12

4—1—2.

問 2. 継続的に行っている活動

継続的に行っている活動について、複数選択式で伺いました。178 団体中、半数の 89 団体が「親睦・交流の場・機会の提供」を挙げ、続いて「イベントやシンポジウム等の企画・開催」を 83 団体が挙げました。

図表 15 団体で継続的に行っている活動



◆「その他」の回答(原文ママ)

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●俳句の勉強 ●合唱の練習 ●観光ガイド ●パンフレットの発行 ●介護施設でホーム犬として保護犬を受け入れる活動を促進している。実際に受け入れた元保護犬のホーム犬を地域の人々が触れあえる場を提供しいやし効果等を実感してもらっている。保護犬活動の一環にもなっている。 ●自然保全 ●藤沢市内に在住するおもに老人に対しての傾聴活動 ●心理学勉強会(人生を前向きに生きる為) | <ul style="list-style-type: none"> ●来日外国人に対する日本語支援。 ●各人のエッセイを持ち寄り相互に評論する。 ●市民農園の管理・運営 ●海辺の環境保全、安全指導、監視・救助活動を行うライフセービング活動 ●視覚障害者からの依頼で点訳楽譜を提供する活動。 ●公園の美化・保全 ●善行公民館で始めた「男性合唱講座」がきっかけで、講座終了後(平成元年1月15日)湘南男声合唱団として発足させ現在も継続した活動を展開している。毎週日曜(16:00~18:30)練習日として合唱を楽しみ、年に2~3回、合唱祭等に参加している。 ●ポータルサイトの制作・運営 |
|---|--|

経年変化を見ると、「会報・広報誌等の発行」と「調査・研究活動」、「相談活動（電話・窓口等）」は年々減少傾向にあります、その他はほぼ横ばいで推移しています。

法人格の有無別にみると、「法人格有り」の団体の方が「イベントやシンポジウム等の企画・開催」が多く、「法人格なし」の団体の方が「親睦・交流の場・機会の提供」が多い結果となりました。また、他の活動については、全体的に「法人格有り」の団体からの回答が多くなっており、「法人格有り」の団体は様々な種類の活動を行っている、「法人格なし」の団体は活動を絞って行っているといえます。

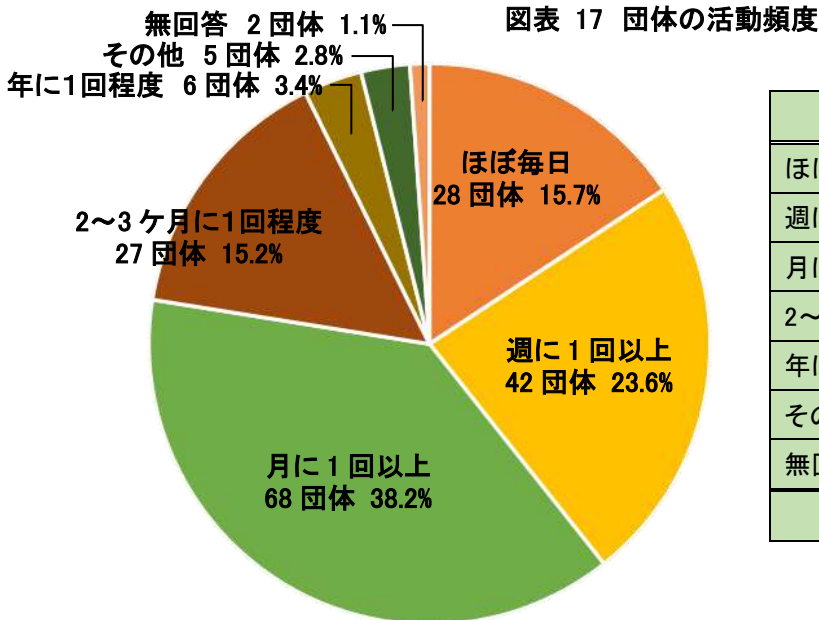
スタッフ人数規模別にみると、概ねスタッフ人数規模が大きい団体ほどたくさんの種類の活動をしており、特に「親睦・交流の場・機会の提供」や「会報・広報誌等の発行」では人数規模が大きい団体ほど継続的に行っているとの回答が多くありました。スタッフ人数規模が小さい団体の方が継続的に行っていると回答があったのは「講師・スタッフ等の派遣」と「物品等の製造・製作および提供」でした。

図表 16 「団体で継続的に行っている活動」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名 以下	6~10 名	11~30 名	31名 以上
親睦・交流の場・機会の提供	48.9%	48.9%	39.9%	52.8%	50.0%	43.3%	53.4%	47.2%	46.9%	53.2%	66.7%
イベントやシンポジウム等の企画・開催	50.0%	44.9%	41.7%	45.7%	46.6%	51.7%	44.1%	30.2%	59.4%	51.1%	41.7%
資料や情報の収集・提供	24.1%	29.6%	21.6%	23.8%	24.7%	25.0%	24.6%	24.5%	23.4%	25.5%	33.3%
会報・広報誌等の発行	28.9%	30.6%	26.6%	25.5%	21.3%	20.0%	22.0%	5.7%	23.4%	31.9%	41.7%
技術・技能・ノウハウ等の指導・伝達や人材育成	21.1%	21.2%	21.1%	23.4%	20.8%	28.3%	16.9%	20.8%	23.4%	14.9%	33.3%
講師・スタッフ等の派遣	16.9%	12.4%	8.3%	14.5%	15.7%	30.0%	8.5%	5.7%	20.3%	23.4%	8.3%
人や労力を動員(派遣)してのサービス	16.9%	9.5%	10.1%	12.4%	11.8%	25.0%	5.1%	7.5%	12.5%	12.8%	16.7%
調査・研究活動	23.3%	22.3%	18.3%	16.7%	11.8%	16.7%	9.3%	13.2%	10.9%	10.6%	16.7%
相談活動(電話・窓口等)	15.4%	12.4%	11.9%	11.7%	9.6%	18.3%	5.1%	7.5%	10.9%	8.5%	16.7%
政府・行政やその政策への提案・提言	-	-	-	7.4%	9.0%	21.7%	2.5%	1.9%	7.8%	17.0%	16.7%
活動に要する機材・資材・教材などの提供・支援	4.5%	4.4%	4.6%	5.0%	5.1%	10.0%	2.5%	5.7%	3.1%	2.1%	25.0%
物品等の製造・製作および提供	3.0%	4.4%	5.0%	4.3%	4.5%	10.0%	1.7%	3.8%	7.8%	2.1%	0.0%
施設等の設置や運営	2.6%	5.5%	5.0%	5.7%	4.5%	11.7%	0.8%	3.8%	1.6%	4.3%	25.0%
事務所・会議室等の場の提供	5.3%	4.4%	5.0%	1.8%	3.9%	6.7%	2.5%	7.5%	1.6%	0.0%	16.7%
団体・人材の紹介・仲介	3.8%	2.2%	2.3%	3.5%	3.9%	8.3%	1.7%	1.9%	4.7%	2.1%	16.7%
資格等の認定・推奨・評価	1.5%	3.3%	9.0%	2.1%	3.9%	8.3%	1.7%	3.8%	3.1%	4.3%	8.3%
本や雑誌・新聞などの出版	4.1%	2.9%	3.7%	2.1%	2.2%	1.7%	2.5%	3.8%	0.0%	4.3%	0.0%
資金の提供・援助	2.3%	1.5%	1.4%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	25.9%	23.0%	25.7%	12.4%	9.0%	8.3%	9.3%	13.2%	7.8%	6.4%	8.3%
無回答	-	-	1.1%	0.7%	0.6%	0.0%	0.8%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
総数	266	274	218	280	178	60	118	53	64	47	12

4—1—3. 問3. 活動の頻度

活動頻度択一式で伺いました。月に1回以上という回答が最も多く68件38.2%となりました。次いで週に1回以上が42件23.6%となりました。



活動頻度	件数	割合
ほぼ毎日	28	15.7%
週に1回以上	42	23.6%
月に1回以上	68	38.2%
2~3ヶ月に1回程度	27	15.2%
年に1回以上	6	3.4%
その他	5	2.8%
無回答	2	1.1%
合計	178	

経年変化をみると、2021年と比較すると、「月に1回以上」が4.3ポイント減少し、「週に1回以上」が2.2ポイント、「ほぼ毎日」が1.8ポイント、「30名以上」が1.3ポイント上昇しました。「活動頻度が上昇した」、もしくは、全体的に変化はないものの「月1回程度の活動をしている団体からのアンケート回答率が減り、相対的に『月に1回以上』の割合が減った」と予想されます。

法人格の有無別にみると、「法人格有り」の団体は「ほぼ毎日」が一番多く、「法人格なし」の団体は「月に1回以上」が最も多い結果となりました。「法人格有り」の団体方が多く活動しているといえます。

スタッフ人数規模別にみると、概ねスタッフ人数規模が大きい団体ほど活動頻度も多くなり、スタッフ人数規模31名以上の団体は「ほぼ毎日」、5名以下は「月に1回以上」が最も度数が多くなりました。

図表 18 「団体の活動頻度」の経年変化とクロス集計

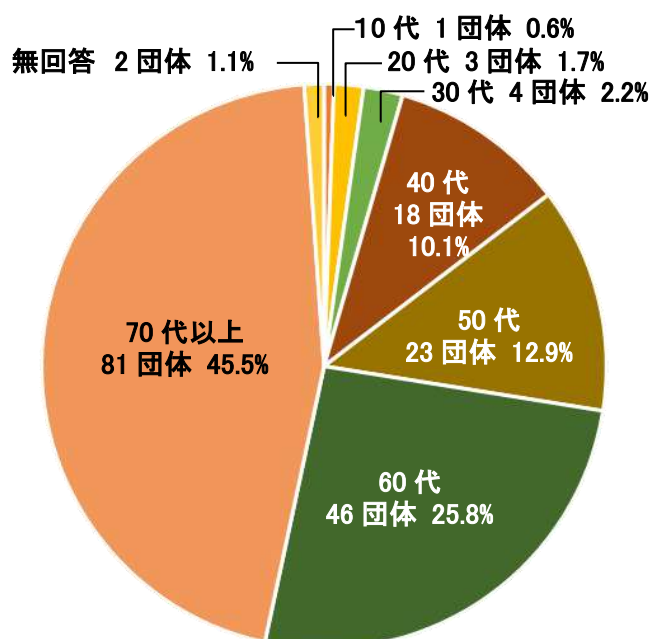
	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
ほぼ毎日	13.5%	6.9%	18.6%	13.9%	15.7%	38.3%	4.2%	5.7%	15.6%	14.9%	58.3%
週に1回以上	19.9%	16.2%	20.5%	21.4%	23.6%	23.3%	23.7%	26.4%	20.3%	25.5%	25.0%
月に1回以上	50.8%	56.5%	41.9%	42.5%	38.2%	21.7%	46.6%	41.5%	39.1%	38.3%	16.7%
2~3ヶ月に1回程度	9.8%	9.3%	9.0%	12.9%	15.2%	13.3%	16.1%	15.1%	17.2%	17.0%	0.0%
年に1回以上	4.9%	4.6%	3.3%	5.7%	3.4%	3.3%	3.4%	3.8%	6.3%	0.0%	0.0%
その他	1.1%	6.0%	6.2%	3.2%	2.8%	0.0%	4.2%	7.5%	1.6%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.5%	0.5%	0.4%	1.1%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%
総数	266	216	210	280	178	60	118	53	64	47	12

4—2. 団体スタッフ・会員

4—2—1. 問4. スタッフの平均年齢

スタッフの平均年代について択一式で伺いました。70代以上が最も多く、60代がそれに次ぎ、団体スタッフの高齢化が進んでいることが分かります。

図表 19 中心的な団体スタッフの年代



活動頻度	件数	割合
10代	1	0.6%
20代	3	1.7%
30代	4	2.2%
40代	18	10.1%
50代	23	12.9%
60代	46	25.8%
70代以上	81	45.5%
無回答	2	1.1%
合計	178	

経年変化をみると、2010年の50代と2023年の60代、2010年の60代以上と2023年の70代以上の割合がほぼ同じとなりました(図表 21)。10年前のスタッフがそのまま現在もスタッフとして活動し、世代交代が進んでいないものと考えられます。

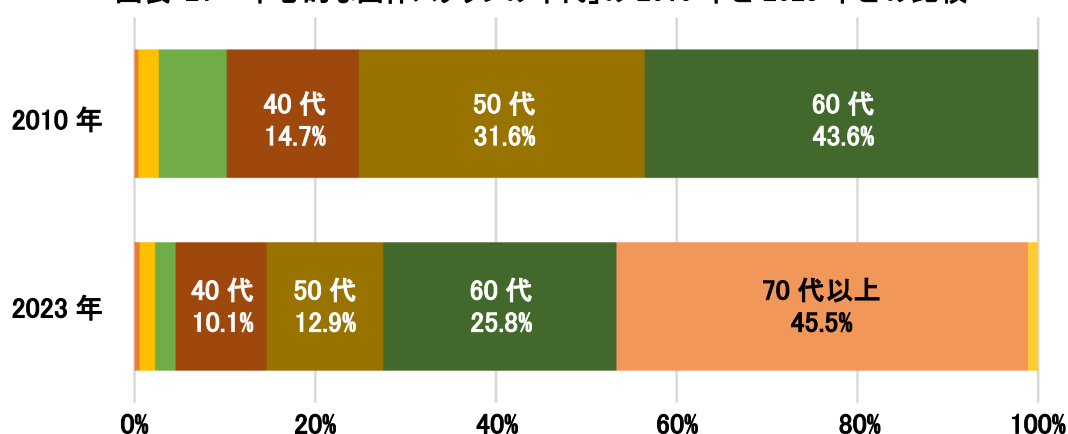
法人格の有無別にみると、「法人格有り」の団体は40代・50代にも分布していますが、「法人格なし」の団体の半数は70代以上と高齢化が顕著となっています。

スタッフ人数規模別にみると、スタッフ人数規模が多い団体は40代と60代が多く、スタッフ人数規模が少ない団体は50代と70代以上が多い傾向となりました。

図表 20 「中心的な団体スタッフの年代」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
10代	0.4%	0.5%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
20代	2.3%	2.3%	0.9%	1.4%	1.7%	3.3%	0.8%	0.0%	1.6%	4.3%	0.0%
30代	7.5%	2.8%	2.3%	3.9%	2.2%	5.0%	0.8%	1.9%	0.0%	4.3%	8.3%
40代	14.7%	6.5%	13.3%	11.1%	10.1%	18.3%	5.9%	7.5%	12.5%	6.4%	16.7%
50代	31.6%	18.7%	17.4%	18.9%	12.9%	18.3%	10.2%	18.9%	10.9%	10.6%	8.3%
60代	43.6%	34.6%	33.9%	31.1%	25.8%	23.3%	27.1%	20.8%	26.6%	29.8%	33.3%
70代以上	選択肢無し	34.1%	31.7%	33.2%	45.5%	31.7%	52.5%	50.9%	48.4%	42.6%	16.7%
無回答	0.0%	0.5%	0.5%	0.4%	1.1%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	2.1%	8.3%
総数	266	214	218	280	178	60	118	53	64	47	12

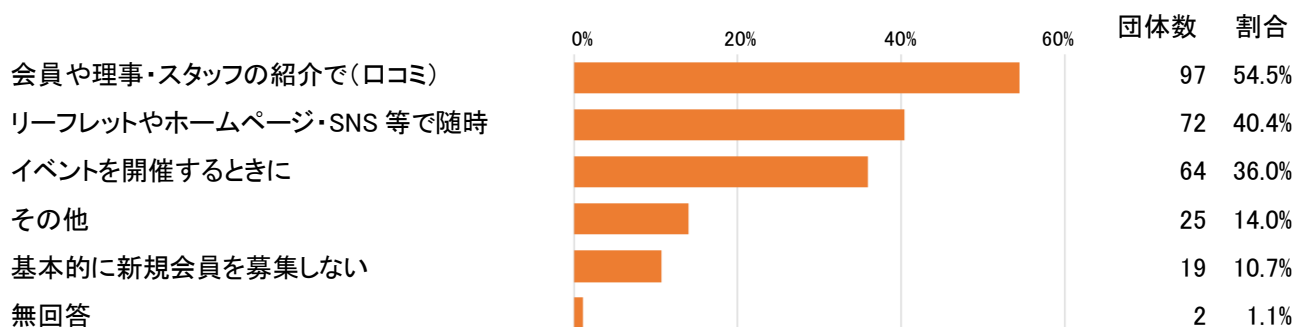
図表 21 「中心的な団体スタッフの年代」の2010年と2023年との比較



問5. 会員・ボランティアの募集方法

会員やボランティアの募集方法について複数選択式で伺いました。「会員や理事・スタッフの紹介で(口コミ)」が97件54.5%と最も多くなりました。また、会員を募集しない団体も17団体9.6%ありました。その他の回答としては、会員以外の方による口コミ、行政の広報誌への掲載や施設での配架、講座受講や資格取得などが挙げられていました。

図表 22 会員やボランティアの募集方法



◆「その他」の回答(原文ママ)

- 大学校友会会員から募集
- 知人の紹介による
- 大学へのリクルート活動等
- 活動地(海外)の大学生他社会人、が主な人材
- 組合員の中から
- 本会の会員となる条件を満たす者
- 問合せがある場合にお知らせしている
- 市広報
- 図書館、公民館等にアドバイザー養成講座の募集チラシを配架。
- 公国内、市役所、社会福祉協議会等に資料を配架
- 茅ヶ崎市の広報紙を以前に活用していましたが、今は予算の関係でなくなりました
- 新聞折込広告
- 音楽の知識と楽譜点訳の技術を習得している人が活動している。
- ガイド養成講座の開催、修了者が会員参加資格をもつ。
- 藤沢市が募集する健康普及員養成講座の修了者
- 会員はボランティア養成講座を開催して講座の修了者に募集する
- 市との協働事業で養成講座を開催
- スタッフ養成講座
- 団体所属の各支部毎に体験会を企画、実施している。
- 利用者への呼びかけ
- コロナのため広報は控えているため
- 休眠中
- 高齢化の為入会者はない。
- 必要な際に適宜募集
- 実戦活動を見て自ら参加する人の団体

経年変化をみると、2019 年はどの選択肢も減少傾向でしたが、2023 年は 2017 年と同程度まで回復しています。「基本的に新規会員を募集しない」は、2021 年にコロナ禍の影響もあり 13.2%と多かったのですが、今年は 2.5 ポイント下がりました。自由記述でコロナの影響を挙げている方もいらっしゃいますが、全体としては回復傾向に見られます。また、「会員や理事・スタッフの紹介で(口コミ)」は今年も最も回答が多かった選択肢でしたが、減少傾向にあります。

法人格の有無別にみると、「リーフレットやホームページ・SNS 等で随時」は「法人格有り」の団体の方が多く、「イベントを開催するときに」は「法人格なし」の団体の方が多い結果となりました。

スタッフ人数規模別にみると、スタッフ人数が多い団体は「リーフレットやホームページ・SNS 等で随時」が多く、スタッフ人数が 6～10 名、11～30 名は「イベントを開催するときに」が多い結果となりました。

図表 23 「会員やボランティアの募集方法」の経年変化とクロス集計

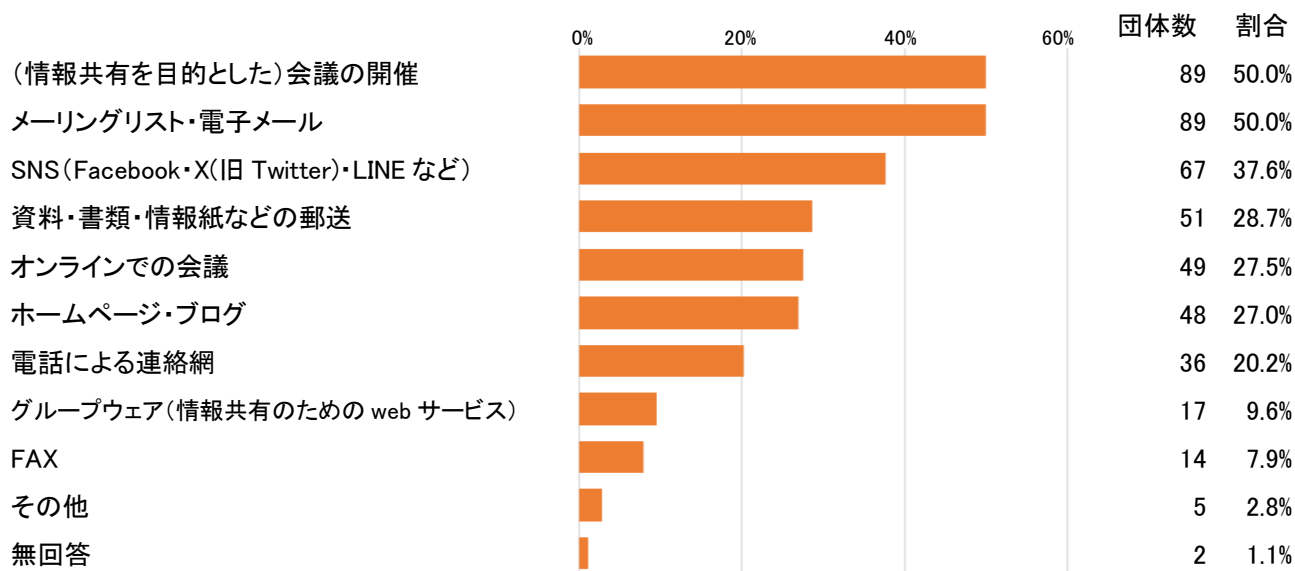
	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6～10名	11～30名	31名以上
会員や理事・スタッフの紹介で(口コミ)	70.4%	63.9%	34.7%	53.9%	54.5%	55.0%	54.2%	43.4%	60.9%	51.1%	75.0%
リーフレットやホームページ・SNS 等で随時	39.3%	35.2%	24.2%	41.1%	40.4%	55.0%	33.1%	28.3%	37.5%	51.1%	66.7%
イベントを開催するときに	46.3%	45.8%	25.4%	30.4%	36.0%	28.3%	39.8%	26.4%	40.6%	42.6%	25.0%
その他	13.1%	18.1%	9.3%	12.9%	14.0%	13.3%	14.4%	15.1%	14.1%	14.9%	8.3%
基本的に新規会員を募集しない	3.9%	8.3%	6.4%	13.2%	10.7%	6.7%	12.7%	18.9%	4.7%	10.6%	8.3%
無回答	-	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	1.7%	1.9%	0.0%	2.1%	0.0%
総数	266	274	210	280	178	60	118	53	64	47	12

4—2—3.

問 6. 会員やスタッフ間の情報共有の方法

会員やスタッフ間での情報共有の方法について複数選択式で伺いました。「(情報共有を目的とした)会議の開催」と「メーリングリスト・電子メール」の回答が 89 団体 50.0%でした。前回からオンライン会議を選択肢に追加したところ、49 件 27.5%の回答がありました。

図表 24 会員やスタッフ間での情報共有方法



◆「その他」の回答(原文ママ)

- 会員数1名につき、特にナシ。
- 毎月、合唱団の通信を発行(PC で転送)し練習の日程計画、行事計画の記載また、コラムコーナーを設け団員の声を載せコミュニケーションの一環としている。
- 随時各種組合せ
- 実践していれば見ればわかる・・他は不要
- 団体で構成している組織なので、ピースリレー・ふじさわの実行委員会で話し合われたことを各団体におろし、その先は各団体に任せて広めている。

経年変化をみると、各方法で傾向が分かれています。2017 年以降の傾向として、増加傾向(10 ポイント以上上昇)なのが「SNS (Facebook・X(旧 Twitter)・LINE など)」、減少傾向(10 ポイント以上減少)なのが「(情報共有を目的とした)会議の開催」、「電話による連絡網」、「FAX」、横ばい傾向(変動が±10 ポイント以内)が、「メーリングリスト・電子メール」、「資料・書類・情報紙などの郵送」、「ホームページ・ブログ」、「グループウェア(情報共有のための web サービス)」となりました。コロナ禍で利用が増えた「オンラインでの会議」は、対面での会議ができるような状況に戻っても減少しておらず、定着しているといえそうです。

法人格の有無別にみると、「法人格有り」の団体は各団体で 3 つ程度の選択肢を回答しているのに対し、「法人格なし」の団体は 2.5 程度となりました。「法人格有り」の団体がなしの団体より 10 ポイント以上多い選択肢が「(情報共有を目的とした)会議の開催」、「SNS (Facebook・X(旧 Twitter)・LINE など)」、「オンラインでの会議」、「ホームページ・ブログ」、「グループウェア(情報共有のための web サービス)」の 5 つでした。全体的に一方、「法人格なし」の団体の方が多かったのは「メーリングリスト・電子メール」、「資料・書類・情報紙などの郵送」、「電話による連絡網」でしたが、10 ポイント以上多い選択肢はありませんでした。

スタッフ人数規模別にみると、スタッフ人数規模が増えるとポイントも上昇したのが「(情報共有を目的とした)会議の開催」、「SNS (Facebook・X(旧 Twitter)・LINE など)」、「オンラインでの会議」、「グループウェア(情報共有のための web サービス)」でした。一方で、スタッフ人数規模が増えるとポイントが下降するものは「その他」以外ありません。特に、「(情報共有を目的とした)会議の開催」は、「スタッフ 5 名以下」と「31 名以上」とでは 3 倍もの違いがありました。

図表 25 「会員やスタッフ間での情報共有方法」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格 ⁽²⁰²³⁾		スタッフ人数規模 ⁽²⁰²³⁾			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
(情報共有を目的とした)会議の開催	27.6%	69.0%	63.3%	58.6%	50.0%	58.3%	45.8%	24.5%	53.1%	68.1%	75.0%
メーリングリスト・電子メール	17.2%	50.0%	42.2%	58.2%	50.0%	46.7%	51.7%	49.1%	48.4%	48.9%	66.7%
SNS (Facebook・X(旧 Twitter)・LINE など)	選択肢 無し	17.1%	25.7%	28.9%	37.6%	45.0%	33.9%	32.1%	37.5%	40.4%	50.0%
資料・書類・情報紙などの郵送	14.4%	36.6%	28.9%	27.5%	28.7%	23.3%	31.4%	17.0%	34.4%	36.2%	25.0%
オンラインでの会議	選択肢 無し	選択肢 無し	選択肢 無し	29.6%	27.5%	43.3%	19.5%	22.6%	26.6%	31.9%	41.7%
ホームページ・ブログ	8.8%	21.8%	23.4%	22.5%	27.0%	38.3%	21.2%	22.6%	29.7%	25.5%	41.7%
電話による連絡網	16.0%	31.0%	22.9%	20.0%	20.2%	16.7%	22.0%	18.9%	25.0%	19.1%	0.0%
グループウェア(情報共有のための web サービス)	0.9%	2.3%	10.6%	6.4%	9.6%	18.3%	5.1%	5.7%	9.4%	12.8%	16.7%
FAX	9.8%	17.1%	11.0%	9.3%	7.9%	8.3%	7.6%	7.5%	4.7%	12.8%	8.3%
その他	4.9%	7.4%	10.1%	2.5%	2.8%	0.0%	4.2%	7.5%	1.6%	0.0%	0.0%
無回答	-	0.9%	0.5%	3.2%	1.1%	0.0%	1.7%	1.9%	0.0%	2.1%	0.0%
総数	266	216	218	280	178	60	118	53	64	47	12

4—2—4.

問 7. ボランティアの人数

前事業年度事業活動に携わったボランティアの実人数と延べ人数について伺ったところ、実人数は 178 団体中 138 団体から回答があり、その平均は 34.4 人、中央値は 10 人でした。延べ人数は 178 団体中 129 団体から回答があり、その平均は 246.4 人、中央値は 40 人でした。

基本的にボランティアを必要としない活動をしている団体等があるため、最小値は 0 となっています。最大値は中央値と大きく差があるため、一部の大規模にボランティアを募集する団体が全体平均を引き上げている形になりました。

図表 26 昨年のボランティアの実人数と延べ人数

	実人数	延べ人数
平均値	34.4 人	246.4 人
中央値	10 人	40 人
最小値	0 人	0 人
最大値	771 人	2294 人
回答数	138 団体	129 団体

経年変化をみると、ボランティア実人数の平均値は2017年の30.5人から2021年は20.2人と減少しましたが、2023年は34.4人とV字回復しているといえます。

法人格の有無別にみると、ボランティアの実人数、延べ人数の平均値は「法人格有り」の団体の方が多い結果となりましたが、「法人格なし」の団体でも延べ人数を2000人も集めている団体もあることが分かりました。

スタッフ人数規模別にみると、ボランティアの実人数、延べ人数ともに、スタッフ人数の上昇とともに増えていく傾向が見られました。しかし、「ボランティア実人数の平均値」はスタッフ人数規模が「11～30名」よりも「6～10名」の方が多くなりました。

ボランティアは、「法人格なし」の団体、スタッフ人数が少ない団体でも、たくさんの受け入れをしている場合があることが分かりました。ボランティア募集や受け入れのノウハウを積み、活動内容や種類によっては小規模の団体でも多くのボランティアを受け入れられる可能性があるといえます。

図表 27 「昨年のボランティアの実人数」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (NPO 団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6～10名	11～30名	31名以上
平均値		30.5		20.2	34.4	54.4	22.3	11.6	43.8	38.7	70.6
中央値	未調査	10	未調査	6	10	10	4	5	6	5	35
最小値		0		0	0	0	0	0	0	0	0
最大値		402		600	771	771	422	89	771	300	422
回答数		51		233	138	52	86	42	49	34	11

図表 28 「昨年のボランティアの延べ人数」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6～10名	11～30名	31名以上
平均値				139.3	246.4	334.1	192.7	83.2	218.1	387.6	496.8
中央値	未調査			20	40	18	0	3	10	5	206
最小値				0	0	0	0	0	0	0	0
最大値				4320	2294	2294	2000	735	2044	2294	2000
回答数				221	129	49	80	36	47	32	12

4—3. 問 8.年間収益

178 団体中 151 団体から回答があり、収益総額の合計は 1,506,171,563 円でした。平均値が 998 万円に対して中央値は 30 万円と、両者に大きな差がありました。また、0 円と回答した団体は 17 団体ありました。

図表 29 年間収益の各内訳の平均値・中央値

	事業収益	受取会費	受取寄附金	繰越金	その他収益	年間収益総額
平均値	10,980,004 円	388,066 円	280,761 円	1,572,944 円	345,127 円	9,974,646 円
中央値	92,900 円	61,000 円	0 円	824,02.5 円	9.5 円	300,000 円
最小値	0 円	0 円	0 円	-764,122 円	0 円	0 円
最大値	341,710,522 円	7,461,700 円	16,400,000 円	50,968,394 円	7,792,816 円	378,027,919 円

経年変化をみると平均値は概ね増加傾向で、2021 年から 2023 年へは約 1.8 倍となっています。一方で中央値は 2010 年の 30 万円から増減して 2023 年に 30 万円に戻りました。ほぼ横ばいです。収益総額が変わらない団体が多くある中、一部の団体で収益が大きく増えていることが予想されます。

法人格の有無別にみると、平均値は 5 倍以上、中央値は 4 倍弱の差がありました。

スタッフ人数規模別にみると、平均値は「6～10 名」、「11～30 名」の両者で差は多くなく、中央値は「11～30 名」の方が少ない結果となりました。

図表 30 「年間収益総額」の経年変化

	経年変化				
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)
平均値	2,695,464	1,576,348	6,711,863	5,475,067	9,974,646
中央値	300,000	235,000	895,000	328,683.5	300,000
最小値	0	0	-24500	0	0
最大値	73,250,000	90,030,000	97,600,000	251,590,000	378,027,919
回答数	265	216	156	240	151

図表 31 「年間収益総額」のクロス集計

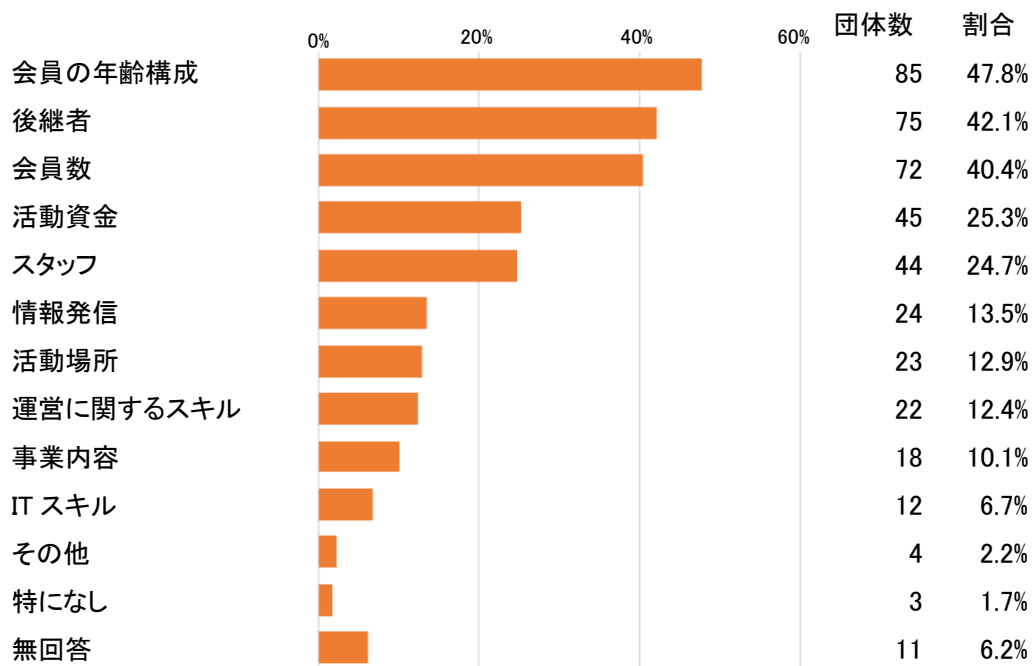
	2023 (今回)	法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
		有	なし	5名以下	6～10名	11～30名	31名以上
平均値	9,974,646	27,464,963	515,597	112,814	7,732,593	8,040,875	71,199,498
中央値	300,000	2,779,409	74,057.5	80,288	1,506,755	494,721	1,934,835
最小値	0	0	0	0	0	0	0
最大値	378,027,919	378,027,919	6,191,332	17,979,897	224942500	91,451,927	378,027,919
回答数	151	49	98	45	53	41	10

4—4. 問 9.団体運営の課題

団体運営の課題について、複数選択式でご回答いただきました。選択肢は、前回までの自由記述形式で得られた回答を基に作成しました。

その結果、最も多かったのは「会員の年齢構成」で 85 団体 47.8%、2 番目が「後継者」の 75 団体 42.1%と、高齢化の影響が大きいことが分かりました。以降、「会員数」、「活動資金」、「スタッフ」という課題が続きました。

図表 32 団体運営の課題



◆「その他」の回答(原文ママ)

- | | |
|------------|----------------------------|
| ● 資格保有者の確保 | ● イベント・セミナー時の集客 |
| ● 事務量 | ● 人材育成・会員がくつろげるクラブハウスがほしい。 |

経年変化をみると、特異的に 2021 年は「コロナ対応」に関するコメントが多くありましたが、2023 年はコロナに関する記述はありませんでした。

これまで「人材」を課題に挙げる団体が多かったのですが、その中身は「高齢化」、「スタッフ不足」、「新加入メンバーの減少」が多く、特に「高齢化」が多い傾向でした。今回も同様な傾向となりました。「後継者」も多い傾向は変わっていませんでした。

図表 33 「団体運営の課題」の経年変化

	経年変化			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021
人材	51.1%	37.5%	38.1%	48.9%
場	7.1%	6.0%	3.3%	8.9%
資金	9.8%	8.8%	7.1%	11.8%
情報・コミュニケーション	6.4%	14.8%	2.4%	1.4%
事業の発展・転換・見直し	6.8%	1.4%	4.3%	3.6%
事業運営・事業継承	12.0%	3.7%	8.1%	9.3%
その他	6.4%	3.7%	3.8%	6.1%
総数	266	216	210	280

法人格の有無別にみると、「法人格有り」の団体が「法人格なし」の団体より 10 ポイント多かった課題は、「活動資金」、「事業内容」、「法人格なし」の団体の方が 10 ポイント多かった課題は、「会員数」でした。特に「活動資金」は法人格の有無で大きく差があり、「法人格有り」の団体が「法人格なし」の 2 倍の割合で課題に挙げています。

スタッフ人数規模別にみると、「会員の年齢構成」はスタッフ人数「6～10 名」、「11～30 名」の団体の過半数が課題と挙げているのに対して、「5 名以下」、「31 名以上」では過半数を下回りました。一方で「後継者」はスタッフ人数規模が大きくなるにつれて課題に挙げる団体の割合が多くなりました。活動資金は横ばいで、スタッフ人数規模の違いとは関係性がなさそうです。

図表 34 「団体運営の課題」のクロス集計

	2023 (今回)	法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
		有	なし	5名 以下	6～10 名	11～30 名	31名 以上
会員の年齢構成	47.8%	41.7%	50.8%	30.2%	56.3%	57.4%	41.7%
後継者	42.1%	43.3%	41.5%	26.4%	48.4%	48.9%	50.0%
会員数	40.4%	33.3%	44.1%	22.6%	45.3%	57.4%	25.0%
活動資金	25.3%	40.0%	17.8%	24.5%	28.1%	21.3%	25.0%
スタッフ	24.7%	21.7%	26.3%	15.1%	28.1%	25.5%	33.3%
情報発信	13.5%	16.7%	11.9%	17.0%	12.5%	8.5%	25.0%
活動場所	12.9%	10.0%	14.4%	3.8%	17.2%	12.8%	25.0%
運営に関するスキル	12.4%	11.7%	12.7%	11.3%	9.4%	10.6%	41.7%
事業内容	10.1%	15.0%	7.6%	7.5%	9.4%	12.8%	16.7%
ITスキル	6.7%	8.3%	5.9%	5.7%	6.3%	6.4%	16.7%
その他	2.2%	3.3%	1.7%	3.8%	0.0%	2.1%	8.3%
特になし	1.7%	1.7%	1.7%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	6.2%	10.0%	4.2%	7.5%	4.7%	6.4%	8.3%
総数	178	60	118	53	64	47	12

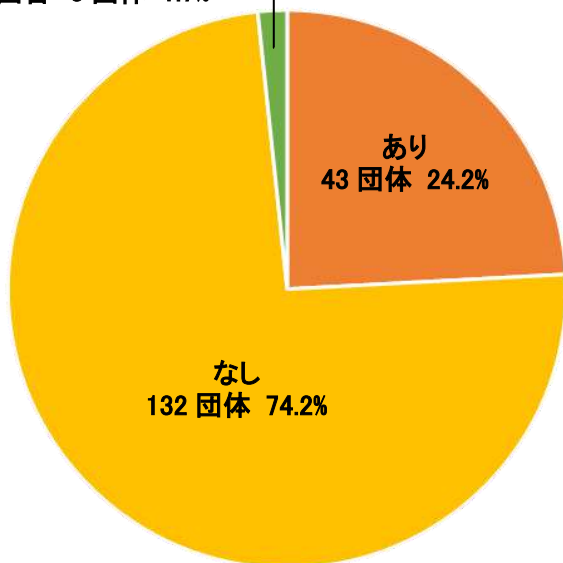
4—5. 活動場所

4—5—1. 問 10-1. 事務所や専用スペースの有無

団体の事務所や専用スペースの有無について択一式で伺いました。24.2%の団体が事務所や専用スペースを持っているとご回答されています。

図表 35 団体の事務所や専用スペースの有無

無回答 3 団体 1.7%



専用スペースの有無	件数	割合
あり	43	24.2%
なし	132	74.2%
無回答	3	1.7%
合計	178	

経年変化をみると、年によって増減はあるものの、概ね 25%付近で横ばいに推移しています。

法人格の有無別にみると、「法人格有り」が過半数を超える団体が「あり」と回答しているのに対して、「法人格なし」の団体は 10%を切る結果となりました。

スタッフ人数規模別にみると、スタッフ人数が多い団体ほど事務所や専用スペースを持っている結果となりました。

図表 36 「団体の事務所や専用スペースの有無」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
ある	24.4%	18.5%	31.2%	29.3%	24.2%	53.3%	9.3%	17.0%	26.6%	25.5%	33.3%
ない	74.4%	79.6%	68.3%	70.7%	74.2%	46.7%	88.1%	81.1%	71.9%	72.3%	66.7%
無回答	1.1%	1.9%	0.5%	0.0%	1.7%	0.0%	2.5%	1.9%	1.6%	2.1%	0.0%
総数	266	216	218	280	178	60	118	53	64	47	12

4—5—2. 問 10-2. 事務所や専用スペースで困っていること

事務所や専用スペースで困っていることについて、43 団体中7件からご回答がありました。家賃に関する困りごとが 3 件、広さに関することが 2 件、その他が 2 件でした。

◆「その他」の回答(原文ママ)

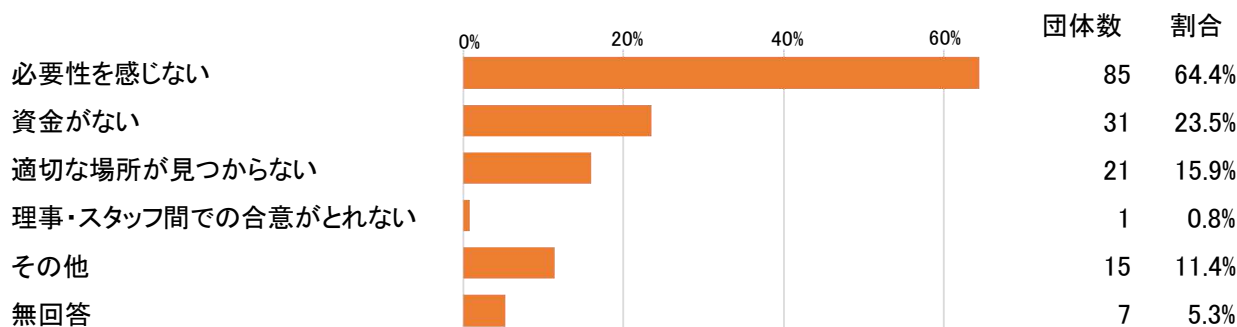
- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 家賃が高い ● 賃貸のオフィスの家賃料、修理費などが、恒常的に発生し、負担が大きい。 ● 空スペースを使つての講座に対して、スペース貸をし、家賃をカバーしていたが、コロナで講座が減り、家賃の為に動いているような状態 | <ul style="list-style-type: none"> ● スペースが狭い ● 事務所以外のスペースが欲しい ● 物品がなくなることがある。皆様自由に出入り出来るので監視が薄い。・利用者が使う日にち後清掃等お願いしたい(スタッフにおまかせ状態) ● 常勤スタッフはいないので、事務面でやれる事が限られる。 |
|---|---|

4—5—3.

問 10-3. 事務所や専用スペースがない理由

事務所や専用スペースがないと答えた 132 団体にその理由について複数選択式で伺ったところ、「必要性を感じない」という回答が 85 団体 64.4%で最も多くなりました。次いで「資金がない」31 団体 23.5%、「適切な場所が見つからない」が 21 団体 15.9%でした。

図表 37 団体の事務所や専用スペースがない理由



◆「その他」の回答(原文ママ)

- センター会議室利用及び静岡県協力団体で講演会場スタッフを確保
- 市民活動支援センター内に活動場所をテンポラリーに設定いただいた。
- 藤沢市民活動推進センター及びプラザむつあいを利用
- センターの利用で合意
- 市民活動推進センターにて、会議、作業を行っている為、他連絡事項等はメールなど利用。
- 藤沢市点字図書館のボランティアに登録しボランティアルームで会合している。図書館の都合で会合出来ない時は推進センターをお借りしている。
- 市役所の会議室を利用出来るので。
- 必要な場合はその都度公民館の会議室等を借用している
- 運営、イベント時公共施設借用
- 公民館を利用
- 公民館を利用
- あれば便利であるが、その分いろいろ負担がふえる
- 必要に応じ借入
- コロナの影響で制限。
- 活動がまだ軌道にのっていない。

経年変化をみると、横ばいなのが「必要性を感じない」、減少傾向なのが「資金がない」と、理由に変化があることが分かりました。

法人格の有無別にみると、「法人格有り」の団体は「資金がない」、「適切な場所が見つからない」が多く、「法人格なし」の団体は「必要性を感じない」が多い結果となり、法人格の有無で理由に差がありました。

スタッフ人数規模別にみると、スタッフ人数に大きく影響がありそうです。スタッフ人数規模が大きくなるにつれて理由として挙げる団体が増えるのが「資金がない」、「適切な場所が見つからない」、スタッフ人数規模が大きくなるにつれて減るのが「必要性を感じない」でした。

図表 38 「事務所・専用スペースが無い理由」の経年変化とクロス集計

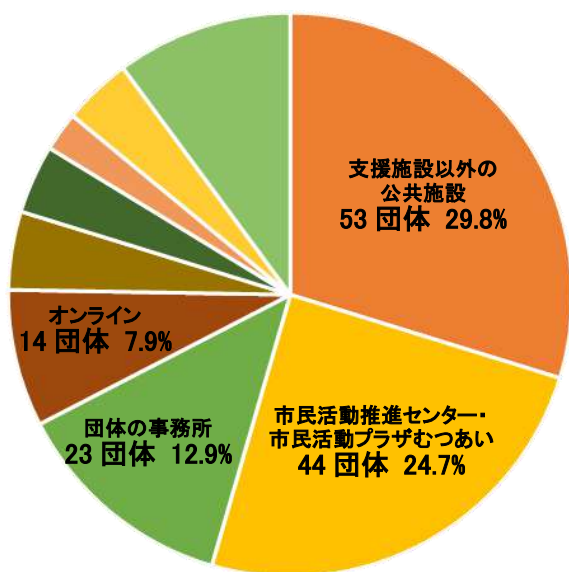
	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
必要性を感じない	59.6	47.6	46.7	64.1%	64.4%	53.6%	67.3%	74.4%	65.2%	55.9%	37.5%
資金がない	49.1	34.8	30.6	27.8%	23.5%	32.1%	21.2%	20.9%	21.7%	26.5%	37.5%
適切な場所が見つからない	24.0	11.8	12.2	14.6%	15.9%	28.6%	12.5%	7.0%	19.6%	20.6%	25.0%
理事・スタッフ間での合意がとれない	2.9	1.1	0.6	1.0%	0.8%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%
その他	12.9	0.0	5.0	8.6%	11.4%	10.7%	11.5%	9.3%	13.0%	11.8%	12.5%
無回答	-	4.8	5.0	5.1%	5.3%	7.1%	4.8%	4.7%	4.3%	5.9%	12.5%
総数	197	171	149	198	132	28	104	43	46	34	8

4—5—4.

問 11-1. 活動や打ち合わせに1番多く使用する場所

打ち合わせに使用する場所について択一式で伺いました。市民活動支援施設とそれ以外の公共施設の合計で過半数の回答となりました。団体事務所が12.9%とそれに続いたほか、前回(2021年度)より選択肢に加えたオンラインは7.9%となりました。

図表 39 打合せ等で一番多く使用する場所



打合せ等で一番多く使用する場所	件数	割合
支援施設以外の公共施設	53	29.8%
市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい	44	24.7%
貴団体の事務所	23	12.9%
オンライン	14	7.9%
会員・スタッフ・理事の自宅や職場	8	4.5%
公園や広場などの屋外	7	3.9%
民間の施設(喫茶店等)	4	2.2%
その他	7	3.9%
無回答	18	10.1%
合計	178	

◆「その他」の回答(原文ママ)

- ・傾聴活動は利用者の住んでいる場所です。
- ・会議、勉強会は市民活動推進センター
- 藤沢カトリック教会の会議室
- 農園空きスペース
- 畑
- 海でのビーチクリーン活動のため、現地で話をします。
- 会員数1名につき、特にナシ。

経年変化をみると、「市民活動支援施設(市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい)」がこれまで最も多かったのですが、今回初めて「支援施設以外の公共施設」の利用が1位となりました。「支援施設以外の公共施設」は横ばいで推移しているのに対して「市民活動支援施設(市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい)」は減少傾向となっています。市役所市民会議室や F-プレイスをはじめとする公共施設での貸会議室や、コロナ禍で普及・定着した「オンライン会議」など、活動場所の選択肢が増えていることが一因だと考えられます。

法人格の有無別にみると、「法人格有り」の団体は「貴団体の事務所」が最も多いのに対して、「法人格なし」の団体は「支援施設以外の公共施設」や「市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい」の方が多く結果となりました。

スタッフ人数規模別にみると、スタッフ人数規模が大きくなるにつれて「団体の事務所」が増えていること以外は、どの規模でも同様な傾向となっています。

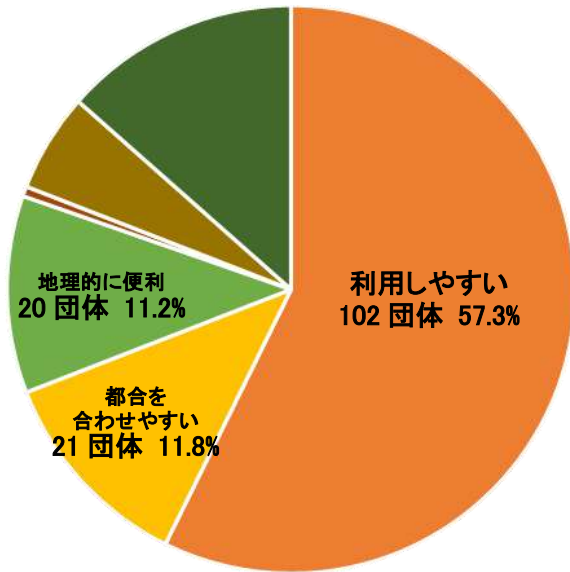
図表 40 「打合せ等で一番多く使用する場所」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
支援施設以外の公共施設	28.9%	28.2%	27.3%	26.8%	29.8%	23.3%	33.1%	28.3%	31.3%	31.9%	25.0%
市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい	41.7%	48.4%	29.4%	28.2%	24.7%	16.7%	28.8%	18.9%	29.7%	25.5%	25.0%
貴団体の事務所	12.0%	7.2%	15.5%	13.9%	12.9%	31.7%	3.4%	9.4%	12.5%	12.8%	25.0%
オンライン	選択肢無し	選択肢無し	選択肢無し	12.9%	7.9%	10.0%	6.8%	7.5%	7.8%	10.6%	0.0%
会員・スタッフ・理事の自宅や職場	7.1%	6.2%	12.8%	7.1%	4.5%	5.0%	4.2%	9.4%	3.1%	0.0%	0.0%
公園や広場などの屋外	1.9%	0.5%	2.1%	3.2%	3.9%	0.0%	5.9%	5.7%	3.1%	2.1%	8.3%
民間の施設(喫茶店等)	7.1%	6.2%	7.0%	3.6%	2.2%	3.3%	1.7%	3.8%	0.0%	4.3%	0.0%
その他	1.1%	1.0%	5.3%	2.5%	3.9%	3.3%	4.2%	7.5%	3.1%	2.1%	0.0%
無回答	-	2.6%	-	1.8%	10.1%	6.7%	11.9%	9.4%	9.4%	10.6%	16.7%
総数	266	195	187	280	178	60	118	53	64	47	12

問 11-2. その場所を活動や打ち合わせで使う理由

ご回答いただいた「活動や打ち合わせに使用する場所」について、その場所を使う理由を択一式で伺いました。「利用しやすいから」が 102 団体 57.3%と、過半数を越えました。次いで「参加者の都合(時間等)を合わせやすいから」が 21 団体 11.8%、「参加者の都合(時間等)を合わせやすいから」が 20 団体 11.2%となりました。

図表 41 その場所を使用している理由



その場所を使用している理由	件数	割合
利用しやすいから	102	57.3%
参加者の都合(時間等)を合わせやすいから	21	11.8%
地理的に便利だから	20	11.2%
他に使用できる場所を知らないから	1	0.6%
その他	10	5.6%
無回答	24	13.5%
合計	178	

◆「その他」の回答(原文ママ)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 事務所として登録している為。 ● 常駐している為 ● 無料だから ● 予約がとりやすい ● 藤沢公民館バックアップしていただいている | <ul style="list-style-type: none"> ● 当合唱団発祥の公民館であり今後も継続をお願い致します。 ● 福祉クラブ事務所を共同利用 ● 学校長の許可のもと中学生との交流もあるから。 ● 会員数1名につき打合せ場所は不必要 |
|--|---|

経年変化をみると、「利用しやすいから」という理由が毎回最も多く今回も横ばいで、2021年から分割した「参加者の都合(時間等)を合わせやすいから」と合わせると69.1%でした。一方「地理的に便利だから」という理由は減少傾向にありました。

また、**法人格の有無別**、**スタッフ人数規模別**でみた場合、大きな違いがある選択肢はありませんでした。

図表 42 「その場所を使用している理由」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
利用しやすいから	66.5%	72.6%	74.2%	56.4%	57.3%	60.0%	55.9%	60.4%	54.7%	59.6%	50.0%
参加者の都合(時間等)を 合わせやすいから	選択肢 無し	選択肢 無し	選択肢 無し	15.0%	11.8%	16.7%	9.3%	13.2%	17.2%	6.4%	0.0%
地理的に便利だから	19.9%	15.9%	13.1%	14.3%	11.2%	8.3%	12.7%	13.2%	4.7%	19.1%	8.3%
他に使用できる場所を知らないから	0.8%	3.5%	1.5%	1.8%	0.6%	0.0%	0.8%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	10.5%	5.0%	6.6%	8.2%	5.6%	3.3%	6.8%	3.8%	7.8%	2.1%	8.3%
無回答	2.3%	3.0%	4.5%	8.2%	13.5%	11.7%	14.4%	7.5%	15.6%	12.8%	33.3%
総数	266	201	198	280	178	60	118	53	64	47	12

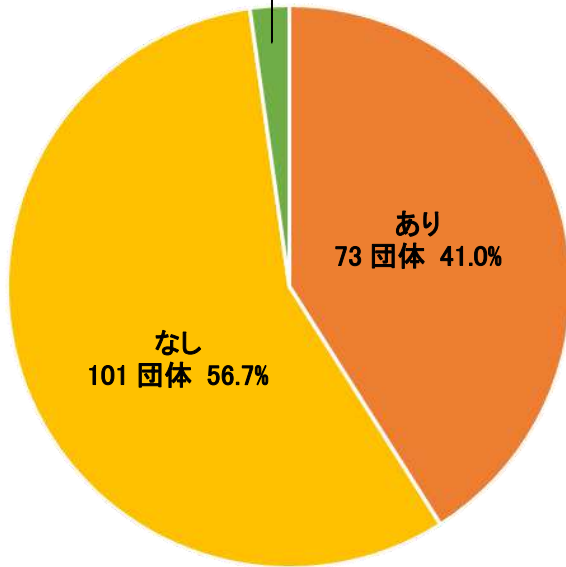
4—6. 助成金等の申請

4—6—1. 問 12-1. 助成金等の応募経験

助成金等の応募経験について、択一式で伺いました。応募をしたことがあるという団体が 73 団体 41.0%、なしの団体が 101 団体 56.7%でした。

図表 43 助成金・補助金・協働事業等の応募経験の有無

無回答 4 団体 2.2%



助成金等の応募経験	件数	割合
あり	73	41.0%
なし	101	56.7%
無回答	4	2.2%
合計	178	

経年変化をみると、経験ありの割合は 35～45%を行き来しており、おおむね横ばいとなっています。

法人格の有無別にみると、「法人格有り」の団体では 2/3 の団体が応募申請しているのに対して、「法人格なし」の団体で申請しているのは 1/3 に満たないという結果になりました。

スタッフ人数規模別にみると、スタッフが多い団体ほど助成金等を申請し、少ない団体ほど申請しないように見えますが、スタッフ人数 31 名以上では母集団が少ないためそのルールに沿いませんでした。

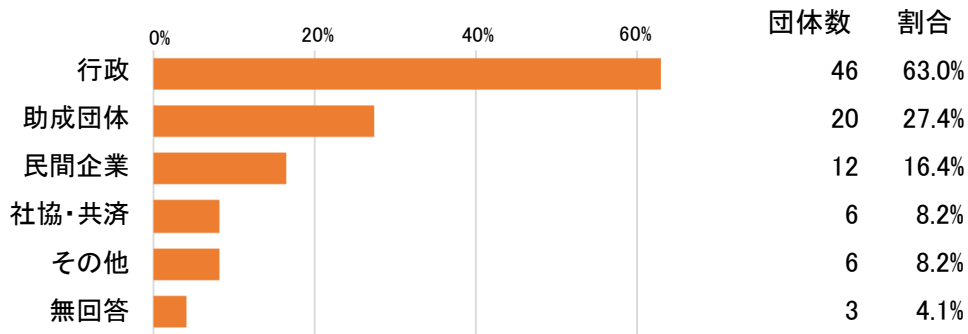
図表 44 「助成金・補助金・協働事業等の応募経験の有無」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
ある	44.0%	37.5%	47.9%	45.7%	41.0%	66.7%	28.0%	26.4%	40.6%	55.3%	50.0%
ない	56.0%	60.6%	49.3%	51.8%	56.7%	31.7%	69.5%	71.7%	57.8%	40.4%	50.0%
無回答	0.0%	1.9%	2.7%	2.5%	2.2%	1.7%	2.5%	1.9%	1.6%	4.3%	0.0%
総数	266	216	219	280	178	60	118	53	64	47	12

問 12-2. 助成金等の応募先

助成金を申請したことがある 73 団体に、助成金等の応募先について複数選択式で質問したところ、「行政」が最も多く 46 団体 63.0%となりました。次いで「助成団体」が 20 団体 27.4%、「民間企業」が 12 団体 16.4%でした。

図表 45 助成金・補助金・協働事業等の応募先



◆「その他」の回答(原文ママ)

- 藤沢市観光協会
- 生活クラブ生協
- ユーコープ
- 日赤
- 日赤藤沢市地区
- 記録にないため不明

経年変化をみると、コロナ禍により助成が多く行われた 2021 年は特異でどの応募先も多くの応募がありました。それ以外の年は、「行政」は大きな変動があるものの、「助成団体」や「民間企業」は年々減少しています。

法人格の有無別にみると、「法人格有り」の団体は「助成団体」への申請が多いですが、「法人格なし」の団体は「民間企業」や「社協・共済」への申請が多い傾向がありました。

スタッフ人数規模別にみると、どのスタッフ人数規模でも「行政」への申請は 5 割を超えていましたが、特に「10～30 名」が 73.1%と高い結果となりました。「助成団体」への申請は「5 名以下」と「31 名以上」で多く、その他の申請先はスタッフ人数規模で大きな差はありませんでした。

図表 46 「助成金・補助金・協働事業等の応募先」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
行政	65.8%	59.3%	41.3%	76.6%	63.0%	67.5%	57.6%	50.0%	65.4%	73.1%	50.0%
助成団体	選択肢無し	46.9%	43.8%	38.3%	27.4%	22.5%	9.1%	35.7%	15.4%	26.9%	50.0%
民間企業	39.3%	22.2%	26.7%	26.6%	16.4%	25.0%	30.3%	14.3%	15.4%	15.4%	33.3%
社協・共済	選択肢無し	選択肢無し	8.1%	21.1%	8.2%	2.5%	15.2%	14.3%	7.7%	3.8%	0.0%
その他	24.8%	14.8%	7.6%	9.4%	8.2%	7.5%	9.1%	7.1%	11.5%	7.7%	0.0%
無回答	-	-	-	0.8%	4.1%	7.5%	0.0%	0.0%	7.7%	3.8%	0.0%
総数	117	81	172	128	73	40	33	14	26	26	6

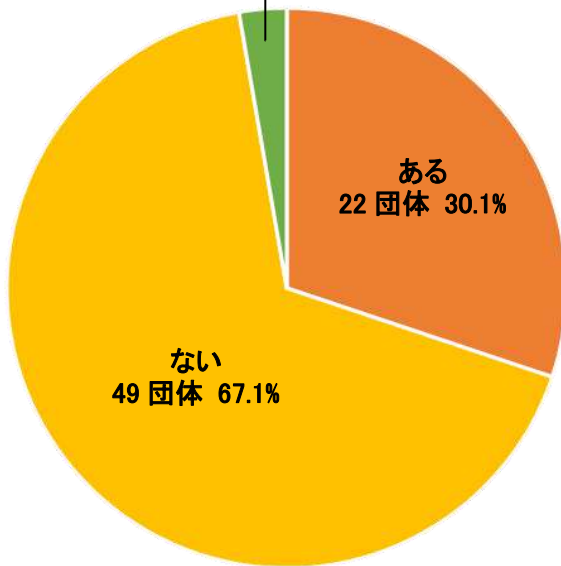
4—6—3.

問 12-3. 助成金等の申請でアドバイスを受けた経験

助成金を申請したことがある 73 団体に、助成金等の申請でアドバイスを受けた経験について択一式で質問したところ、「ある」が 22 団体 30.1%、「ない」が 49 団体 67.1%でした。

図表 47 助成金・補助金・協働事業等の申請でアドバイスを受けた経験の有無

無回答 2 団体 2.7%



助成金等の申請でアドバイスを受けた経験の有無	件数	割合
ある	22	30.1%
ない	49	67.1%
無回答	2	2.7%
合計	73	

経年変化をみると、アドバイスを受けた経験が「ある」の団体は減少傾向にあります。

法人格の有無別にみると、法人格の有無で大きな差がありませんでした。

スタッフ人数規模別にみると、スタッフ人数規模が多いほどアドバイスを受けた経験が「ない」傾向がありました。

図表 48 「助成金・補助金・協働事業等の申請でアドバイスを受けた経験の有無」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
ある	49.6%	39.5%	26.7%	39.8%	30.1%	27.5%	33.3%	50.0%	30.8%	23.1%	0.0%
ない	46.2%	50.6%	66.7%	55.5%	67.1%	67.5%	66.7%	50.0%	61.5%	76.9%	100.0%
無回答	4.3%	9.9%	6.7%	4.7%	2.7%	5.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
総数	117	81	105	128	73	40	33	14	26	26	6

4—6—4.

問 12-3. 助成金等の申請でアドバイスを求めた先

アドバイスを受けた経験のある 22 団体を対象にアドバイスを求めた先について伺ったところ、20 団体から回答があり、最も多かったのが「市民活動推進センター」で 10 団体でした。その他として、「応募先」や「同様の活動をしている団体」、「前年度応募した団体」等が選ばれました。

◆「その他」の回答(原文ママ)

● 藤沢市市民活動支援施設 (同9件)	● 応募先
● 鎌倉 NPO センター ファンド事業部(セミナー講師)	● 助成団体応募先
● 市役所の担当部、担当課部長、課長、担当者	● 日赤
● 行政・社協	● 同じ活動している NPO 団体
	● 同様の活動を実施している団体
	● 前年度応募した先輩団体
	● 議員

アドバイスを求めた先については、回答数が少ないのでクロス集計はせず、**経年変化**のみを見ました。「藤沢市市民活動支援施設」が 2019 年から最も選ばれており、今回もアドバイスを求めた先として最も多く選択されました。一方、「行政」や「助成金等の申請先」は減少傾向にあります。また、「同様の活動をしている団体」や「前回応募した団体」など、「他の団体」にアドバイスを求めるケースが増加傾向にあることが分かりました。

図表 49 「助成金等の申請でアドバイスを求めた先」の経年変化

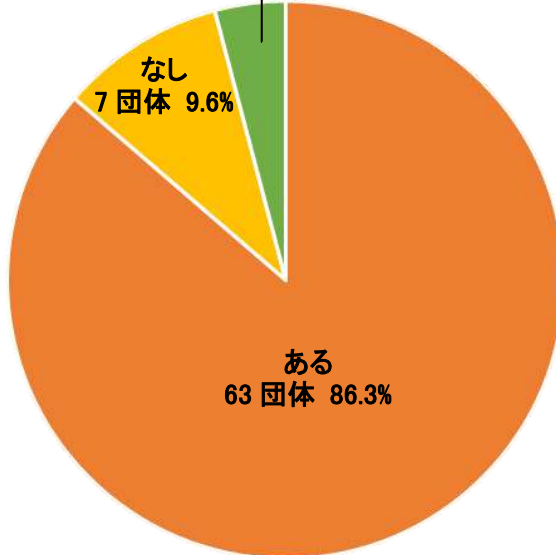
	経年変化				
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)
藤沢市市民活動支援施設		25.0%	39.3%	47.9%	40.9%
他の市民活動支援施設		6.3%	0.0%	4.2%	4.5%
行政	未調査	28.1%	28.6%	33.3%	9.1%
助成金等の申請先		28.1%	14.3%	14.6%	13.6%
他の団体		9.4%	0.0%	6.3%	13.6%
その他		3.1%	3.6%	0.0%	4.5%
総数			32	28	48

問 12-4. 助成金等を受けた経験

助成金を申請したことがある 73 団体に助成金等を受けた経験について択一式で質問したところ、「ある」が 63 団体 86.3%、「なし」が 7 団体 9.6%でした。

図表 50 助成金・補助金・協働事業等を受けた経験の有無

無回答 2 団体 2.7%



助成金等を受けた経験の有無	件数	割合
ある	63	86.3%
なし	7	9.6%
無回答	3	4.1%
合計	73	

経年変化をみると、助成金等を受けたことが「ある」団体はおおむね 80%前後で推移していますが、「なし」との回答は減少傾向にあります。

法人格の有無別にみると、助成金等を受けたことが「ある」と回答したのは、「法人格なし」の団体の方が「法人格有り」の団体より 10 ポイント以上高いことが分かりました。「法人格なし」でも応募できる助成金などが増えたため、審査で事業収入の見込みが少ない「法人格なし」の団体が選ばれているため、等の理由があるのではないかと予想されます。

スタッフ人数規模別にみると、スタッフ人数規模が大きくなればなるほど、助成金等を受けたことがある団体が増える傾向がありました。

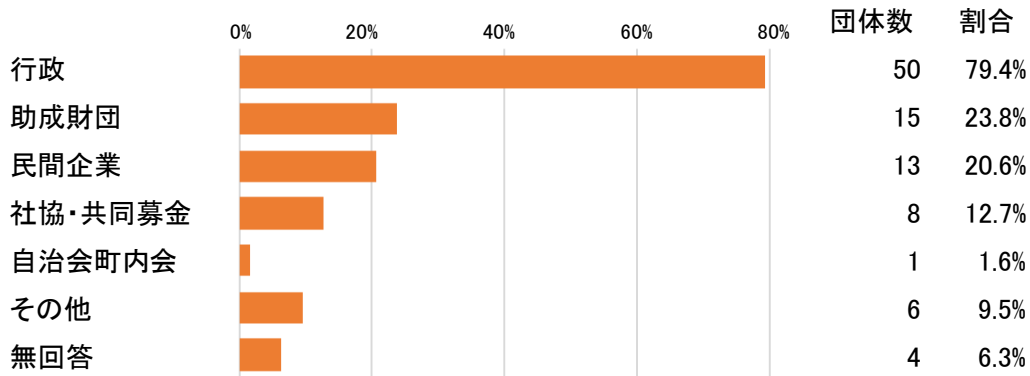
図表 51 「助成金・補助金・協働事業等を受けた経験の有無」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
ある	79.5%	74.1%	81.9%	89.8%	86.3%	80.0%	93.9%	78.6%	84.6%	88.5%	100.0%
なし	20.5%	14.8%	13.3%	9.4%	9.6%	12.5%	6.1%	21.4%	7.7%	7.7%	0.0%
無回答	0.0%	11.1%	4.8%	0.8%	4.1%	7.5%	0.0%	0.0%	7.7%	3.8%	0.0%
総数	117	81	105	128	73	40	33	14	26	26	6

問 12-5. 助成金等の費用提供元

助成金等を受けた経験がある63団体に助成金等の費用提供元について複数選択式で質問したところ、「行政」が最も多く50団体79.4%となりました。次いで「助成財団」が15団体23.8%、「民間企業」が13団体20.6%でした。費用提供元の回答数順位やその割合は、応募先のものと同じ傾向となりました。

図表 52 助成金・補助金・協働事業等の費用提供元



◆「その他」の回答(原文ママ)

- 藤沢市観光協会
- 日赤
- 商工会
- 日赤藤沢市地区
- ユーコープ
- 個人

経年変化をみると、「行政」は2019年に大きく落ち込んでいるが基本的に増加傾向にあります。「民間企業」は減少傾向にありますが、「助成財団」との合計値は横ばいで40%前後となっています。

法人格の有無別にみると、「行政」、「民間企業」は、「法人格有り」の団体の方が「法人格なし」の団体よりも10ポイント以上多い結果となりました。

スタッフ人数規模別にみると、スタッフ人数が多い団体ほど、「行政」や「助成財団」、「民間企業」が多く、スタッフ人数が少ない団体は提供元が多様化していることが分かりました。

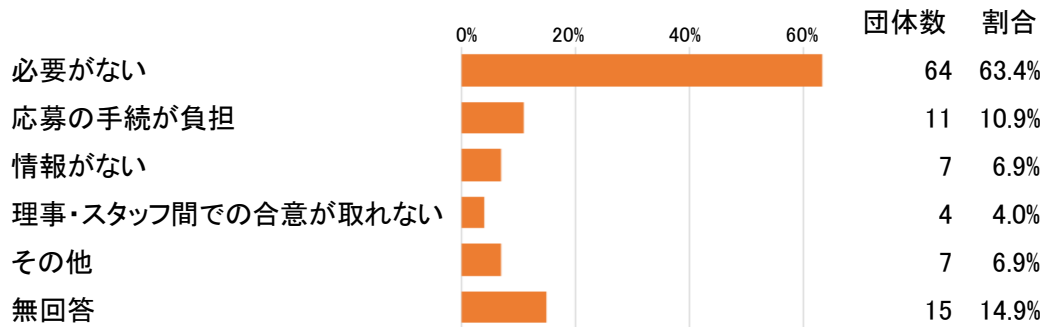
図表 53 「助成金・補助金・協働事業等の費用提供元」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
行政	65.8%	59.3%	41.3%	72.2%	79.4%	90.6%	67.7%	63.6%	86.4%	82.6%	83.3%
助成財団	選択肢無し	選択肢無し	選択肢無し	31.3%	23.8%	28.1%	19.4%	27.3%	9.1%	30.4%	50.0%
民間企業	39.3%	22.2%	26.7%	22.6%	20.6%	28.1%	12.9%	27.3%	13.6%	21.7%	33.3%
社協・共同募金	選択肢無し	選択肢無し	8.1%	18.3%	12.7%	12.5%	12.9%	9.1%	18.2%	8.7%	0.0%
自治会町内会	選択肢無し	選択肢無し	選択肢無し	1.7%	1.6%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%
その他	24.8%	14.8%	7.6%	8.7%	9.5%	6.3%	12.9%	9.1%	13.6%	8.7%	0.0%
無回答	-	-	-	11.3%	6.3%	9.4%	3.2%	18.2%	0.0%	8.7%	0.0%
総数	93	60	86	115	63	32	31	11	22	23	6

問 12-6. 助成金等を申請しない理由

助成金を申請したことがない 101 団体に、助成金等の申請をしない理由について複数選択式で質問したところ、「必要がない」が最も多く 64 団体 63.4%となりました。次いで「応募の手続が負担」が 11 団体 10.9%、「情報がない」が 7 団体 6.9%、「理事・スタッフ間での合意が取れない」が 4 団体 4.0%でした。

図表 54 助成金・補助金・協働事業等を申請しない理由



◆「その他」の回答(原文ママ)

- クラウドファンディング(キャンプファイア)を実施したため
- 現時点では助成金を必要としない。
- ひも付き懸念
- いずれ応募してみたい
- 本団体にあった助成金がない。
- よくわからない
- 応募するまでの態勢が出来ていない。

経年変化をみると、「必要がない」が最も多く、60%程度で横ばいとなっています。「応募の手続が負担」は減少傾向にあります。

法人格の有無別にみると、「必要がない」と回答した「法人格なし」の団体の割合は、「法人格有り」の 2 倍のとなっています。一方で、「法人格有り」の団体は「応募の手続が負担」や「情報がない」の割合が多い結果になりました。

スタッフ人数規模別では、大きな違いは見られませんでした。

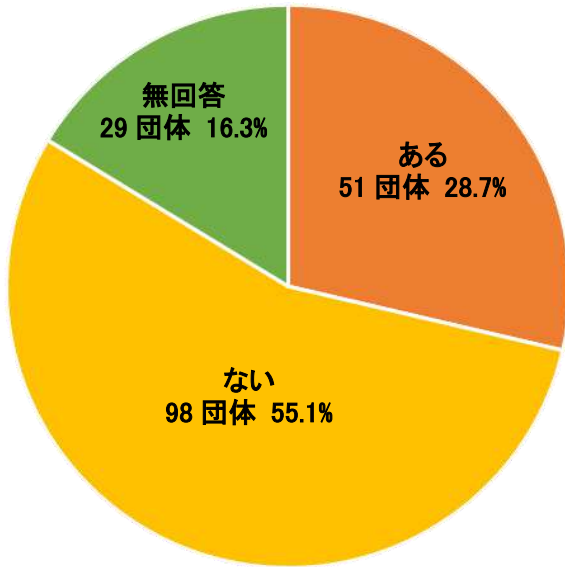
図表 55 「助成金・補助金・協働事業等を申請しない理由」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
必要がない	59.1%	56.8%	61.8%	66.2%	63.4%	36.8%	69.5%	60.5%	64.9%	68.4%	66.7%
応募の手続が負担	16.8%	15.9%	17.6%	14.5%	10.9%	31.6%	6.1%	10.5%	13.5%	10.5%	0.0%
情報がない	4.7%	11.4%	12.7%	12.4%	6.9%	21.1%	3.7%	7.9%	8.1%	5.3%	0.0%
理事・スタッフ間での合意が取れない	6.7%	4.5%	2.9%	3.4%	4.0%	5.3%	3.7%	2.6%	2.7%	10.5%	0.0%
その他	14.8%	15.9%	4.9%	4.1%	6.9%	0.0%	8.5%	13.2%	5.4%	0.0%	0.0%
無回答	-	12.1%	-	9.7%	14.9%	15.8%	14.6%	15.8%	10.8%	15.8%	33.3%
総数	149	132	102	145	101	19	82	38	37	19	6

問 13. 助成金の応募内容の相談やアドバイスの必要性

全 178 団体に対して助成金に関するアドバイスの必要性について択一式で質問したところ、必要性が「ある」と回答したのが 51 団体 28.7%、「ない」と回答したのが 98 団体 55.1%でした。

図表 56 助成金・補助金・協働事業等の申請でのアドバイスの必要性



助成金等申請でのアドバイスの必要性	件数	割合
ある	51	28.7%
ない	98	55.1%
無回答	29	16.3%
合計	178	

経年変化をみると、必要性が「ある」は減少傾向、「ない」が増加傾向にあります。ただ、「無回答」の割合が増加しており、実質的な「ない」の増加傾向はもっと多いと予想されます。

法人格の有無別にみると、「法人格有り」の団体の方がアドバイスの必要性が「ある」と考えているという結果になりました。

スタッフ人数規模別にみると、スタッフ人数規模が小さい団体ほどアドバイスの必要性が「ある」と考えていることが分かりました。

図表 57 「助成金・補助金・協働事業等の申請でのアドバイスの必要性」の経年変化とクロス集計

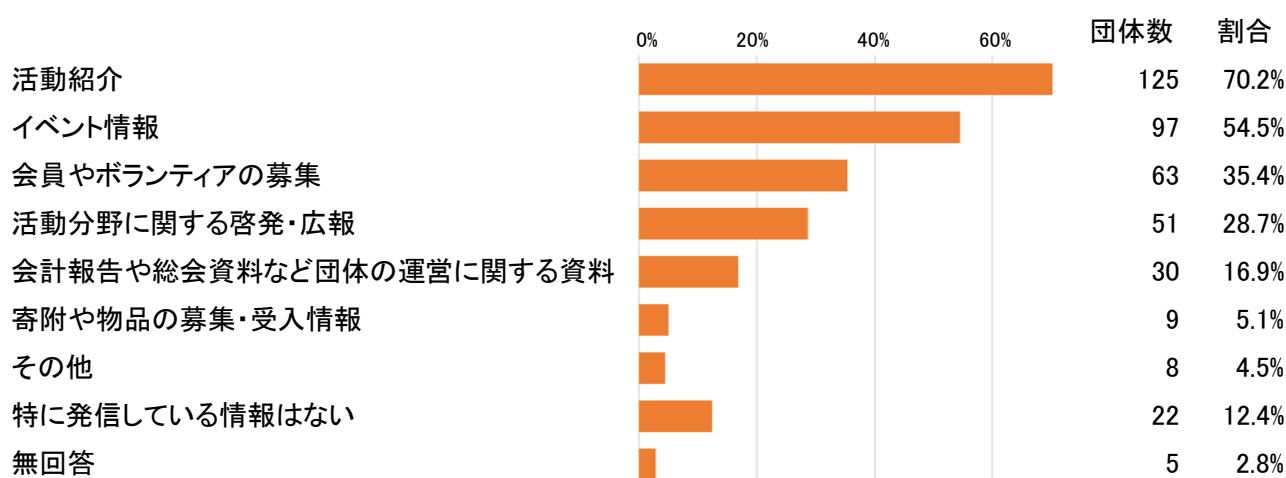
	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
ある	41.7%	34.3%	28.9%	35.7%	28.7%	38.3%	23.7%	35.8%	31.3%	19.1%	25.0%
ない	47.7%	53.7%	60.6%	52.9%	55.1%	48.3%	58.5%	47.2%	54.7%	59.6%	66.7%
無回答	10.5%	12.0%	10.6%	11.4%	16.3%	13.3%	17.8%	17.0%	14.1%	21.3%	8.3%
総数	266	216	218	280	178	60	118	53	64	47	12

4—7. 情報の発受信

4—7—1. 問 14-1. 団体に関する情報発信の内容

外部発信をしている情報の内容について複数選択式で回答いただいたところ、「活動紹介」が 125 団体 70.2%、「イベント情報」が 97 団体 54.4%でした。「特に発信している情報はない」という団体は 22 団体 12.4%でした。

図表 58 外部発信している情報の内容



◆「その他」の回答(原文ママ)

- 障がい福祉に関する情報
- 写真展において、チラシ配布
- パンフレットの作成
- チラシを作成し、近隣の小学校に配付
- コロナで広報していない。
- 現在は発信していない
- イベント情報等を知り、蓄積情報物を提供等申出している。
- 実践していればわかること

経年変化をみると、概ね変化はなさそうですが、「会計報告や総会資料など団体の運営に関する資料」は年々減少傾向にありました。

法人格の有無別にみると、どの選択肢についても「法人格あり」の方が「法人格なし」より多い結果になりました。

スタッフ人数規模別にみると、どの選択肢についてもスタッフ人数が多くなるにつれて多くなる結果となりました。

図表 59 「外部発信している情報の内容」の経年変化とクロス集計

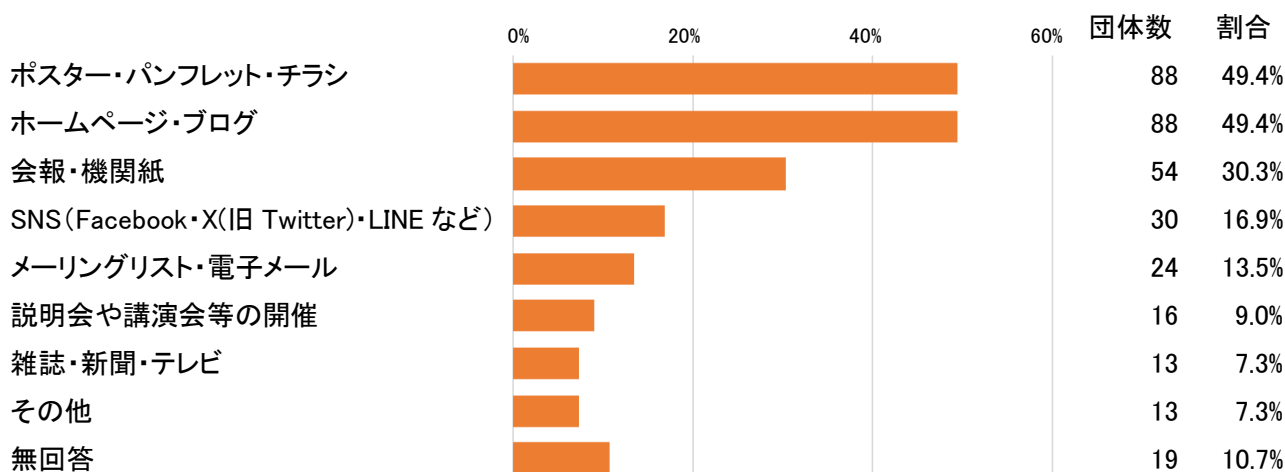
	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
活動紹介	73.3	64.4	67.8	66.4%	70.2%	85.0%	62.7%	52.8%	70.3%	85.1%	83.3%
イベント情報	59.8	54.2	60.1	55.4%	54.5%	70.0%	46.6%	35.8%	57.8%	68.1%	66.7%
会員やボランティアの募集	33.8	32.4	30.3	34.6%	35.4%	41.7%	32.2%	26.4%	31.3%	42.6%	66.7%
活動分野に関する啓発・広報	選択肢 無し	選択肢 無し	選択肢 無し	31.8%	28.7%	36.7%	24.6%	18.9%	32.8%	25.5%	66.7%
会計報告や総会資料など団体の運営に関する資料	28.2	22.2	28.4	18.6%	16.9%	38.3%	5.9%	7.5%	17.2%	23.4%	33.3%
寄附や物品の募集・受入情報	選択肢 無し	選択肢 無し	選択肢 無し	7.5%	5.1%	11.7%	1.7%	1.9%	4.7%	4.3%	16.7%
その他	6.8	9.3	7.3	4.3%	4.5%	1.7%	5.9%	7.5%	4.7%	0.0%	8.3%
特に発信している情報はない	10.2	15.3	12.8	13.9%	12.4%	3.3%	16.9%	24.5%	10.9%	4.3%	0.0%
無回答	0.0	2.8	2.8	1.8%	2.8%	0.0%	4.2%	5.7%	0.0%	4.3%	0.0%
総数	266	216	218	280	178	60	118	53	64	47	12

4-7-2.

問 14-2. 団体に関する情報発信の手段

外部への情報発信の方法について複数選択式で回答いただいたところ、「ポスター・パンフレット・チラシ」と「ホームページ・ブログ」が同率で 88 団体 49.4%でした。次いで「会報・機関紙」が 54 団体 30.3%、「SNS (Facebook・X(旧 Twitter)・LINE など)」が 30 団体 16.9%、「メーリングリスト・電子メール」が 24 団体 13.5%でした。

図表 60 外部発信の手段



◆「その他」の回答 (原文ママ)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● コミセン祭りなどで人が集まる時に広報 ● 藤沢市のホームページ ● クラウドファンディング (キャンプファイア) ・新聞記事 ● 英文の広報・活動報告。 ● 体験会 ● 年 1 回写真展の開催 ● プレスリリース | <ul style="list-style-type: none"> ● VOLUNTEERS (ボランティアーズ) 募集情報として ● じもていー ● メディア ● 手渡しの申し合わせを基本。不要と拒否されることもある。近頃増加傾向の実感共有中。 ● (一社) 日本スポーツウエルネス吹矢協会からの情報による |
|--|--|

経年変化をみると、最も選択されている「ポスター・パンフレット・チラシ」、「ホームページ・ブログ」の 2 つが 50%前後で横ばいに推移しています。「会報・機関紙」や「説明会や講演会等の開催」は減少傾向なのに対して明確に増加傾向の選択肢はありませんでした。

法人格の有無別にみると、どの選択肢も「法人格有り」の方が「法人格なし」よりも同じ・または多い傾向となりました。

スタッフ人数規模別にみると、「SNS (Facebook・X(旧 Twitter)・LINE など)」はスタッフ人数規模の違いで大きな差はありませんでしたが、その他の選択肢では概ねスタッフ人数規模が大きくなるにつれて活用している傾向が見られました。

図表 61 「外部発信の手段」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
ポスター・パンフレット・チラシ	55.6% ※1	52.8%	48.6%	46.4%	49.4%	55.0%	46.6%	37.7%	54.7%	51.1%	75.0%
ホームページ・ブログ	44.0%	38.4%	43.6%	52.5%	49.4%	66.7%	40.7%	35.8%	42.2%	63.8%	91.7%
会報・機関紙	43.6%	37.0%	33.9%	27.5%	30.3%	35.0%	28.0%	5.7%	35.9%	42.6%	66.7%
SNS (Facebook・X(旧 Twitter)・LINE など)	選択肢 無し	14.8%	22.5%	23.6%	16.9%	20.0%	15.3%	15.1%	20.3%	14.9%	16.7%
メーリングリスト・電子メール※2	16.9%	1.9%	4.1%	16.8%	13.5%	13.3%	13.6%	15.1%	10.9%	10.6%	33.3%
説明会や講演会等の開催	選択肢 無し	20.4%	17.9%	14.3%	9.0%	11.7%	7.6%	3.8%	9.4%	8.5%	33.3%
雑誌・新聞・テレビ	11.3%	7.9%	6.0%	7.1%	7.3%	15.0%	3.4%	3.8%	7.8%	8.5%	16.7%
その他	7.9%	10.2%	6.0%	5.7%	7.3%	5.0%	8.5%	9.4%	4.7%	8.5%	0.0%
無回答	-	12.0%	12.4%	6.1%	10.7%	5.0%	13.6%	24.5%	6.3%	4.3%	0.0%
総数	266	216	218	280	178	60	118	53	64	47	12

※1 2010年度は「ポスター・パンフレット・チラシ」という選択肢はなく、「ポスター」と「パンフレット・チラシ」の 2 つに分かれておりました。表に表記されている「55.6%」とは「パンフレット・チラシ」を選択された割合です。なお、「ポスター」は 18.0%になります。

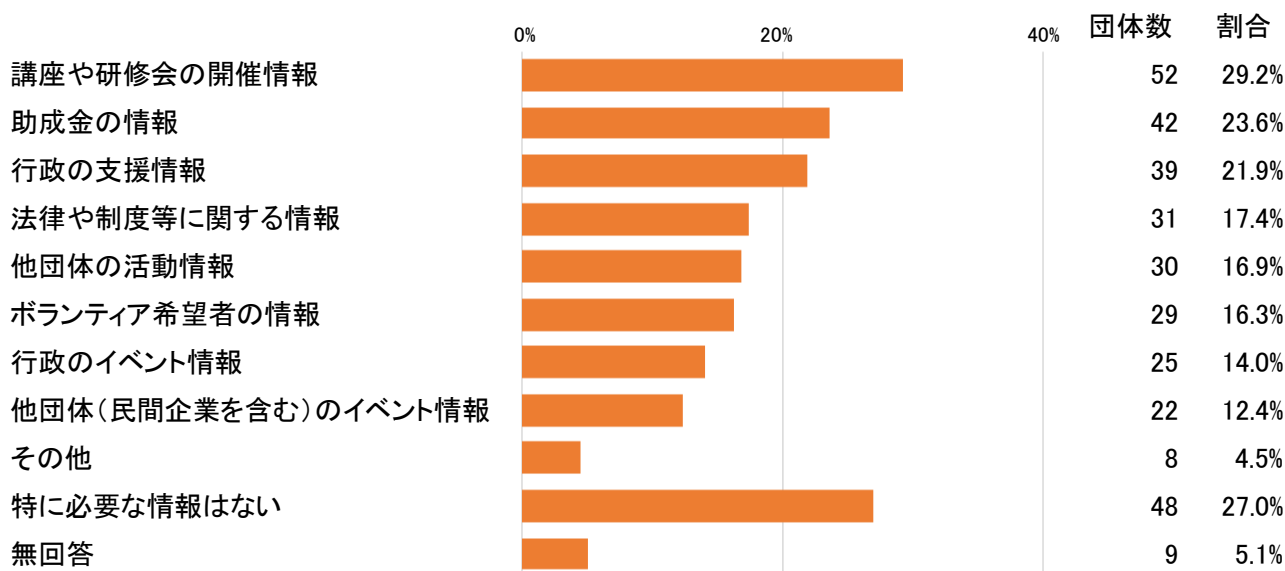
※2 電子メールによる情報発信方法の選択肢について、2010年度は「メーリングリスト」、2017年度、2019年度は「メールマガジン」、2021年度は「メーリングリスト」と「メールマガジン」と変化しています。

4—7—3.

問 15. 活動に必要とする情報

活動に必要な情報について複数選択式で回答いただいたところ、「講座や研修会の開催情報」が 52 団体 29.2%と最も多く、次いで「助成金の情報」が 42 団体 23.6%、「行政の支援情報」が 39 団体 21.9%でした。一方で、「特に必要な情報はない」と 48 団体 27.0%から回答がありました。

図表 62 団体活動で必要としている情報の種類



◆「その他」の回答(原文ママ)

- 合唱会の動向！！
- 他の優秀な活動団体との交流
- 行政の担当部、市・県・国(文科省、厚労省、内閣府など)
- 入会希望者の情報
- 傾聴ボランティアを希望する人々の情報
- 内外情勢について
- 情報を得ての活動であり、多いほど活性化できる。
- (一社)日本スポーツウエルネス吹矢協会からの大会、教育の紹介があり、又全国の年間の計会が示される。

経年変化をみると、どの選択肢も減少傾向でした。特に「助成金の情報」、「行政の支援情報」、「他団体の活動情報」、「行政のイベント情報」は2010年度と比較して1/4以上減少していました。また、2019年度に「講座や研修会の開催情報」が1位になってから、1位に変動はありません。

法人格の有無別にみると、「助成金の情報」、「行政の支援情報」、「法律や制度等に関する情報」、「ボランティア希望者の情報」は10ポイント以上「法人格有り」の団体の方が多く、「講座や研修会の開催情報」、「他団体の活動情報」、「行政のイベント情報」、「他団体(民間企業を含む)のイベント情報」は法人格の有無で大きな差は見られません。10ポイント以上「法人格なし」の団体の方が多い選択肢はありませんでした。

スタッフ人数規模別にみると、母集団が少ない「31名以上」以外の団体は、どの選択肢も大きな差は見受けられませんでした。

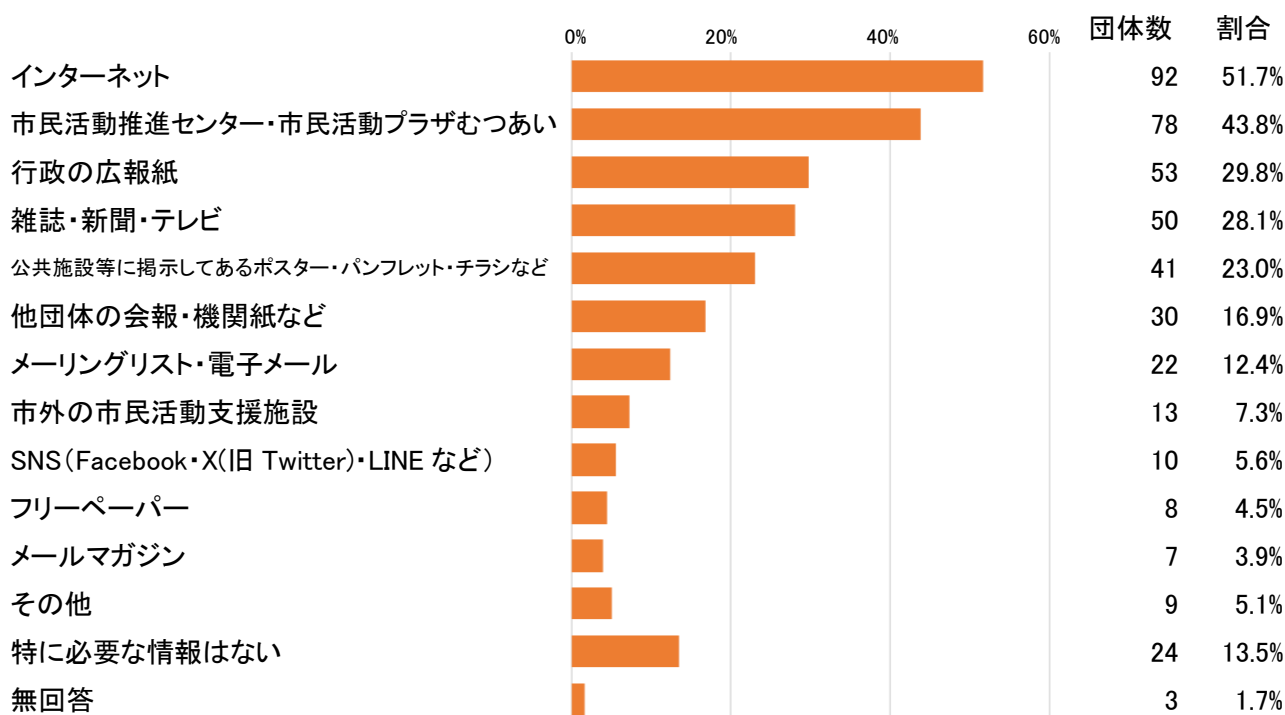
図表 63 「団体活動で必要としている情報の種類」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
講座や研修会の開催情報	36.1%	26.9%	25.7%	31.4%	29.2%	28.3%	29.7%	24.5%	32.8%	25.5%	50.0%
助成金の情報	33.5%	24.1%	25.2%	26.1%	23.6%	45.0%	12.7%	15.1%	26.6%	27.7%	25.0%
行政の支援情報	30.1%	25.9%	24.3%	28.6%	21.9%	33.3%	16.1%	18.9%	21.9%	23.4%	33.3%
法律や制度等に関する情報	選択肢無し	選択肢無し	16.5%	17.5%	17.4%	33.3%	9.3%	13.2%	10.9%	27.7%	25.0%
他団体の活動情報	25.2%	19.9%	17.9%	18.9%	16.9%	20.0%	15.3%	11.3%	12.5%	29.8%	16.7%
ボランティア希望者の情報	19.9%	18.1%	18.3%	20.7%	16.3%	33.3%	7.6%	15.1%	14.1%	17.0%	33.3%
行政のイベント情報	21.1%	14.4%	15.1%	17.1%	14.0%	13.3%	14.4%	13.2%	10.9%	21.3%	8.3%
他団体(民間企業を含む)のイベント情報	14.3%	12.0%	14.2%	15.4%	12.4%	16.7%	10.2%	11.3%	7.8%	17.0%	25.0%
その他	6.8%	4.2%	5.0%	3.9%	4.5%	1.7%	5.9%	7.5%	3.1%	4.3%	0.0%
特に必要な情報はない	16.5%	27.8%	24.8%	2.5%	27.0%	8.3%	36.4%	37.7%	25.0%	19.1%	25.0%
無回答	-	6.9%	6.4%	31.4%	5.1%	1.7%	6.8%	7.5%	3.1%	6.4%	0.0%
総数	166	216	218	280	178	60	118	53	64	47	12

問 16. 活動に必要な情報の入手方法

情報の取得先について複数選択式で回答いただいたところ、「インターネット」が 92 団体 51.7%と最も多く、次いで「市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい」が 78 団体 43.8%、「行政の広報紙」が 53 団体 29.8%、「雑誌・新聞・テレビ」が 50 団体 28.1%でした。

図表 64 団体活動に必要な情報の入手方法



◆「その他」の回答(原文ママ)

- アレルギーポータル(活動に必要なポータルサイト)など
- 藤沢市障がい者支援課
- 藤沢市人権男女共同平和国際課よりの情報
- 行政の担当部、市・県・国(文科省、厚労省、内閣府など)
- 技術提供を受けている医療団体、JICA
- ロコミ
- 農園利用者
- 税理士
- 日赤藤沢市地区

経年変化をみると、「SNS(Facebook・X(旧 Twitter)・LINE など)」が 17.5%から 5.6%へ 1/3 以下に激減している。「インターネット」、「公共施設等に掲示してあるポスター・パンフレット・チラシなど」が微増している一方で、「他団体の会報・機関紙など」が微減しています。

法人格の有無別にみると、どの選択肢も「法人格有り」の方が「法人格なし」よりも同じ・または多い傾向となりました。逆に「特に必要な情報はない」は、「法人格有り」が 3.3%、「法人格なし」が 18.6%と、6 倍弱の差がありました。

スタッフ人数規模別にみると、概ねの選択肢でスタッフ人数規模が大きいほど利用しているという結果になりました。

図表 65 「団体活動に必要な情報の入手方法」の経年変化とクロス集計

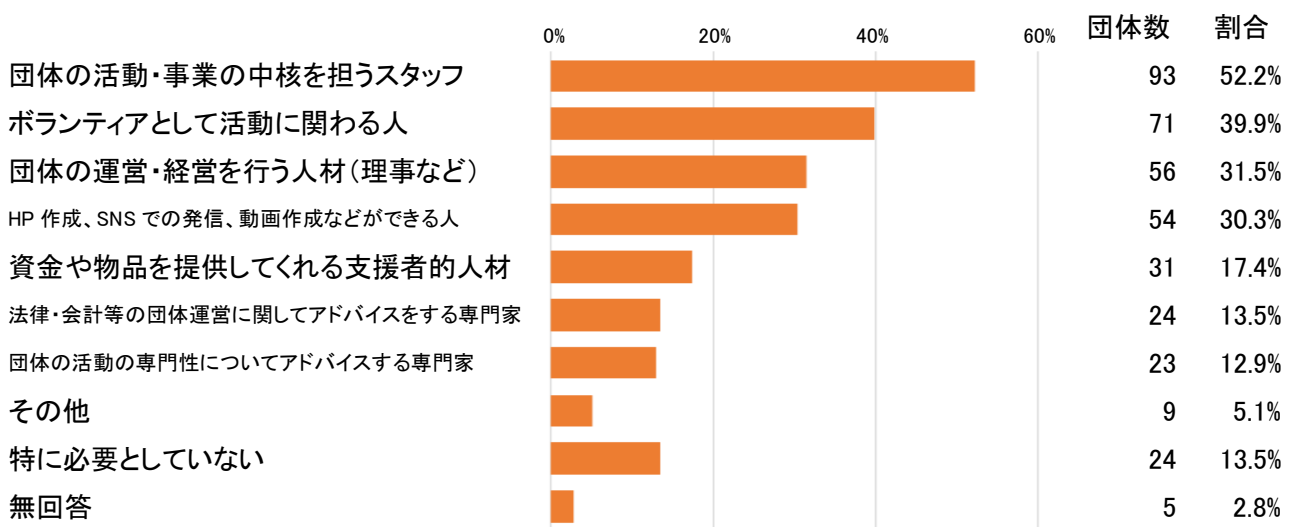
	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
インターネット	42.1%	44.4%	48.6%	54.6%	51.7%	65.0%	44.9%	47.2%	50.0%	51.1%	83.3%
市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい	45.1%	42.1%	34.9%	40.7%	43.8%	51.7%	39.8%	37.7%	48.4%	42.6%	41.7%
行政の広報紙	29.7%	33.8%	27.5%	25.7%	29.8%	38.3%	25.4%	26.4%	28.1%	29.8%	50.0%
雑誌・新聞・テレビ	30.8%	21.8%	23.4%	19.3%	28.1%	36.7%	23.7%	24.5%	34.4%	17.0%	58.3%
公共施設等に掲示してあるポスター・パンフレット・チラシなど	18.8%	19.4%	18.8%	17.5%	23.0%	23.3%	22.9%	24.5%	20.3%	23.4%	33.3%
他団体の会報・機関紙など	21.4%	19.9%	19.7%	18.6%	16.9%	16.7%	16.9%	15.1%	14.1%	23.4%	16.7%
メーリングリスト・電子メール	10.2%	7.4%	8.3%	14.3%	12.4%	13.3%	11.9%	11.3%	12.5%	12.8%	16.7%
市外の市民活動支援施設	10.9%	8.3%	10.1%	8.6%	7.3%	10.0%	5.9%	9.4%	6.3%	6.4%	8.3%
SNS(Facebook・X(旧 Twitter)・LINE など)	選択肢無し	選択肢無し	選択肢無し	17.5%	5.6%	5.0%	5.9%	5.7%	4.7%	4.3%	16.7%
フリーペーパー	3.0%	4.6%	5.0%	2.9%	4.5%	3.3%	5.1%	3.8%	4.7%	4.3%	8.3%
メールマガジン	選択肢無し	選択肢無し	選択肢無し	7.1%	3.9%	8.3%	1.7%	1.9%	6.3%	2.1%	8.3%
その他	14.3%	6.5%	8.3%	7.1%	5.1%	10.0%	2.5%	3.8%	4.7%	8.5%	0.0%
特に必要な情報はない	11.3%	12.0%	13.3%	15.7%	13.5%	3.3%	18.6%	15.1%	15.6%	10.6%	8.3%
無回答	-	7.4%	5.5%	8.2%	1.7%	1.7%	1.7%	1.9%	1.6%	2.1%	0.0%
総数	266	216	218	280	178	60	118	53	64	47	12

4—8. 団体運営

4—8—1. 問 17. 必要としている人材

必要とする人材について複数選択式で回答いただいたところ、「団体の活動・事業の中核を担うスタッフ」が 93 団体 52.2%と最も多く、次いで「ボランティアとして活動に関わる人」が 71 団体 39.9%、「団体の運営・経営を行う人材(理事など)」が 56 団体 31.5%、「HP 作成、SNS での発信、動画作成などができる人」が 54 団体 30.3% でした。

図表 66 団体で必要としている人材



◆「その他」の回答(原文ママ)

- 若い人
- 次世代の後継者
- 語学力の有る海外滞在に問題ない方、医療に詳しい方
- 英語で会話、文章作成のできる力
- パソコンの文字入力(パンフレット作成のため)
- 俳句に関心のある人
- 本を読み積極的に発言する人
- 共通の趣味をもち継続的に活動できる会員
- 視覚障害当事者

経年変化をみると、2017年以降で各選択肢の順位に大きな変化はありませんが、各選択肢とも該当する団体の割合が増えており、特に上位3つの「団体の活動・事業の中核を担うスタッフ」、「ボランティアとして活動に関わる人」、「団体の運営・経営を行う人材(理事など)」は、2017年から2023年の間に10ポイント前後上昇しています。

法人格の有無別にみると、どの選択肢においても「法人格有り」の団体の方が必要としている結果になりました。

スタッフ人数規模別にみると、概ねどの選択肢でもスタッフ人数規模が大きいほど人材を必要としているという結果になりました。

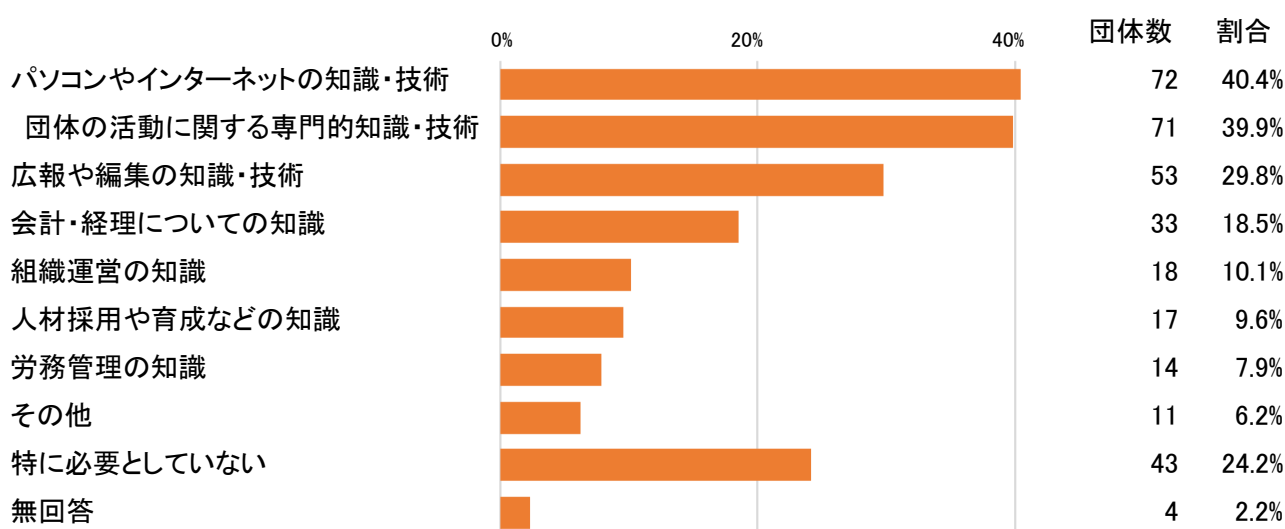
図表 67 「団体で必要としている人材」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
団体の活動・事業の中核を担うスタッフ	44.4%	41.7%	46.3%	50.4%	52.2%	65.0%	45.8%	37.7%	51.6%	61.7%	83.3%
ボランティアとして活動に関わる人	45.5%	31.9%	36.2%	37.1%	39.9%	46.7%	36.4%	30.2%	37.5%	46.8%	58.3%
団体の運営・経営を行う人材(理事など)	23.3%	19.4%	22.9%	24.6%	31.5%	38.3%	28.0%	17.0%	32.8%	42.6%	33.3%
HP作成、SNSでの発信、動画作成などができる人	選択肢無し	選択肢無し	選択肢無し	25.7%	30.3%	38.3%	26.3%	18.9%	31.3%	36.2%	50.0%
資金や物品を提供してくれる支援者的人材	24.8%	14.4%	20.6%	16.4%	17.4%	33.3%	9.3%	17.0%	14.1%	19.1%	33.3%
法律・会計等の団体運営に関してアドバイスをする専門家	8.6%	5.1%	9.2%	10.0%	13.5%	28.3%	5.9%	11.3%	14.1%	14.9%	16.7%
団体の活動の専門性についてアドバイスする専門家	15.4%	7.9%	8.7%	15.7%	12.9%	23.3%	7.6%	7.5%	12.5%	14.9%	33.3%
その他	9.0%	5.6%	4.1%	4.6%	5.1%	3.3%	5.9%	9.4%	6.3%	0.0%	0.0%
特に必要としていない	17.7%	27.8%	21.1%	21.4%	13.5%	5.0%	17.8%	20.8%	14.1%	8.5%	0.0%
無回答	-	6.0%	4.6%	2.9%	2.8%	1.7%	3.4%	3.8%	3.1%	2.1%	0.0%
総数	266	216	218	280	178	60	118	53	64	47	12

問 18. 活動や運営上必要とする専門的知識・技術

活動に必要な知識について複数選択式で回答いただいたところ、「パソコンやインターネットの知識・技術」が 72 団体 40.4%と最も多く、次いで「団体の活動に関する専門的知識・技術」が 71 団体 39.9%、「広報や編集の知識・技術」が 53 団体 29.8%、「会計・経理についての知識」が 33 団体 18.5%でした。

図表 68 団体の活動や運営上で必要な専門的知識や技術の種類



◆「その他」の回答(原文ママ)

- | | |
|--------------------------------|------------------------------------|
| ● SNS の運用技術 アルゴリズム | ● 音楽、点字(楽譜の)訳。個人のパソコン、教材、資料(自費出資)。 |
| ● 児童・生徒の教育に関する知識 | ● 講師の選定 |
| ● 会員になるためには傾聴ボランティア養成講座の修了が必要。 | ● 税務、法務の専門家メンバーが会員にまだいない事 |
| ● 野菜づくり | ● 著作物の権利と侵害。 |
| ● 医療分野、特に母子保健と感染症 | ● やる気 |
| ● 英語力 | |

経年変化をみると、上位 5 位の間で選択肢の順位に変動はありません。また、どの選択肢も概ね横ばいの傾向でした。

法人格の有無別にみると、どの選択肢においても「法人格有り」の団体の方が必要としている知識・技術である結果となりました。

スタッフ人数規模別にみると、概ねどの選択肢でもスタッフ人数規模が大きいほどたくさんの知識・技術を必要としているという結果になりました。

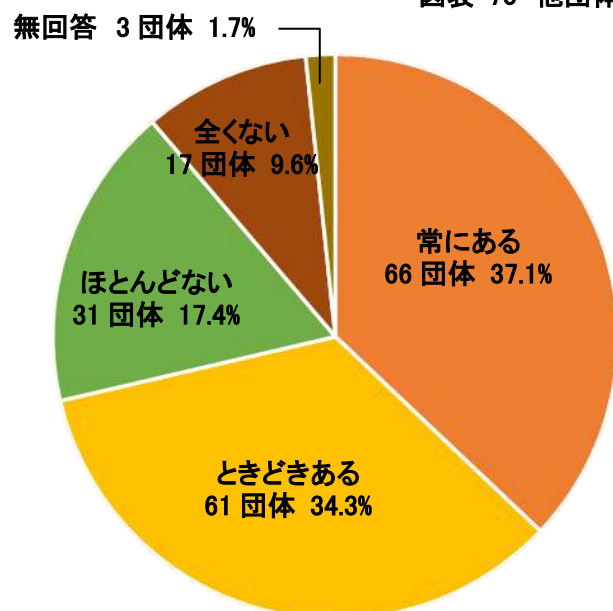
図表 69 「団体の活動や運営上で必要な専門的知識や技術の種類」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
パソコンやインターネットの知識・技術	47.0%	41.2%	35.3%	42.9%	40.4%	46.7%	37.3%	30.2%	40.6%	46.8%	58.3%
団体の活動に関する専門的知識・技術	44.4%	30.1%	33.9%	39.3%	39.9%	53.3%	33.1%	22.6%	50.0%	42.6%	50.0%
広報や編集の知識・技術	31.6%	28.7%	27.1%	25.7%	29.8%	38.3%	25.4%	24.5%	23.4%	36.2%	58.3%
会計・経理についての知識	16.5%	10.6%	20.6%	17.1%	18.5%	35.0%	10.2%	11.3%	18.8%	23.4%	25.0%
組織運営の知識	10.9%	4.6%	6.0%	14.3%	10.1%	15.0%	7.6%	9.4%	6.3%	12.8%	25.0%
人材採用や育成などの知識	選択肢 無し	選択肢 無し	選択肢 無し	8.9%	9.6%	18.3%	5.1%	7.5%	4.7%	12.8%	33.3%
労務管理の知識	4.1%	0.6%	3.7%	7.5%	7.9%	18.3%	2.5%	7.5%	4.7%	10.6%	16.7%
その他	6.8%	9.3%	2.3%	6.1%	6.2%	5.0%	6.8%	7.5%	7.8%	4.3%	0.0%
特に必要としていない	24.8%	25.5%	30.3%	27.9%	24.2%	10.0%	31.4%	34.0%	20.3%	21.3%	16.7%
無回答	0.0%	7.4%	4.1%	3.2%	2.2%	0.0%	3.4%	5.7%	0.0%	2.1%	0.0%
総数	266	216	218	280	178	60	118	53	64	47	12

問 19. 連携の必要性

連携の必要性について択一式で質問したところ、「常にある」が 66 件 37.1%、「ときどきある」が 34.3%と、連携の必要性があると考えている団体が 70%以上を占めました。

図表 70 他団体との連携の必要性



連携の必要性	件数	割合
常にある	66	37.1%
ときどきある	61	34.3%
ほとんどない	31	17.4%
全くない	17	9.6%
無回答	3	1.7%
合計	178	

経年変化をみると、どの選択肢も概ね横ばいの傾向で大きな変動はありません。2017 年の NPO 法人のみの数値と今回(2023 年)の「法人格有り」を比較すると、ほぼ同じ数値となっております。法人格の有無を問わないデータとして 2021 年と 2023 年とで比較ができますが、こちらもどの選択肢でもほぼ横ばいとなっております。

法人格の有無別にみると、連携に肯定的(「常にある」と「ときどきある」の合算)なのは「法人格有り」が 86.7%、「法人格なし」が 63.5%と、「法人格有り」が 13 ポイント上回りました。

スタッフ人数規模別にみると、連携に肯定的なのは「5名以下」が52.8%、「6～10名」が71.9%、「10～30名」が87.2%、「30名以上」が83.3%と、概ねスタッフ人数規模が大きいほど連携を必要としているという結果になりました。

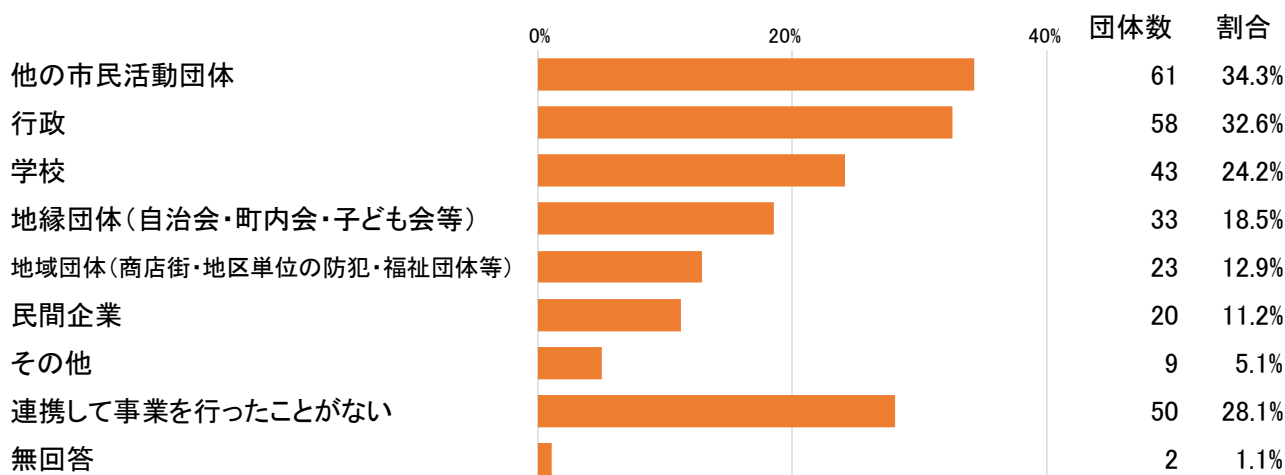
図表 71 「他団体との連携の必要性」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (NPO 法人 のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名 以下	6～10 名	11～30 名	31名 以上
常にある		60.0%		37.5%	37.1%	56.7%	27.1%	30.2%	31.3%	48.9%	50.0%
ときどきある	未調査	27.3%	未調査	35.7%	34.3%	30.0%	36.4%	22.6%	40.6%	38.3%	33.3%
ほとんどない		5.5%		17.1%	17.4%	10.0%	21.2%	28.3%	18.8%	6.4%	8.3%
全くない		1.8%		7.5%	9.6%	3.3%	12.7%	17.0%	7.8%	4.3%	8.3%
無回答		5.5%		2.1%	1.7%	0.0%	2.5%	1.9%	1.6%	2.1%	0.0%
総数		55		280	178	60	118	53	64	47	12

問 20. 連携先

連携事業の経験について複数選択式で回答いただいたところ、「連携して事業を行ったことがない」が 50 団体 28.1%、「無回答」が 2 団体 1.1%となり、残りの 7 割の団体が連携した経験があることが分かりました。連携先団体の種類で最も多かったのは「他の市民活動団体」で 61 団体 34.3%、次いで「行政」が 58 団体 32.6%、「学校」が 43 団体 24.2%、「地縁団体(自治会・町内会・子ども会等)」が 33 団体 18.5%でした。

図表 72 連携先の団体の種類



◆「その他」の回答(原文ママ)

- | | |
|-------------------|-------------------------------------|
| ● 静岡県袋井市、森町、秦野市農協 | ● コロナ以前は中学校の文化祭に参加のほか総合学習で点字指導を行った。 |
| ● 商工会議所 | ● 児童クラブ/幼稚園/保育園 |
| ● 福祉施設(現在は行ってない) | ● 社会福祉協議会 |
| ● 医学関係の大学・研究機構等 | |

経年変化について。2017 年の NPO 法人のみの数値と今回(2023 年)の「法人格有り」を比較すると、増加傾向なのが「行政」、「地縁団体(自治会・町内会・子ども会等)」、減少傾向なのが「他の市民活動団体」、「民間企業」、横ばいなのが「学校」、「地域団体(商店街・地区単位の防犯・福祉団体等)」でした。特に「行政」が 10 ポイント以上上昇していました。法人格の有無を問わないデータとして 2021 年と 2023 年とで比較ができますが、こちらはどの選択肢でもほぼ横ばいとなっています。

法人格の有無別にみると、どの選択肢も「法人格有り」が「法人格なし」より多く、「他の市民活動団体」以外は 10 ポイント以上多い結果になりました。

スタッフ人数規模別にみると、どの選択肢もスタッフ人数の増加とともに連携相手が増加している結果になりました。

図表 73 「連携先の団体の種類」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (NPO 法人 のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名 以下	6~10 名	11~30 名	31名 以上
他の市民活動団体		44.8%		34.3%	34.3%	38.3%	32.2%	30.2%	35.9%	36.2%	41.7%
行政		34.5%		33.9%	32.6%	46.7%	25.4%	20.8%	25.0%	48.9%	66.7%
学校		36.2%		22.9%	24.2%	35.0%	18.6%	17.0%	21.9%	27.7%	50.0%
地縁団体(自治会・町内会・子ども会等)	未調査	24.1%	未調査	17.1%	18.5%	33.3%	11.0%	15.1%	15.6%	23.4%	33.3%
地域団体(商店街・地区単位の防犯・福祉団体等)		22.4%		15.0%	12.9%	21.7%	8.5%	11.3%	12.5%	10.6%	33.3%
民間企業		29.3%		11.4%	11.2%	21.7%	5.9%	9.4%	4.7%	17.0%	33.3%
その他		3.4%		4.3%	5.1%	5.0%	5.1%	7.5%	3.1%	6.4%	0.0%
連携して事業を行ったことがない		17.2%		27.5%	28.1%	13.3%	35.6%	41.5%	34.4%	8.5%	8.3%
無回答		3.4%		3.6%	1.1%	1.7%	0.8%	0.0%	1.6%	2.1%	0.0%
総数		58		280	178	60	118	53	64	47	12

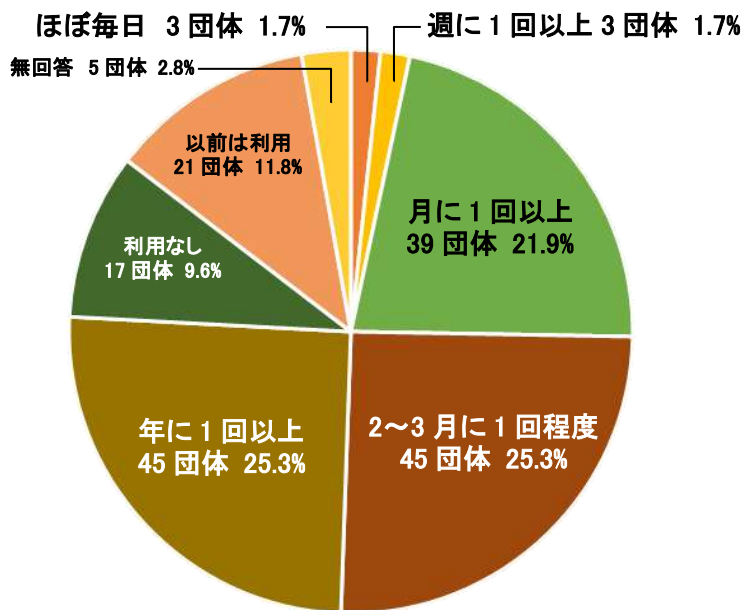
4—9. 支援施設の利用状況

4—9—1. 問 21-1. 利用頻度

市民活動支援施設の利用頻度について択一式で質問したところ、最も度数が大きかったのは「2～3 ヶ月に 1 回程度」と「年に 1 回以上」で 25.3%、次いで「月に 1 回以上」の 39 団体 21.9%でした。

一方で、「登録はしてあるが利用したことはない」、「以前は利用していたが現在は利用していない」の現在支援施設を利用していない団体は 38 団体 21.3%でした。

図表 74 市民活動支援施設の利用頻度



助成金等申請での アドバイスの必要性	件数	割合
ほぼ毎日	3	1.7%
週に1回以上	3	1.7%
月に1回以上	39	21.9%
2～3ヶ月に1回程度	45	25.3%
年に1回以上	45	25.3%
登録はしてあるが 利用したことはない	17	9.6%
以前は利用していたが 現在は利用していない	21	11.8%
無回答	5	2.8%
合計	178	

経年変化をみると、利用頻度の多い「ほぼ毎日」、「週に1回以上」、「月に1回以上」の3つの合計は、2010年が47.4%だったのに対して2023年は25.3%まで減少しています。

法人格の有無別にみると、利用されている選択肢の中では概ね法人格の有無で差はありません。一方で、現在利用していない選択肢2つでは、違いが見られました。「登録はしてあるが利用したことはない」は「法人格有り」が多く、自前の事務所を所有している団体が該当するものと考えられます。「以前は利用していたが現在は利用していない」は「法人格なし」の団体の方が多い結果となりました。

スタッフ人数規模別では、大きな違いはあるとは言えない結果となりました。

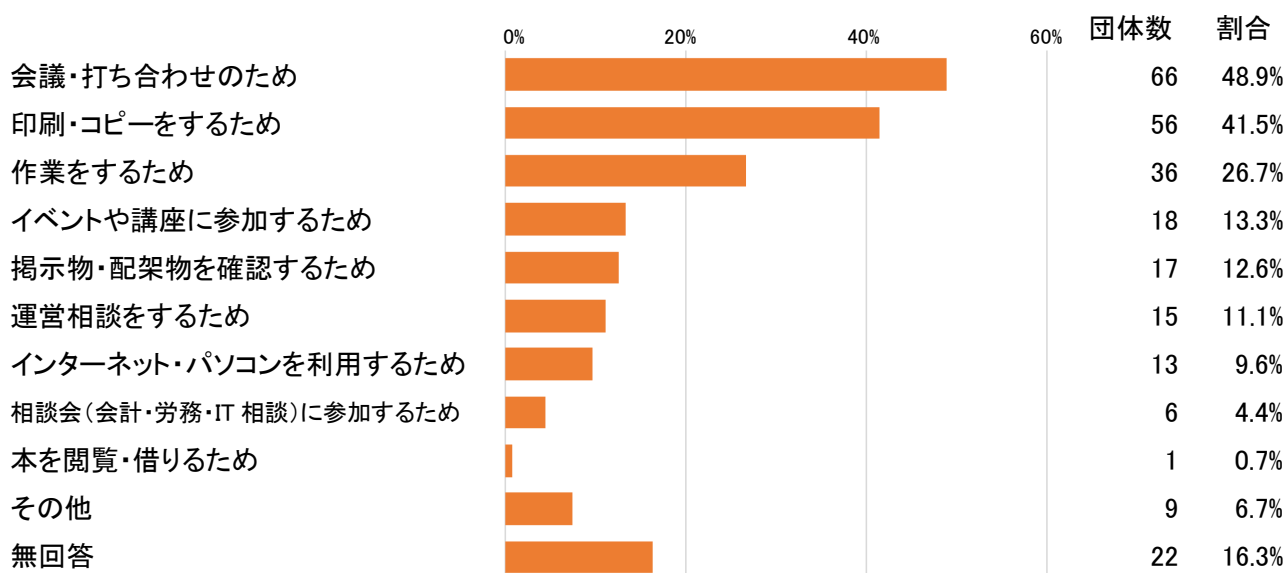
図表 75 「市民活動支援施設の利用頻度」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
ほぼ毎日	0.8%	0.5%	0.0%	0.7%	1.7%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
週に1回以上	8.3%	6.1%	3.7%	2.1%	1.7%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	6.4%	0.0%
月に1回以上	38.3%	39.2%	25.7%	22.5%	21.9%	18.3%	23.7%	22.6%	23.4%	19.1%	25.0%
2~3ヶ月に1回程度	30.5%	23.6%	23.8%	20.7%	25.3%	21.7%	27.1%	18.9%	35.9%	21.3%	16.7%
年に1回以上	17.7%	19.8%	28.5%	23.9%	25.3%	26.7%	24.6%	22.6%	21.9%	38.3%	8.3%
登録はしてあるが利用したことはない	1.9%	2.8%	5.1%	12.1%	9.6%	16.7%	5.9%	17.0%	6.3%	4.3%	0.0%
以前は利用していたが現在は利用していない	2.6%	2.8%	4.2%	12.1%	11.8%	8.3%	13.6%	17.0%	10.9%	4.3%	25.0%
無回答	-	5.2%	8.9%	5.7%	2.8%	5.0%	1.7%	1.9%	1.6%	6.4%	0.0%
総数	266	212	212	280	178	60	118	53	64	47	12

問 21-2. 施設の利用目的

市民活動支援施設を利用している 135 団体に施設の利用目的について複数選択式で回答いただいたところ、「会議・打ち合わせのため」が 66 団体 48.9%と最も多く、次いで「印刷・コピーをするため」が 56 団体 41.5%、「作業をするため」が 36 団体 26.7%、でした。

図表 76 支援施設の利用目的



◆「その他」の回答(原文ママ)

- | | |
|---------------|----------------------|
| ● 俳句の勉強会 | ● 日本語指導の為の学習場所 |
| ● サポーター | ● レターケースの郵便物の確認 |
| ● セミナー・勉強会の開催 | ● パソコンの利用法 |
| ● 報告書等の提出 | ● 公民館や市の施設への広報紙の配架依頼 |

経年変化をみると、2010年から10ポイント以上減少傾向なのが「会議・打ち合わせのため」、「印刷・コピーをするため」、その他の選択肢は横ばいでした。増加している選択肢はありません。

法人格の有無別にみると、10ポイント以上「法人格有り」が多い選択肢はなく、10ポイント以上「法人格なし」が多い選択肢は「印刷・コピーをするため」、「作業をするため」、「インターネット・パソコンを利用するため」、両者で大きな差がないのは「会議・打ち合わせのため」、「イベントや講座に参加するため」、「運営相談をするため」でした。

スタッフ人数規模別では、大きな違いがあるとは言えない結果となりました。

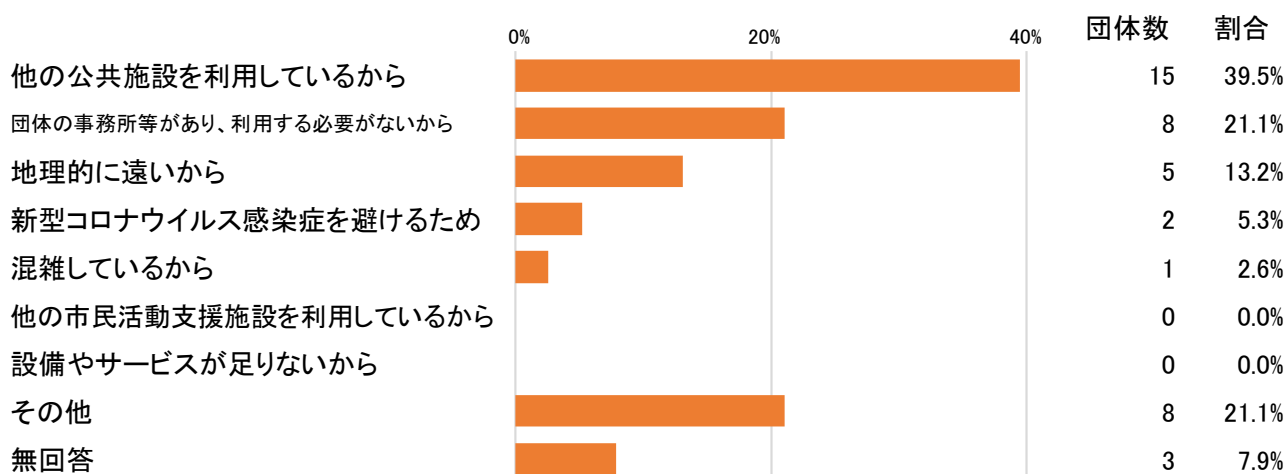
図表 77 「支援施設の利用目的」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
会議・打ち合わせのため	63.8%	68.9%	58.9%	36.4%	48.9%	50.0%	48.4%	38.2%	51.9%	52.5%	55.6%
印刷・コピーをするため	64.2%	60.0%	51.6%	36.4%	41.5%	31.0%	46.2%	41.2%	46.2%	35.0%	44.4%
作業をするため	28.7%	30.5%	16.7%	19.3%	26.7%	19.0%	30.1%	23.5%	30.8%	20.0%	44.4%
イベントや講座に参加するため	16.1%	6.8%	12.0%	8.2%	13.3%	14.3%	12.9%	5.9%	19.2%	12.5%	11.1%
掲示物・配架物を確認するため	14.2%	9.5%	15.6%	9.3%	12.6%	4.8%	16.1%	8.8%	11.5%	15.0%	22.2%
運営相談をするため	10.2%	9.5%	8.9%	7.5%	11.1%	14.3%	9.7%	8.8%	13.5%	10.0%	11.1%
インターネット・パソコンを利用するため	9.8%	4.2%	2.6%	4.3%	9.6%	2.4%	12.9%	14.7%	9.6%	5.0%	11.1%
相談会(会計・労務・IT相談)に参加するため	2.8%	0.5%	2.1%	1.4%	0.7%	0.0%	1.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
本を閲覧・借りるため	1.2%	0.5%	2.1%	0.4%	4.4%	14.3%	0.0%	2.9%	7.7%	2.5%	0.0%
その他	7.1%	11.6%	5.2%	3.2%	6.7%	2.4%	8.6%	11.8%	5.8%	0.0%	22.2%
無回答	-	0.5%	5.2%	10.4%	16.3%	21.4%	14.0%	14.7%	15.4%	20.0%	11.1%
総数	254	190	192	196	135	42	93	34	52	40	9

問 21-3. 施設を利用しない・利用しなくなった理由

市民活動支援施設を利用している 38 団体に施設の利用目的について複数選択式で回答いただいたところ、「他の公共施設を利用しているから」が 15 団体 39.5%と最も多く、次いで「団体の事務所等があり、利用する必要がないから」が 8 団体 21.1%、「地理的に遠いから」が 5 団体 13.2%でした。

図表 78 支援施設を利用しない・利用しなくなった理由



◆「その他」の回答(原文ママ)

- 活動が休止状態にある
- コロナ以後活動休止状態
- ZOOM オンラインで行っているから
- 寿ビルの利用ができなくなったので。
- 活動が海外の為利用する必要ない。
- ほとんど ZOOM で行うようになったから
- 現在休止中のため

経年変化をみると、「他の公共施設を利用しているから」が増加傾向にあり、2021年から1位になりましたが、現在も増加傾向にあります。2021年は「新型コロナウイルス感染症を避けるため」が30.9%ありましたが、今回(2023年)は5.3%まで下がりました。

法人格の有無別にみると、10ポイント以上「法人格有り」が多い選択肢は、「団体の事務所等があり、利用する必要がないから」、「地理的に遠いから」、10ポイント以上「法人格なし」が多い選択肢は「他の公共施設を利用しているから」でした。

スタッフ人数規模別は、母集団の数が少ないので十分な根拠とは言い切れないのですが、概ね大きな違いがあるとは言えない結果となりました。

図表 79 「支援施設を利用しない・利用しなくなった理由」の経年変化とクロス集計

	経年変化					法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
	2010	2017 (登録団体のみ)	2019	2021	2023 (今回)	有	なし	5名以下	6~10名	11~30名	31名以上
他の公共施設を利用しているから	16.7%	2.1%	16.7%	26.5%	39.5%	33.3%	43.5%	38.9%	27.3%	75.0%	33.3%
団体の事務所等があり、利用する必要がないから	16.7%	0.0%	25.0%	16.2%	21.1%	40.0%	8.7%	11.1%	27.3%	25.0%	33.3%
地理的に遠いから	25.0%	41.7%	12.5%	10.3%	13.2%	20.0%	8.7%	16.7%	9.1%	0.0%	33.3%
新型コロナウイルス感染症を避けるため	選択肢無し	選択肢無し	選択肢無し	30.9%	5.3%	0.0%	8.7%	5.6%	9.1%	0.0%	0.0%
混雑しているから	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	2.6%	6.7%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
他の市民活動支援施設を利用しているから	8.3%	0.0%	4.2%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
設備やサービスが足りないから	8.3%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	16.7%	0.5%	12.5%	5.9%	21.1%	13.3%	26.1%	22.2%	27.3%	0.0%	33.3%
無回答	-	6.3%	25.0%	17.6%	7.9%	0.0%	13.0%	11.1%	9.1%	0.0%	0.0%
総数	12	12	24	68	38	15	23	18	11	4	3

5. 市民活動支援施設の機能・施設に関する質問

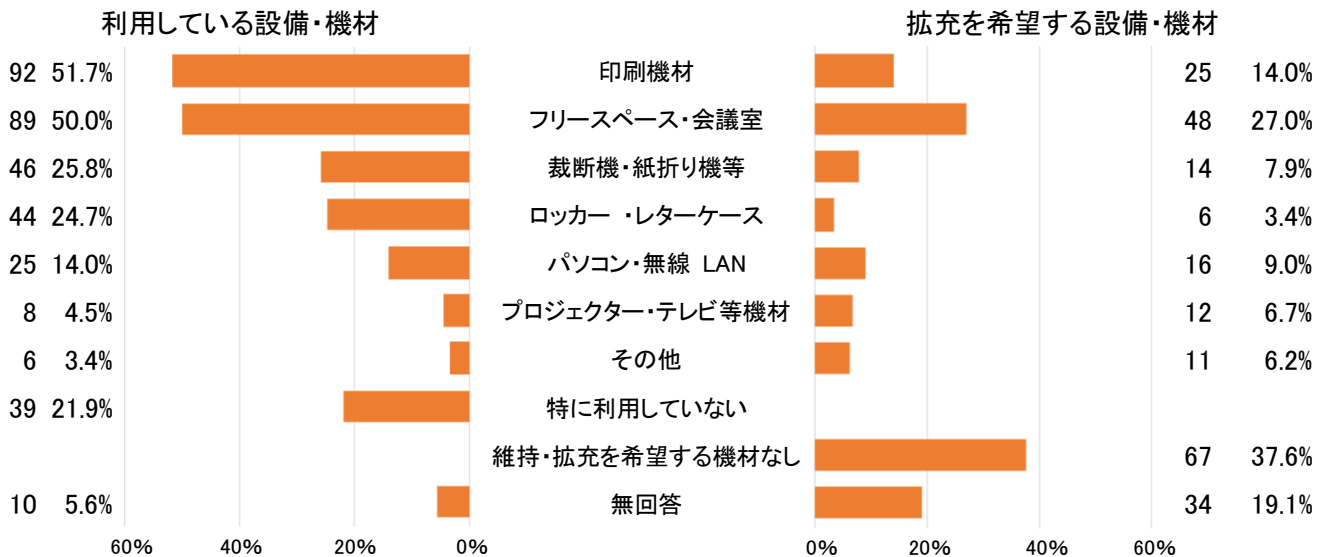
5—1. 問 22.～問 24.主に利用している設備・機材と 拡充を希望する設備・機材

推進センター・プラザむつあいの設備・機材のうち、主に利用しているものと拡充を希望するものについて複数選択式で伺いました。結果として、全体的には団体から満足して施設の設備・機材をご利用いただけていると言えそうです。支援施設で最も利用されているのが「印刷機材」で、2番目が「フリースペース・会議室」でした。一方、拡充を希望する設備・機材は「フリースペース・会議室」が一番多い結果となりました。

「フリースペース・会議室」は、50.0%の団体が利用しているのに対して、27.0%が拡充を希望しており、拡充希望の割合が高いことが分かりました。また、「フリースペース・会議室」については、具体的に「オンライン会議がしやすい会議室」や「語学の勉強がしやすい静かに読み聞きできる部屋」などのご要望をいただいております。

「印刷機材」は利用状況と比較して拡充の希望は少ないですが、「プロッター(ポスター印刷機)」や「3Dプリンター」の導入希望がありました。また、印刷代金についてのご意見もございました。

図表 80 主に利用している設備・機材と、現状から拡充を希望する設備・機材



◆「主に利用している設備・機材」の質問での「その他」の回答(原文ママ)

- センター主催の行事に参加
- ホワイトボード
- 置きチラシのためにたびたび利用します。(イベントや活動パンフ)

◆「拡充を希望する設備・機材」の質問での「その他」の回答(原文ママ)

- 実技指導する場所がほしい。
- ホワイトボードの新調

◆「機材に関する具体的な希望や、その他導入を希望する機材等」についての自由記述回答(原文ママ)

- | | |
|--|--|
| ● フリースペースの数を増やしてほしい | ● 3D プリンター |
| ● 小さい会議室がもうひとつ、あってもよい。 | ● A3 インクジェットプリンタ、野外イベント用スクリーン、プロジェクター・大型ディスプレイ |
| ● 会議の予約を取るのに朝一番に電話しないと取れないことも有ります。会議室がもう一つ増えるといいのですが(推進センター) | ● 沢山の人数でもオンライン会議が快適に出来る Wi-Fi |
| ● 印刷スペースを遮断、隔離出来ないだろうか？日本語指導、学習をするのもう少し静かな環境が欲しい。 | ● 高齢者団体のため複数のマイクがあれば便利です。 |
| ● もし可能でしたら、多色刷のできる印刷機、コピー機などを安い値段で利用できると大変助かります。 | ● 舞台のめぐりや看板の印刷(大きなコピー)ができる機材 |
| ● カラーコピーを少し安く印刷したい。 | ● しょうがい者用アプリをインストールした PC。 |
| ● 切り貼りせず大きなポスターが印刷できれば嬉しい | ● フリースペースの使いやすい机と椅子の常備、大きなロッカーの数を増やす |
| | ● 現状の環境で業務は回せている。 |

法人格の有無で比較すると、「利用している設備・機材」では、「印刷機材」、「裁断機・紙折り機等」、「ロッカー・レターケース」の4選択肢で「法人格なし」の団体の方が10ポイント程度多い結果になりました。その他の選択肢は法人格の有無で大きな違いはありません。「拡充を希望する設備・機材」でも、法人格の有無で大きな違いはありませんでした。

スタッフ人数規模別にみると、「利用している設備・機材」では、「スタッフ5名以下」の団体のみ「フリースペース・会議室」と「ロッカー・レターケース」で割合が10ポイント以上少ない結果となりましたが、他の選択肢ではスタッフ人数の違いで大きな差はありませんでした。一方、「拡充を希望する設備・機材」では、「印刷機材」、「フリースペース・会議室」ではスタッフ人数が多くなるについて充実希望も増える結果となりました他の選択肢ではスタッフ人数の違いで大きな差はありませんでした。

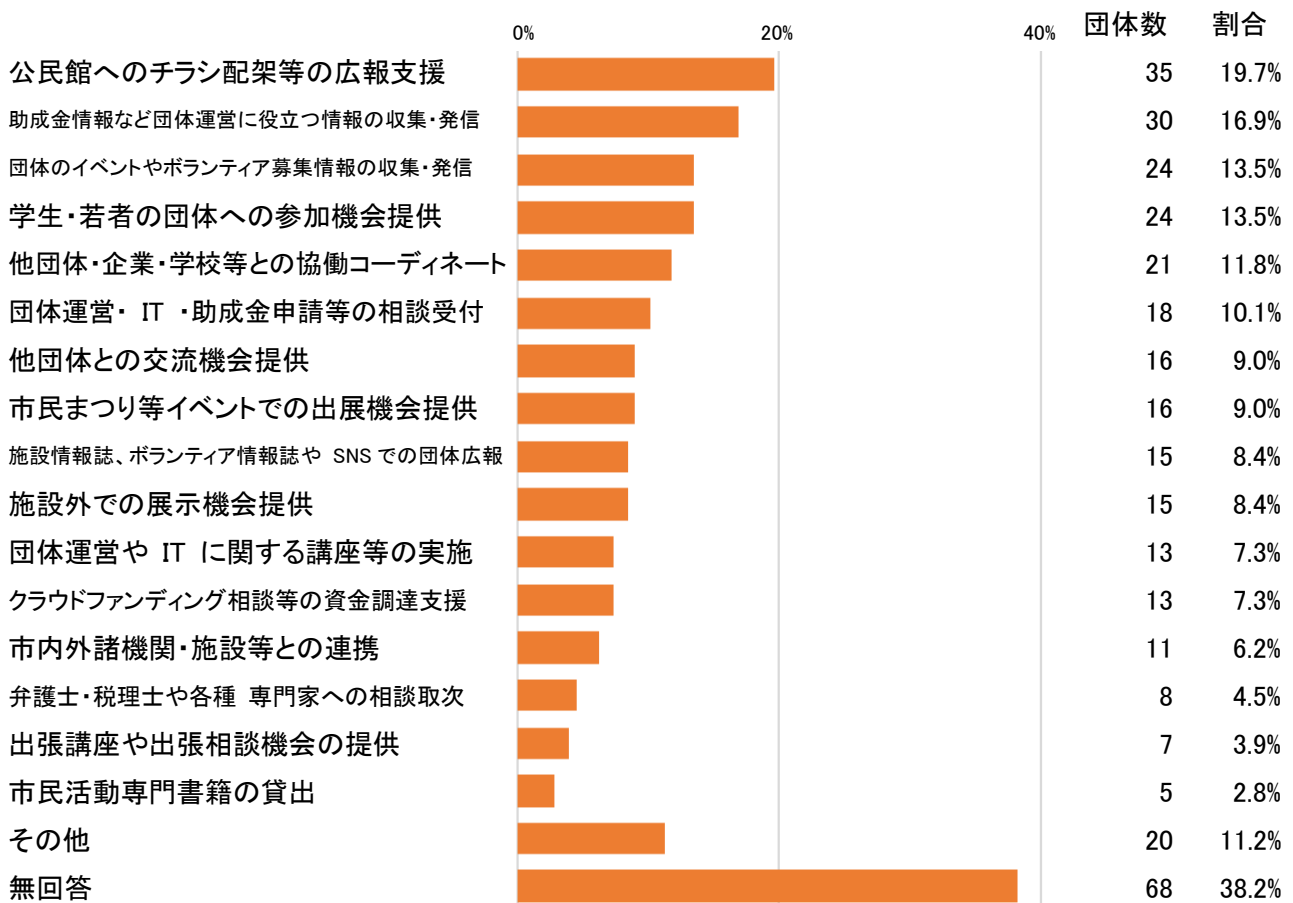
図表 81 「主に利用している設備・機材と、現状から拡充を希望する設備・機材」のクロス集計

	2023 (今回)		法人格(2023)				スタッフ人数規模(2023)							
	利用中	拡充希望	利用中	拡充希望	利用中	拡充希望	5名以下		6~10名		11~30名		31名以上	
							利用中	拡充希望	利用中	拡充希望	利用中	拡充希望	利用中	拡充希望
印刷機材	51.7%	14.0%	40.0%	11.7%	57.6%	15.3%	49.1%	9.4%	53.1%	14.1%	51.1%	17.0%	66.7%	25.0%
フリースペース・会議室	50.0%	27.0%	51.7%	30.0%	49.2%	25.4%	35.8%	20.8%	57.8%	26.6%	57.4%	31.9%	50.0%	41.7%
裁断機・紙折り機等	25.8%	7.9%	16.7%	5.0%	30.5%	9.3%	28.3%	7.5%	28.1%	6.3%	21.3%	10.6%	25.0%	8.3%
ロッカー・レターケース	24.7%	3.4%	18.3%	3.3%	28.0%	3.4%	13.2%	1.9%	28.1%	3.1%	34.0%	4.3%	25.0%	8.3%
パソコン・無線 LAN	14.0%	9.0%	15.0%	8.3%	13.6%	9.3%	11.3%	11.3%	10.9%	9.4%	19.1%	4.3%	25.0%	16.7%
プロジェクター・テレビ等機材	4.5%	6.7%	6.7%	10.0%	3.4%	5.1%	5.7%	1.9%	1.6%	9.4%	4.3%	6.4%	16.7%	16.7%
その他	3.4%	6.2%	6.7%	0.0%	1.7%	2.5%	3.8%	1.9%	1.6%	0.0%	6.4%	4.3%	0.0%	0.0%
特に利用していない	21.9%		23.3%		21.2%		22.6%		21.9%		17.0%		25.0%	
維持・拡充を希望する機材なし		37.6%		36.7%		38.1%		47.2%		35.9%		29.8%		33.3%
無回答	5.6%	19.1%	10.0%	21.7%	3.4%	17.8%	9.4%	18.9%	4.7%	17.2%	4.3%	25.5%	0.0%	8.3%
総数		178		60		118		53		64		47		12

5—2. 問 25.現状から強化を希望する支援内容

推進センター・プラザむつあいでの支援内容のうち、現状から強化を希望する者について複数選択式で伺いました。最も多かったのは「公民館へのチラシ配架等の広報支援」で 35 団体 19.7%でした。ご回答いただいている 110 団体中 35 団体と約 1/3 の団体が強化を希望しています。次いで「助成金情報など団体運営に役立つ情報の収集・発信」が 30 団体 16.9%、「団体のイベントやボランティア募集情報の収集・発信」と「学生・若者の団体への参加機会提供」が 24 団体 13.5%と、情報の収集・発信に関するニーズが高いことが分かりました。

図表 82 現状から強化を希望する支援内容



◆「その他」の回答(原文ママ)

- 可能であれば、火曜日も開館いただけますと幸いです。
- 開館時間の延長
- 会議室の増設。
- X(旧ツイッター)で発信をリツイートしてほしい
- SNS、コンピュータシステムなど IT 関係の使用やセキュリティ対策技術など目まぐるしく変化する社会に全くついていけません。外部の企業は高額で資金もないので、センターで少額で私達と一緒に対応してくれる人がほしい。
- 保険について。
- ボランティア会員を獲得したい団体と、ボランティアしたい市民とのコラボ活動に重点を置いてほしい
- 海外で活動する団体への支援(具体的にはむつかしいが)
- 現状で満足しております。
- 現状では貴センターに追加して支援を希望する項目はありません。現状のレベルで満足しております。
- なし・特になし・特にありません(10 件)

法人格の有無別にみると、「助成金情報など団体運営に役立つ情報の収集・発信」や「学生・若者の団体への参加機会提供」、「他団体・企業・学校等との協働コーディネート」で「法人格有り」の団体からのニーズが高い結果になりました。その他の選択肢では法人格の有無で大きな違いはありません。

スタッフ人数規模別にみると、スタッフ人数が「31名以上」の団体と「30名以下」の団体とで異なる傾向があるといえそうです。「31名以上」の団体は母集団が12団体と少ないこともありますが、「30名以下」の団体と比べてどの選択肢もポイントが多い傾向にあります。ただし、「学生・若者の団体への参加機会提供」や「他団体・企業・学校等との協働コーディネート」では逆に「31名以上」の団体の方がポイントは少なく、「すでに学校や企業などと協力関係を築けている」ものと予想されます。

図表 83 「現状から強化を希望する支援内容」のクロス集計

	2023 (今回)	法人格(2023)		スタッフ人数規模(2023)			
		有	なし	5名 以下	6~10 名	11~30 名	31名 以上
公民館へのチラシ配架等の広報支援	19.7%	21.7%	18.6%	20.8%	18.8%	12.8%	50.0%
助成金情報など団体運営に役立つ情報の収集・発信	16.9%	26.7%	11.9%	13.2%	14.1%	17.0%	41.7%
団体のイベントやボランティア募集情報の収集・発信	13.5%	13.3%	13.6%	13.2%	12.5%	8.5%	33.3%
学生・若者の団体への参加機会提供	13.5%	25.0%	7.6%	9.4%	10.9%	23.4%	8.3%
他団体・企業・学校等との協働コーディネート	11.8%	21.7%	6.8%	15.1%	10.9%	10.6%	8.3%
団体運営・IT・助成金申請等の相談受付	10.1%	15.0%	7.6%	7.5%	12.5%	6.4%	16.7%
他団体との交流機会提供	9.0%	8.3%	9.3%	11.3%	6.3%	10.6%	8.3%
市民まつり等イベントでの出展機会提供	9.0%	11.7%	7.6%	5.7%	10.9%	10.6%	8.3%
施設情報誌、ボランティア情報誌や SNS での団体広報	8.4%	8.3%	8.5%	5.7%	9.4%	6.4%	25.0%
施設外での展示機会提供	8.4%	10.0%	7.6%	3.8%	10.9%	10.6%	8.3%
団体運営や IT に関する講座等の実施	7.3%	8.3%	6.8%	5.7%	6.3%	6.4%	25.0%
クラウドファンディング相談等の資金調達支援	7.3%	16.7%	2.5%	7.5%	6.3%	6.4%	16.7%
市内外諸機関・施設等との連携	6.2%	13.3%	2.5%	5.7%	6.3%	4.3%	16.7%
弁護士・税理士や各種 専門家への相談取次	4.5%	10.0%	1.7%	3.8%	0.0%	8.5%	16.7%
出張講座や出張相談機会の提供	3.9%	5.0%	3.4%	3.8%	1.6%	4.3%	16.7%
市民活動専門書籍の貸出	2.8%	6.7%	0.8%	3.8%	1.6%	2.1%	8.3%
その他	11.2%	8.3%	12.7%	11.3%	12.5%	12.8%	0.0%
無回答	38.2%	30.0%	42.4%	41.5%	39.1%	40.4%	16.7%
総数	178	60	118	53	64	47	12

5—3. 問 26.その他、ご意見・ご提案など

その他のご意見・ご提案などを自由記述方式で尋ねたところ、33 団体からご回答いただきました。

ただちに回答可能な施設や当アンケートへのご意見等につきましては、下記にて回答いたします。

- ・推進センター入り口の外階段に手すりをつけてください。

お足もとにご不安がある場合は、ビル1階入口より入り、エレベーターをご利用ください。外階段等の外装工事に関しては、藤沢市や施設ではなく、ビル所有者の管轄ですので、基本的には現状の内容から変更することは難しくなっております。

- ・推進センターを利用させていただき感謝しております。一つだけ欲を申せば「駐車場」の設置又は近くの有料駐車場利用時の支援をいただければ助かります。(現在毎週 2～3 時間駐車で 1200 円かかってしまいます。各々乗り合わせて来ておりますが資金不足の折大変な出費となっております)

ご不便をおかけして申し訳ありません。駐車場につきましては、少々距離がございますが、藤沢市役所の駐車場が2時間無料となります。駐車券をカウンターにお持ちいただければ、職員が対応いたします。また、地下には障がいをお持ちの方専用の駐車場がございます。お乗り合わせの中に該当の方がいらっしゃるというご事情であればそちらもご利用いただけます。

- ・部屋の利用予約について並ぶ以外の方法を考えて頂ければ有難いです。

ご予約自体に関しては、お電話でも承っております。現状先着順としており、予約開始日のご予約はご来館を優先しております。その他の方法、FAX やメールでご連絡をいただいた際にも、受付はしております。ただし、先着の確認が前後する可能性がございますので、基本的には同日に別途ご来館やお電話があった場合には、そちらを優先することがございますので予めご了承ください。

- ・(その他お礼等)

主に印刷機を利用させていただいておりますが、利用者とのトラブルで対応に困った時にご相談させていただきアドバイスをもらえて大変助かりました。身近に頼れる場としてありがたい存在です。

事務所を持つことができない団体へのレターケースやロッカーの提供のしくみで活動が支えられています。いつもスタッフの皆さんの”市民活動を支えるという志”が素晴らしいと感謝しています。

スタッフの皆さんにいつも親切にいただき、感謝しています。

◆「その他、ご意見・ご提案」の回答(原文ママ)

- 推進センター入り口の外階段に手すりをつけてください。
- 推進センターを利用させていただき感謝しております。一つだけ欲を申せば「駐車場」の設置又は近くの有料駐車場利用時の支援をいただければ助かります。(現在毎週 2~3 時間駐車して 1200 円かかってしまいます。各々乗り合わせて来ておりますが資金不足の折大変な出費となっております)
- 部屋の利用予約について並ぶ以外の方法を考えて頂ければ有難いです。
- 公民館にお願いできていたチラシの地域への回覧ができず残念に思っている。市民活動は公民館業務と別？とは考えたくないが、もう少し柔軟に対応できないか？
- 年齢に関わらず男性が自分で料理する機会を増やす社会を目指していますが、対象者(興味を持つ方)を募る方法に行き詰っています。良い提案がありましたらご教示ください
- 写真サークルの多くは、高齢化による会員数減少に悩んでいる。サークルの共同事業開催や、サークルの合併推進などに関する支援があれば良い。
- コロナ禍で3年前に NPO 法人を解散。その後、過去の参加者の要望を受けて、今年から「社交ダンス講習会」活動を再開しましたが、茅ヶ崎市の財政再建の影響で、市民への広報紙が削減され、新しく社交ダンスを始めたい方々への広報手段がなくなりました。レクリエーション協会の他の団体も同様の悩みを抱えており、現存するメンバーの高齢化に伴って、活動が縮小したり解散する方向にあります。なお、茅ヶ崎市での活動の事ですが、これまで各団体の活動拠点としてきた「茅ヶ崎市総合体育館」が1年半の改修工事のため休館となり、そのことも活動を阻害している原因になっています。(茅ヶ崎市の事で申し訳ありませんが、参加メンバーには藤沢市民の方々も多くおられます)
- ボランティア活動は実践が大事。起業するのと同じ。リーダーにその才覚がなければ烏合の集となってしまいます。みんなでするのは一番間違いない。手を動かさず口だけの輩。自ずから実践し、継続できなければ霧散する。参加者に、能力がなく、口先で実践もせず、お金や何かを求める輩がいれば、活動は早晩終わるだろう。実践と継続が必要であることをリーダーに求められる。参加者は、凡そ20歳以下の児童、生徒、学生は、学ぶために活動する。20歳から60歳の方は奉仕の心で活動を支える。なぜなら時間がないし、余暇を利用して奉仕しているからだ。そして、大切な60歳以上の人たちの参加です。この人たちは、時間も経験もあり、良い計画であれば進んで協力できる年代です。この年代が、真にお金はいらない、奉仕活動に専念し自らを率先して活動できる実践者であってほしい。ほんの少しの人数でも社会のために活動できる人材に協力を求めるのが成功する秘訣。このような人は必ずいる。年齢は問わない、70歳以上でもいるはずだ。ここに掲げる反対の人は不要です。
- 現在の活動に於いては非常に助かっている。
- 宅急便・メール便の発送・受取等いつもありがとうございます。
- いつもありがとうございます。時間に幅があるので、使いやすいです。
- 頼りになるのはセンターのスタッフ。感謝しています。平塚のセンターも移転し利用し難い。駅チカの利便性は確保してください。
- いつも活動の拠点として利用させて頂き、大変有難く思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。
- 主に印刷機を利用させていただいておりますが、利用者とのトラブルで対応に困った時にご相談させていただきアドバイスをもらえて大変助かりました。身近に頼れる場としてありがたい存在です。
- 事務所を持つことができない団体へのレターケースやロッカーの提供のしくみで活動が支えられています。いつもスタッフの皆さんの”市民活動を支えるという志”が素晴らしいと感謝しています。
- スタッフの皆さんにいつも親切にいただき、感謝しています。
- スタッフの皆様、いつも親切で丁寧なご対応に大変感謝しております。これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
- 毎月、御利用させていただいております。ありがとうございます。推進センターの方達は皆さん親切で感謝しております。
- プラザむつあいをよく利用しています。いつも親切に機器の操作方法などをサポート下さり、ありがとうございます。
- いつもありがとうございます。
- いつもお世話になります。これからもよろしくお願ひ致します。
- いつもありがとうございます。現状充分なサポート頂いております。
- お世話になります。
- いつもお世話になっております
- いつもお世話になっております。ありがとうございます。
- いつもお世話になっております。ありがとうございます。
- ありがとうございます。よろしくお願ひします。
- いつもありがとうございます。今後も、よろしくお願ひします。
- 今後とも宜しくお願ひします。
- 特になし
- 特にありません。

6. 結果の総括

1. 高齢化が顕著になっている

4-2-1. の「スタッフの平均年齢」では、世代交代が進んでいないことが示唆されました。2010年と2023年を比較から、2010年の50代と2023年の60代、2010年の60代以上と2023年の70代以上の割合がほぼ同じで、10年前のスタッフがそのまま現在もスタッフとして活動し、世代交代が進んでいないものと考えられます。また、4-4. の「団体運営の課題」では、「会員の年齢構成」と「後継者」が課題の1位、2位として挙げられ、高齢化が顕著になっています。

2. 収益規模の偏りが大きくなっている

4-3. の「年間収益」では、前回調査(2021年度)と比較して中央値は横ばいに対して平均値は1.8倍に増加しました。また、年間収益総額の平均値が998万円に対して中央値は30万円と大きな差ができました。一部の団体で収益が増加しているものの、多くの団体で収益増加はしておらず、偏りが大きくなっていることが明らかになりました。

3. コロナ禍の影響は概ね減少

4-2-2. の「会員・ボランティアの募集方法」や4-2-4. の「ボランティアの人数」では、2021年度に落ち込みがありましたが2023年度はV字回復していました。また、4-9-3. の「支援施設を利用しない・利用しなくなった理由」では、コロナ禍を理由に挙げたのは2021年度30.9%から2023年度5.3%に減少しました。依然としてコロナの影響はありますが、大きく回復していることも明らかになりました。

また、4-2-3. の「会員やスタッフ間の情報共有方法」では、コロナ禍で普及した「オンライン会議」が5位で27.5%の団体が利用しており、4-5-4. の「活動や打ち合わせに1番多く使用する場所」では「オンライン」が4番目に多い結果になりました。「オンライン会議」が定着しつつあることが分かりました。

4. 情報ツールとしてのSNSの利用方法の変化

4-2-3. の「会員やスタッフ間の情報共有方法」では、「SNS(Facebook・X(旧Twitter)・LINEなど)」が2010年より10ポイント以上増加しており、37.6%でした。一方で4-7-2. の「団体に関する情報発信の手段」では、「SNS(Facebook・X(旧Twitter)・LINEなど)」は16.9%と2019年の23.6%から減少しています。また、4-7-4. の「活動に必要な情報の入手方法」でも「SNS(Facebook・X(旧Twitter)・LINEなど)」は2021年17.5%から2023年5.6%へと大きく減少しています。

5. 利用者が望む強化希望内容

5-1. の「主に利用している/拡充を希望する設備・機材」では、「維持・拡充を希望する機材なし」が最も多く、全体的には団体から満足をいただいているといえます。「拡充を希望する設備・機材」では「フリースペース・会議室」拡充の要望が最も多く27.0%でした。5-2. の「現状から強化を希望する支援内容」で最も多かった「公民館へのチラシ配架等の広報支援」が35団体19.7%で、団体の周知・広報や団体運営に関する情報支援の要望が多くなりました。

別添資料:調査票

市民活動団体の活動状況調査(2023年度実施) 調査票

※PC・スマートフォンでのご回答は下記URL又は右のQRコードをご利用ください

<https://forms.gle/SUfytfZRxTHuZg5o9>



【貴団体及びご回答者の情報】

団体名				
法人格の有無 (1つに✓)	<input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人	<input type="checkbox"/> 一般社団法人	<input type="checkbox"/> 一般財団法人	
	<input type="checkbox"/> 公益社団法人	<input type="checkbox"/> 公益財団法人	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人	
	<input type="checkbox"/> その他の法人()			<input type="checkbox"/> なし
ご回答いただいた ご担当者名				
Eメールアドレス	@			
団体を運営する 理事・スタッフの人数	<input type="checkbox"/> 5名以下	<input type="checkbox"/> 6～10名	<input type="checkbox"/> 11～30名	<input type="checkbox"/> 31名以上
参加者・利用者など 支援対象者の数	<input type="checkbox"/> 10名以下	<input type="checkbox"/> 11～100名	<input type="checkbox"/> 101～1000名	<input type="checkbox"/> 1001名以上
藤沢市市民活動 支援施設登録番号 (1つに✓)	<input type="checkbox"/> 登録済 団体番号→	2		<input type="checkbox"/> 未登録 下の「活動分野もご回答ください」
【未登録の方対象】 活動分野 (主なもの1つに✓)	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉の増進 <input type="checkbox"/> 社会教育の推進 <input type="checkbox"/> まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 観光の振興 <input type="checkbox"/> 農山漁村又は中山間地域の振興 <input type="checkbox"/> 学術・文化・芸術・スポーツの振興 <input type="checkbox"/> 環境の保全 <input type="checkbox"/> 災害救援活動 <input type="checkbox"/> 地域安全活動 <input type="checkbox"/> 人権の擁護・平和の推進 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 職業能力の開発・雇用機会の拡充 <input type="checkbox"/> 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 上記の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動			

活動実態調査(全9問)

問1. 貴団体を設立したきっかけは何ですか。(該当するもの1つに「○」)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 身近な問題で必要に迫られたため | 5. 尊敬する人と出会ったため |
| 2. その活動が必要だと強く感じたため | 6. 地域に困っている人が居たため |
| 3. その活動が好き/得意なことだったため | 7. 行政に呼びかけられたため |
| 4. 同じ思いをもつ人たちに出会ったため | 8. 別の団体から分かれたため |
| 9. その他 | 具体的に記入ください。 |

問2. 貴団体が継続的に行っている活動は何ですか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|--|
| 1. 物品等の製造・製作および提供 | 6. 親睦・交流の場・機会の提供 |
| 2. イベントやシンポジウム等の企画・開催 | 7. 人や労力を動員(派遣)してのサービス
(例:清掃・美化・リサイクル・介護等) |
| 3. 活動に要する機材・資材・教材などの提供・支援 | 8. 調査・研究活動 |
| 4. 事務所・会議室等の場の提供 | (次ページへ続く) |
| 5. 資料や情報の収集・提供 | |

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 9. 技術・技能・ノウハウ等の指導・伝達や人材育成 | 14. 団体・人材の紹介・仲介 |
| 10. 資金の提供・援助 | 15. 講師・スタッフ等の派遣 |
| 11. 会報・広報誌等の発行 | 16. 施設等の設置や運営 |
| 12. 本や雑誌・新聞などの出版 | 17. 資格等の認定・推奨・評価 |
| 13. 相談活動(電話・窓口等) | 18. 政府・行政やその政策への提案・提言 |
| 19. その他 | 具体的にご記入ください。 |

問3. 貴団体の活動の頻度はどのくらいですか。(該当するもの1つに「○」)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 2～3ヶ月に1回程度 |
| 2. 週に1回以上 | 5. 年に1回以上 |
| 3. 月に1回以上 | |
| 6. その他 | 具体的にご記入ください。 |

問4. 貴団体のスタッフの中心的な年齢は何歳代ですか。(該当するもの1つに「○」)

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

問5. 貴団体の会員やボランティアは、どのように募集していますか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. リーフレットやホームページ・SNS等で随時 | 3. 会員や理事・スタッフの紹介で(口コミ) |
| 2. イベントを開催するときに | 4. 基本的に新規会員を募集しない |
| 5. その他 | 具体的にご記入ください。 |

問6. 貴団体の活動を円滑に進めるために会員やスタッフ間で情報を共有する際、どのような手段を利用していますか。(複数回答可)

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| 1. (情報共有を目的とした)会議の開催 | 6. メーリングリスト・電子メール |
| 2. オンラインでの会議 | 7. ホームページ・ブログ |
| 3. 資料・書類・情報紙などの郵送 | 8. グループウェア(情報共有のためのwebサービス) |
| 4. 電話による連絡網 | 9. SNS(Facebook・X(旧Twitter)・LINEなど) |
| 5. FAX | |
| 10. その他 | 具体的にご記入ください。 |

問11. 貴団体が活動や打ち合わせに1番多く使用する場所はどこですか。(該当するもの1つに「○」)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 会員・スタッフ・理事の自宅や職場 | 5. 貴団体の事務所 |
| 2. 市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい | 6. 公園や広場などの屋外 |
| 3. 上記2以外の公共施設(名称: _____) | 7. オンライン |
| 4. 民間の施設(喫茶店等) | |
| 8. その他 具体的にご記入ください。 | |

問11-2. その場所を使用している理由は何ですか。(該当するもの1つに「○」)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ア. 利用しやすいから | ウ. 他に使用できる場所を知らないから |
| イ. 地理的に便利だから | エ. 参加者の都合(時間等)を合わせやすいから |
| オ. その他 具体的にご記入ください。 | |

問12. 助成金・補助金・委託事業・協働事業等に応募した経験はありますか。(どちらか1つに「○」)

1. ある ↓

問12-2. 応募先はどこですか。(複数回答可)

- ア. 行政
イ. 民間企業
ウ. 助成財団
エ. 社協、共済
オ. その他 具体的にご記入ください。

2. ない ↓

問12-6. その理由は何ですか。(複数回答可)

- ア. 必要がない
イ. 応募の手續が負担
ウ. 理事・スタッフ間での合意が取れない
エ. 情報が無い
オ. その他 具体的にご記入ください。

問12-3. 応募にあたって、内容についてのアドバイスを求めたことがありますか。(どちらか1つに「○」)

- | | |
|---------------------|-------|
| ア. ある | イ. ない |
| アドバイスを求めた先をご記入ください。 | |

問12-4. 助成金や補助金、委託事業を受けた経験がありますか。(現在受けているものも含む) (どちらか1つに「○」)

- | | |
|---------|-------|
| ↓ ア. ある | イ. ない |
|---------|-------|

問12-5. 助成金や補助金、委託事業に関する費用の提供元はどこですか。(複数回答可)

- ア. 行政 イ. 民間企業 ウ. 助成財団 エ. 社会福祉協議会・共同募金 オ. 自治会町内会
カ. その他 具体的にご記入ください。

問13. 助成金の応募にあたって、応募内容についての相談やアドバイスは必要ですか。(どちらか1つに「○」)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 必要である | 2. 必要でない |
|----------|----------|

問14. 貴団体は、どのような情報を外部に発信していますか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 活動紹介 | 5. 活動分野に関する啓発・広報 |
| 2. イベント情報 | 6. 寄附や物品の募集・受入情報 |
| 3. 会計報告や総会資料など団体の運営に関する資料 | 7. 特に発信している情報はない |
| 4. 会員やボランティアの募集 | |
| 8. その他 | 具体的に記入ください。 |

問14-2. どのような手段を使用していますか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------|--------------------------------------|
| ア. ポスター・パンフレット・チラシ | オ. SNS (Facebook・X(旧Twitter)・LINEなど) |
| イ. 会報・機関紙 | カ. 雑誌・新聞・テレビ |
| ウ. メーリングリスト・電子メール | キ. 説明会や講演会等の開催 |
| エ. ホームページ・ブログ | |
| ク. その他 | 具体的に記入ください。 |

問15. 貴団体が活動に必要な情報は何か。(複数回答可)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 講座や研修会の開催情報 | 6. 他団体の活動情報 |
| 2. 助成金の情報 | 7. 他団体(民間企業を含む)のイベント情報 |
| 3. ボランティア希望者の情報 | 8. 法律や制度等に関する情報 |
| 4. 行政のイベント情報 | 9. 特に必要な情報はない |
| 5. 行政の支援情報 | |
| 10. その他 | 具体的に記入ください。 |

問16. 貴団体は活動に必要な情報をどこから得ていますか。(複数回答可)

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい | 7. 雑誌・新聞・テレビ |
| 2. 市外の市民活動支援施設 | 8. 行政の広報紙 |
| 3. 公共施設等に掲示してあるポスター・パンフレット・チラシなど | 9. フリーペーパー |
| 4. 他団体の会報・機関紙など | 10. SNS (Facebook・X(旧Twitter)・LINEなど) |
| 5. インターネット | 11. メールマガジン |
| 6. メーリングリスト・電子メール | 12. 特に必要な情報はない |
| 13. その他 | 具体的に記入ください。 |

問17. 貴団体で必要としているのはどのような人材ですか。(複数回答可)

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 団体の運営・経営を行う人材(理事など) | 5. 法律・会計等の団体運営に関してアドバイスをする専門家 |
| 2. 団体の活動・事業の中核を担うスタッフ | 6. 資金や物品を提供してくれる支援者の人材 |
| 3. ボランティアとして活動に関わる人 | 7. HP作成、SNSでの発信、動画作成などができる人 |
| 4. 団体の活動の専門性についてアドバイスする専門家 | 8. 特に必要としていない |
| 9. その他 | 具体的に記入ください。 |

問18. 貴団体では活動や運営上、どのような専門的知識・技術を必要としていますか。(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 団体の活動に関する専門的知識・技術 | 5. 労務管理の知識 |
| 2. パソコンやインターネットの知識・技術 | 6. 組織運営の知識 |
| 3. 会計・経理についての知識 | 7. 人材採用や育成などの知識 |
| 4. 広報や編集の知識・技術 | 8. 特に必要としていない |
| 9. その他 具体的にご記入ください。 | |

問19. 活動を行う中で他団体(他の市民活動団体、自治会・町内会などの地縁組織、学校、民間企業、行政等)との連携の必要性を感じたことはありますか。(該当するもの1つに「○」)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 常にある | 3. ほとんどない |
| 2. ときどきある | 4. 全くない |

問20. 貴団体は、どんな他の市民活動団体・地縁組織(自治会・町内会、子ども会等)・地域団体(商店街、地区単位の防犯・福祉団体等)・民間企業・学校・行政等、他団体と連携して事業を行ったことがありますか。(複数回答可)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. 他の市民活動団体 | 5. 学校 |
| 2. 地縁団体(自治会・町内会・子ども会等) | 6. 行政 |
| 3. 地域団体(商店街・地区単位の防犯・福祉団体等) | 7. 連携して事業を行ったことがない |
| 4. 民間企業 | |
| 8. その他 具体的にご記入ください。 | |

問21. センター・プラザの現在の利用頻度はどのくらいですか。(該当するもの1つに「○」)

1. ほぼ毎日 2. 週に1回以上 3. 月に1回以上 4. 2~3ヶ月に1回程度 5. 年に1回以上 → 問21-2へ
6. 登録はしてあるが利用したことはない 7. 以前は利用していたが現在は利用していない → 問21-3へ

問21-2. どのような目的で利用されますか。(複数回答可)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| ア. 会議・打ち合わせのため | カ. 掲示物・配架物を確認するため |
| イ. 印刷・コピーをするため | キ. 運営相談をするため |
| ウ. インターネット・パソコンを利用するため | ク. 相談会(会計・労務・IT相談)に参加するため |
| エ. 本を閲覧・借りるため | ケ. イベントや講座に参加するため |
| オ. 作業をするため | |
| コ. その他 具体的に記入してください。 | |

問21-3. 利用しない・しなくなった理由は何ですか。(該当するもの1つに「○」)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| ア. 地理的に遠いから | オ. 団体の事務所等があり、利用する必要がないから |
| イ. 混雑しているから | カ. 設備やサービスが足りないから |
| ウ. 他の市民活動支援施設を利用しているから | キ. 新型コロナウイルス感染症を避けるため |
| エ. 他の公共施設を利用しているから | |
| ク. その他 具体的に記入してください。 | |

市民活動支援施設の機能・施設に関する質問(全4問)

問22. 推進センター・プラザむつあいの設備・機材のうち、貴団体が主に利用しているのは何ですか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 印刷機・コピー機・カラー印刷機等の印刷機材 | 5. パソコン・無線LAN |
| 2. 裁断機・紙折り機・ソーター・シュレッダー | 6. プロジェクター・テレビ等貸出用機材 |
| 3. フリースペース・会議室 | 7. 機材・設備は特に利用していない |
| 4. ロッカー・レターケース | |
| 8. その他 具体的にご記入ください。 | |

問23. 推進センター・プラザむつあいの設備・機材のうち、現状から拡充を希望する機材・設備はありますか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 印刷機・コピー機・カラー印刷機等の印刷機材 | 5. パソコン・無線LAN |
| 2. 裁断機・紙折り機・ソーター・シュレッダー | 6. プロジェクター・テレビ等貸出用機材 |
| 3. フリースペース・会議室 | 7. 維持・拡充を希望する機材等はない |
| 4. ロッカー・レターケース | |
| 8. その他 具体的にご記入ください。 | |

問24. 問23で回答した機材に関する具体的な希望や、その他導入を希望する機材等ございましたらご記入ください。

問25. 推進センター・プラザむつあいの支援内容について、現状から強化を希望する内容がありますか。(複数回答可)

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 団体運営・IT・助成金申請等の相談受付 | 9. 市民まつり等イベントでの出展機会提供 |
| 2. 弁護士・税理士や各種専門家への相談取次 | 10. 他団体・企業・学校等との協働コーディネート |
| 3. 団体運営やITに関する講座等の実施 | 11. 学生・若者の団体への参加機会提供 |
| 4. 助成金情報など団体運営に役立つ情報の収集・発信 | 12. 公民館へのチラシ配架等の広報支援 |
| 5. 団体のイベントやボランティア募集情報の収集・発信 | 13. 市民活動専門書籍の貸出 |
| 6. 施設情報誌、ボランティア情報誌やSNSでの団体広報 | 14. クラウドファンディング相談等の資金調達支援 |
| 7. 施設外での展示機会提供 | 15. 出張講座や出張相談機会の提供 |
| 8. 他団体との交流機会提供 | 16. 市内外諸機関・施設等との連携 |
| 17. その他 具体的にご記入ください。 | |

問26. その他、ご意見・ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。 提出締切:2023年11月10日(金)
藤沢市市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい

【ご提出・お問合せ先】 藤沢市市民活動推進センター (担当: 関野・須永)
住所: 〒251-0052 藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢 2F
TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516
URL: <https://fujisawa-npo.jp/> E-mail: f-npoc@shonanfujisawa.com

2023(令和5)年度 市民活動団体活動状況調査報告書



発行・調査・編集 : 藤沢市市民活動支援施設

(指定管理者:特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構)

発行日 : 2024年3月

藤沢市市民活動推進センター

住所 〒251-0052

藤沢市藤沢 1031

アーバンセンター藤沢 2階

電話 0466-54-4510

FAX 0466-54-4516

E-MAIL f-npoc@shonanfujisawa.com

藤沢市市民活動プラザむつあい

住所 〒252-0813

藤沢市亀井野 4-8-1

六会市民センター2階

電話 0466-81-0222

FAX 0466-81-0222

E-MAIL f-npoplaza@shonanfujisawa.com